

# 少年警察活動に関する少年の意識調査 報告書

令和5年12月

警察庁生活安全局人身安全・少年課

(委託先：株式会社クロス・マーケティング)



## ●本報告を読む際の注意

- 回答形式の表記は次のとおりである。
  - SA：単一回答
  - MA：複数回答
  - FA：自由記述
  - SAMT：単一回答のマトリクス
  - MAMT：複数回答のマトリクス
  
- 複数選択質問については、割合は回答者数に占める割合である。(総回答数に占める割合ではない。)
  
- 割合は小数点2位以下を四捨五入して示しているため、合計値が100%にならない場合がある。
  
- 割合表に用いた符号は次のとおりである。
  - 0.0：表章単位に満たないが、回答者がいるもの
  - ：回答者がいないもの
  
- 性別別集計表については、性別について「答えたくない」と回答した人の数を表示していないため、男性と女性の合計は全体の数(4,700人)と一致しない。「答えたくない」との回答は少数であったため割合比較になじまないことから、性別別集計では表示しないこととしたものである。なお、性別について「答えたくない」と回答した人の回答についても、全ての質問について有効回答として扱っている。
  
- 「高校生」には「高1・高専1、高2・高専2、高3・高専3」、「大学生・その他の学生」には「短大・大学1年生、専門学校1年生、浪人生、高専4年生、その他(高校4年生)」と回答した人を計上している。
  
- 「有職少年・無職少年」には「会社員・公務員、パート・アルバイト、自営業、無職」と回答した人を計上している。学生に比べ回答者数が少ないため、割合の比較を見る際には留意が必要である。よって学職別の分析説明については、学生間を中心に掲載している。
  
- 本文及び図表について調査票の質問文や選択肢を引用する場合、これらを簡略化して表記することがある。以下の取組についても簡略化して表記する。
  - ・困っている少年の相談にのる(少年相談窓口・相談電話の設置)
    - 「少年相談」
  - ・非行防止・薬物乱用防止教室などの学校での警察による授業・講演
    - 「学校での授業・講演」
  - ・街なかや広場などでの不良行為への注意や指導(補導)
    - 「街なかや広場での補導」

- ・ SNS での援助交際・パパ活の募集に対する注意文の投稿  
→ 「SNS への注意文の投稿」
- ・ 再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること  
→ 「非行少年への立ち直り支援」
- ・ 犯罪被害やいじめにあった少年へのカウンセリングなどのサポート  
→ 「被害少年へのカウンセリング等」
- ・ 非行防止・犯罪被害防止のためのお知らせ・キャンペーン  
→ 「お知らせ・キャンペーン」

➤ 地域別の内訳は次のとおりである。

北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県

中部：富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国・四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

➤ 居住県の人口規模別は、人口500万人以上を「大規模県」、150万人以上500万人未満を「中規模県」、150万人未満を「小規模県」とした。なお、人口は、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和4年1月1日現在)」による。

大規模県：北海道、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県

中規模県：宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県、静岡県、岐阜県、三重県、京都府、岡山県、広島県、熊本県、鹿児島県

小規模県：青森県、岩手県、秋田県、山形県、山梨県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県

# 目次

調査概要	… 1
1. 調査結果の概要（サマリー）	… 5
2. 調査結果	… 11
(1) 少年警察活動の各種取組を知っているか	… 12
ア 警察が取り組んでいることを知っているもの	… 12
イ いくつの取組を選択したか	… 15
ウ 少年補導職員を知っているか	… 17
エ 少年相談窓口の利用経験	… 19
(2) 少年警察活動の各種取組についての意見	… 21
ア 総括	… 21
イ 少年相談について	… 25
ウ 学校での授業・講演について	… 28
エ 街なかや広場での補導について	… 30
オ SNSへの注意文の投稿について	… 32
カ 非行少年の立ち直り支援について	… 34
キ 被害少年への支援について	… 36
ク 広報啓発活動について	… 38
(3) 良いと感じる広報啓発活動の工夫	… 40
ア 回答者全員の結果	… 40
イ Q1の取組で「いずれも知らない」と回答した人に限定した結果	… 44
(4) 警察がもっと力を入れるべきと思う問題	… 47
(5) 警察が取り組んだらよいと思うこと	… 50
参考資料	… 53
アンケート質問票	… 54
単純集計	… 64
参考集計 ※地域別、人口規模別集計	… 72
学職別、地域別、居住県の人口規模別、都道府県別の回答者の属性	… 85

# 図表目次

調査結果の概要（サマリー）	… 5
図A 知っている警察の取組・全体(割合)	… 6
図B 各種取組に対する意見・全体(割合)	… 7
図C 良いと感じる広報啓発活動の工夫・全体(割合)	… 8
図D 警察がもっと力を入れるべき問題・全体(割合)	… 9
図E 警察がもっと力を入れるべき問題・男女別(割合)	… 9
調査結果	… 11
(1) 少年警察活動の各種取組を知っているか	… 12
ア 警察が取り組んでいることを知っているもの	… 12
図1-1 警察が取り組んでいることを知っているもの・男女別(割合)	… 12
表1-1 警察が取り組んでいることを知っているもの・男女別(実数)	… 13
図1-2 警察が取り組んでいることを知っているもの・学職別(割合)	… 13
表1-2 警察が取り組んでいることを知っているもの・学職別(実数)	… 14
イ いくつの取組を選択したか	… 15
図1-3 いくつの取組を選択したか・男女別(割合)	… 15
表1-3 いくつの取組を選択したか・男女別(実数)	… 15
図1-4 いくつの取組を選択したか・学職別(割合)	… 16
表1-4 いくつの取組を選択したか・学職別(実数)	… 16
ウ 少年補導職員を知っているか	… 17
図2-1 少年補導職員を知っているか・男女別(割合)	… 17
表2-1 少年補導職員を知っているか・男女別(実数)	… 17
図2-2 少年補導職員を知っているか・学職別(割合)	… 18
表2-2 少年補導職員を知っているか・学職別(実数)	… 18
エ 少年相談窓口の利用経験	… 19
図3-1 少年相談窓口の利用経験・男女別(割合)	… 19
表3-1 少年相談窓口の利用経験・男女別(実数)	… 19
図3-2 少年相談窓口の利用経験・学職別(割合)	… 20
表3-2 少年相談窓口の利用経験・学職別(実数)	… 20
(2) 少年警察活動の各種取組についての意見	… 21
ア 総括	… 21
図4-1-1 総括(割合)	… 22
表4-1-1 総括(実数)	… 22
図4-1-2 「もっと力を入れてほしい」取組・男女別(割合)	… 23
表4-1-2 「もっと力を入れてほしい」取組・男女別(実数)	… 23
図4-1-3 「もっと力を入れてほしい」取組・学職別(割合)	… 24
表4-1-3 「もっと力を入れてほしい」取組・学職別(実数)	… 24

イ	少年相談について	… 25
	図4-2 少年相談について・男女別(割合)	… 25
	表4-2 少年相談について・男女別(実数)	… 25
	図4-3 少年相談について・学職別(割合)	… 26
	表4-3 少年相談について・学職別(実数)	… 26
	図4-4 少年相談窓口利用経験者の少年相談について・全体(割合)	… 27
	図4-4 少年相談窓口利用経験者の少年相談について・全体(実数)	… 27
ウ	学校での授業・講演について	… 28
	図5-1 学校での授業・講演について・男女別(割合)	… 28
	表5-1 学校での授業・講演について・男女別(実数)	… 28
	図5-2 学校での授業・講演について・学職別(割合)	… 29
	表5-2 学校での授業・講演について・学職別(実数)	… 29
エ	街なかや広場での補導について	… 30
	図6-1 街なかや広場での補導について・男女別(割合)	… 30
	表6-1 街なかや広場での補導について・男女別(実数)	… 30
	図6-2 街なかや広場での補導について・学職別(割合)	… 31
	表6-2 街なかや広場での補導について・学職別(実数)	… 31
オ	SNSへの注意文の投稿について	… 32
	図7-1 SNSへの注意文の投稿について・男女別(割合)	… 32
	表7-1 SNSへの注意文の投稿について・男女別(実数)	… 32
	図7-2 SNSへの注意文の投稿について・学職別(割合)	… 33
	表7-2 SNSへの注意文の投稿について・学職別(実数)	… 33
カ	非行少年の立ち直り支援について	… 34
	図8-1 非行少年の立ち直り支援について・男女別(割合)	… 34
	表8-1 非行少年の立ち直り支援について・男女別(実数)	… 34
	図8-2 非行少年の立ち直り支援について・学職別(割合)	… 35
	表8-2 非行少年の立ち直り支援について・学職別(実数)	… 35
キ	被害少年への支援について	… 36
	図9-1 被害少年への支援について・男女別(割合)	… 36
	表9-1 被害少年への支援について・男女別(実数)	… 36
	図9-2 被害少年への支援について・学職別(割合)	… 37
	表9-2 被害少年への支援について・学職別(実数)	… 37
ク	広報啓発活動について	… 38
	図10-1 広報啓発活動について・男女別(割合)	… 38
	表10-1 広報啓発活動について・男女別(実数)	… 38
	図10-2 広報啓発活動について・学職別(割合)	… 39
	表10-2 広報啓発活動について・学職別(実数)	… 39

(3) 良いと感じる広報啓発活動の工夫	… 40
ア 回答者全員の結果	… 40
図11-1 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(割合)	… 40
表11-1 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(実数)	… 41
図11-2 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(割合)	… 41
表11-2 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(実数)	… 42
図11-3 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(割合)	… 42
表11-3 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(実数)	… 43
イ Q1の取組で「いずれも知らない」と回答した人に限定した結果	… 44
図11-4 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(割合)	… 44
表11-4 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(実数)	… 44
図11-5 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(割合)	… 45
表11-5 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(実数)	… 45
図11-6 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(割合)	… 46
表11-6 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(実数)	… 46
(4) 警察がもっと力を入れるべきと思う問題	… 47
図12-1 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・男女別(割合)	… 47
表12-1 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・男女別(実数)	… 47
図12-2 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・学職別(割合)	… 48
表12-2 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・学職別(実数)	… 48
図12-3 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・年齢別(割合)	… 49
表12-3 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・年齢別(実数)	… 49



## <調査概要>

### 1. 調査目的

令和5年4月から施行された「こども基本法」(令和4年法律第77号)第3条においては、「こども施策の基本理念」として、「全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」が規定されている。

そこで、少年警察活動(少年の非行の防止及び保護を通じて少年の健全な育成を図るための警察活動。なお、「少年」とは20歳に満たない者をいい、女子を含む。)についても少年の意見を反映できるよう、13歳～18歳(中学生及び高校生に相当する年齢)の人に対してアンケート調査を行い、現在行われている各種取組や今後警察で取り組むべきことなどについての意識・意見等を把握するものである。

### 2. 調査対象

全国在住13歳～18歳の人

### 3. 調査実施期間

令和5年8月3日(木)～8月9日(水)

### 4. 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

※ 警察庁からの委託を受けて本件調査を実施した株式会社クロス・マーケティングにおいて、LINE リサーチプラットフォームを利用した。

5. 回収結果・回答者の属性

回答者については、都道府県と年齢について次のとおり割り付けを行った。

	13歳～15歳	16歳～18歳	合 計
北海道	50	50	100
青森県	50	50	100
岩手県	50	50	100
宮城県	50	50	100
秋田県	50	50	100
山形県	50	50	100
福島県	50	50	100
東京都	50	50	100
茨城県	50	50	100
栃木県	50	50	100
群馬県	50	50	100
埼玉県	50	50	100
千葉県	50	50	100
神奈川県	50	50	100
新潟県	50	50	100
山梨県	50	50	100
長野県	50	50	100
静岡県	50	50	100
富山県	50	50	100
石川県	50	50	100
福井県	50	50	100
岐阜県	50	50	100
愛知県	50	50	100
三重県	50	50	100
滋賀県	50	50	100
京都府	50	50	100
大阪府	50	50	100
兵庫県	50	50	100
奈良県	50	50	100
和歌山県	50	50	100
鳥取県	50	50	100
島根県	50	50	100
岡山県	50	50	100
広島県	50	50	100
山口県	50	50	100
徳島県	50	50	100
香川県	50	50	100
愛媛県	50	50	100
高知県	50	50	100
福岡県	50	50	100
佐賀県	50	50	100
長崎県	50	50	100
熊本県	50	50	100
大分県	50	50	100
宮崎県	50	50	100
鹿児島県	50	50	100
沖縄県	50	50	100
合 計	2,350	2,350	4,700

回答者の属性については、次のとおりとなった。

(1) 性別

	回答数	%
男性	1,753	37.3
女性	2,805	59.7
答えたくない	142	3.0

(2) 年齢

	回答数	%
13歳	506	10.8
14歳	663	14.1
15歳	1,181	25.1
16歳	921	19.6
17歳	811	17.3
18歳	618	13.2

※ 回答者の平均年齢は15.6歳

(3) 職業

中学生は1,530人(32.6%)、高校生は2,818人(60.0%)、大学生・その他の学生は283人(6.0%)  
有職少年・無職少年は69人(1.5%)となっている。

学年・職業の内訳は次のとおり。

	回答数	%
中1	177	3.8
中2	642	13.7
中3	711	15.1
高1・高専1	1,232	26.2
高2・高専2	886	18.9
高3・高専3	700	14.9
高専4年生	7	0.2
専門学校1年生	46	1.0
短大・大学1年生	213	4.5
浪人生	15	0.3
パート・アルバイト	29	0.6
自営業	1	0.0
会社員・公務員	30	0.6
専業主婦・主夫	0	-
無職	9	0.2
その他	2	0.0

※ 「その他」の2人はいずれも高校4年生と回答している。なお、通信制又は定時制  
高校の中には在籍期間が4年となるものがある。

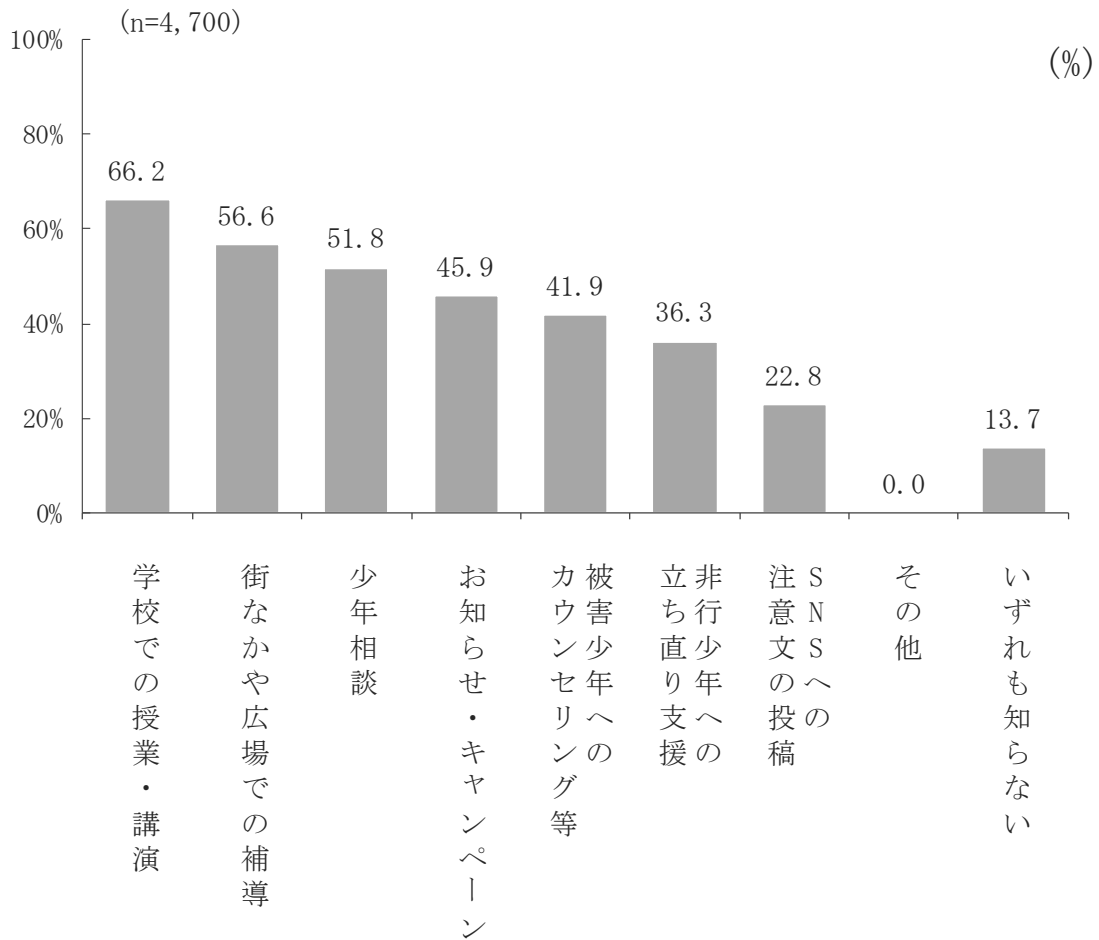


## 1 調査結果の概要（サマリー）

少年警察活動の各種取組の認知(MA)

少年警察活動の取組について「いずれも知らない」は1割強となっており、9割弱が何らかの警察の取組を知っている。認知度が高いものは、「学校での授業・講演」(66.2%)、「街なかや広場での補導(56.6%)」、「少年相談」(51.8%)となっている。

図A 知っている警察の取組・全体(割合)

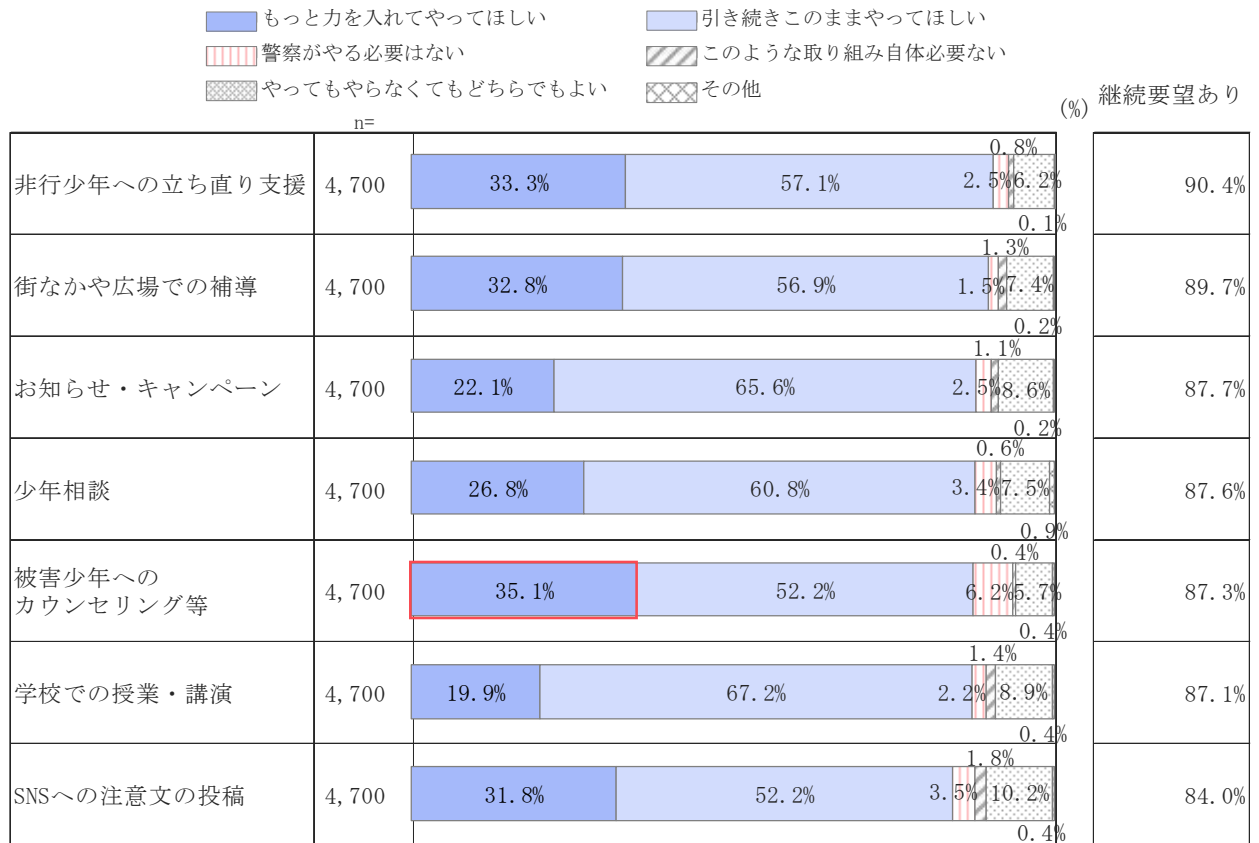


※多い項目から降順並び替え

## 各種取組に対する意見(SAMT)

- ・各種取組に関しては、ほとんどが肯定的な意見であり、「もっと力をいれてほしい」と「引き続きこのままやってほしい」を合わせた「継続要望あり」はいずれも8割以上となっている。
- ・「もっと力をいれてほしい」取組は、「被害少年へのカウンセリング等」が35.1%で最も高くなっている。

図B 各種取組に対する意見・全体(割合)

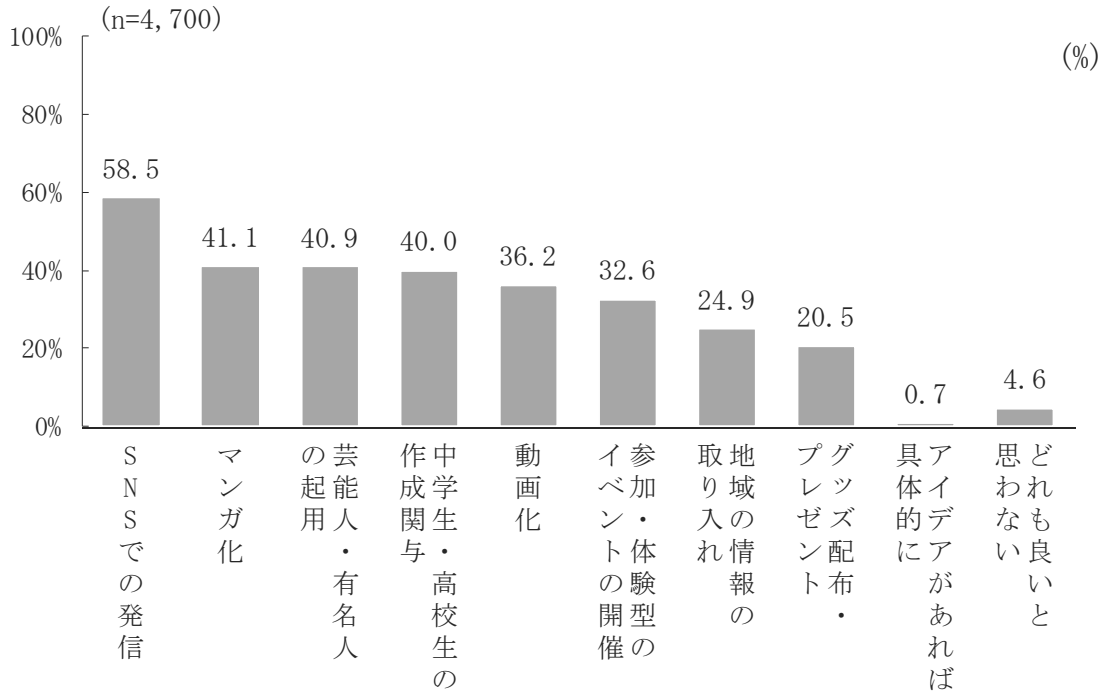


※「もっと力を入れてやってほしい」+「引き続きこのままやってほしい」の合計「継続要望あり」の多い項目から降順並び替え

良いと感じる広報啓発活動の工夫(MA)

- ・ 広報啓発活動で良いと感じる工夫は、「SNS での発信」が約 6 割で最も高くなっている。

図 C 良いと感じる広報啓発活動の工夫・全体(割合)



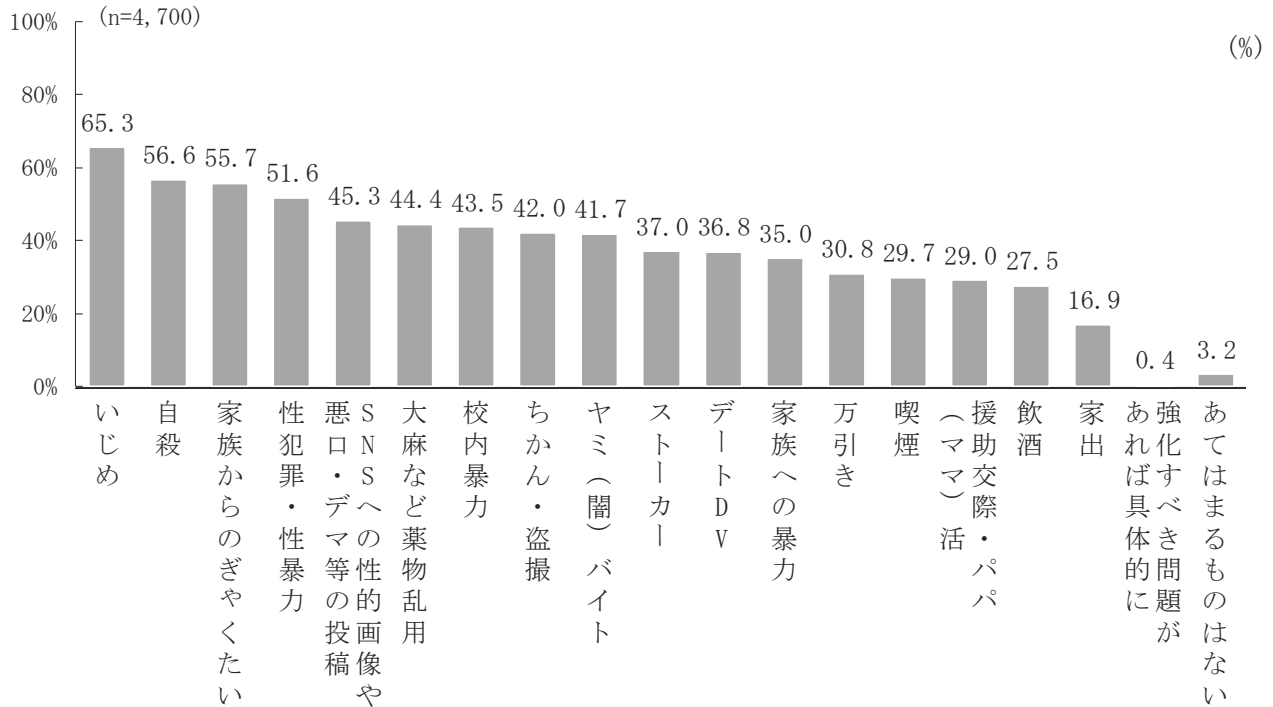
※多い項目から降順並び替え



警察がもっと力を入れるべきと思う問題(MA)

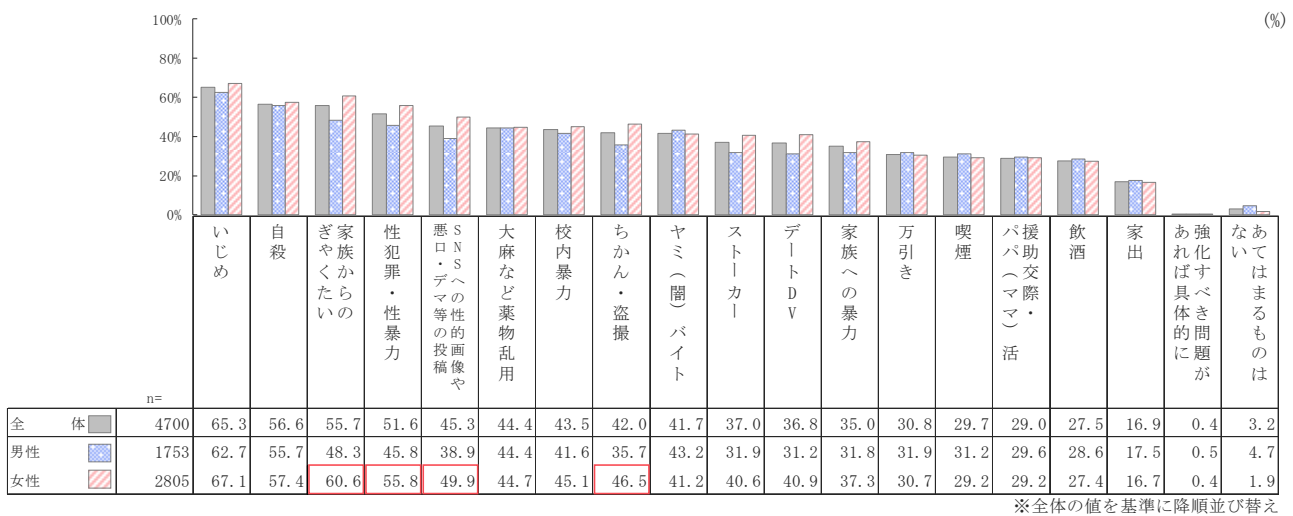
- ・警察がもっと力を入れるべきと思う問題は、「いじめ」(65.3%)、「自殺」(56.6%)、「家族からのぎゃくたい」(55.7%)が上位となっている。
- ・「家族からのぎゃくたい」(男性 48.3%、女性 60.6%)、「SNS への性的画像や悪口・デマ等の投稿」(男性 38.9%、女性 49.9%)、「ちかん・盗撮」(男性 35.7%、女性 46.5%)、「性犯罪・性暴力」(男性 45.8%、女性 55.8%)については、女性が男性より 10 ポイント以上高くなっている。

図D 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・全体(割合)



※多い項目から降順並び替え

図E 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・男女別(割合)



※全体の値を基準に降順並び替え

## 少年の非行・犯罪被害防止に必要な警察の取組(FA)

- ・少年が犯罪の被害者にも加害者にもならないために、警察がどのようなことに取り組んだらよいかを自由記述で聞いたところ、「YouTube 等を利用した注意喚起」「学校での講演内容の充実」など、広報啓発活動の強化や学校での授業・講演の充実に関する意見が多くみられたほか、相談への適切な対応、パトロール・街頭補導の強化、犯罪をした少年や闇バイト等に誘う大人への取締り強化に関する意見などもみられた。
- ・「被害者にも加害者にも寄り添って話を聞く。」など警察の対応・姿勢に関する意見もみられた。

## 2 調査結果

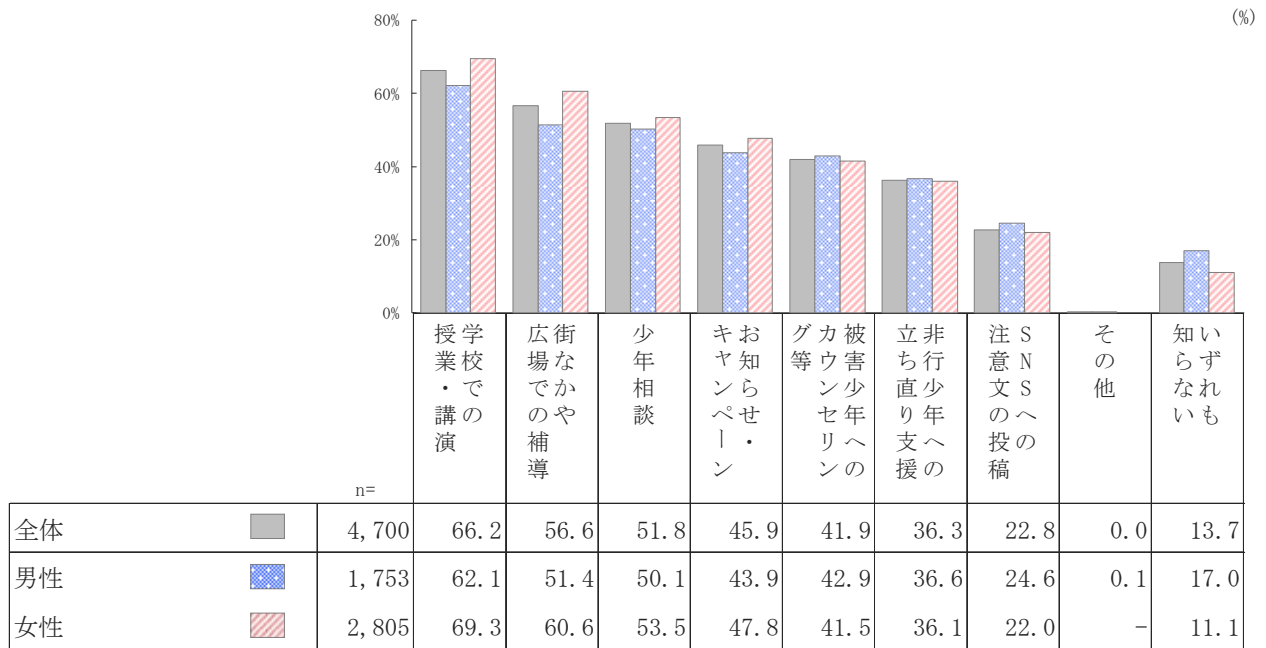
(1) 少年警察活動の各種取組を知っているか

Q1. 警察では少年(20歳未満の人、女子も含む)の非行防止・犯罪被害防止のための取組を行っています。警察が取り組んでいることを知っているものはどれですか。(MA)

ア 警察が取り組んでいることを知っているもの

- ・「いずれも知らない」は13.7%となっており、全体の86.3%が何らかの警察の取組を知っていることとなる。
- ・取組で認知度が高かったのは「学校での授業・講演」(66.2%)、「街なかや広場での補導」(56.6%)、「少年相談」(51.8%)でいずれも半数を超えている。
- ・男女別では、女性が「学校での授業・講演」(69.3%)について男性より約7ポイント、「街なかや広場での補導」(60.6%)について男性より約8ポイント高くなっている。一方「いずれも知らない」は男性が17.0%で女性より約6ポイント高くなっている。
- ・学職別では、中学生が「少年相談」(55.8%)、「被害少年へのカウンセリング等」(45.4%)について他の学職より高くなっている。

図 1-1 警察が取り組んでいることを知っているもの・男女別(割合)



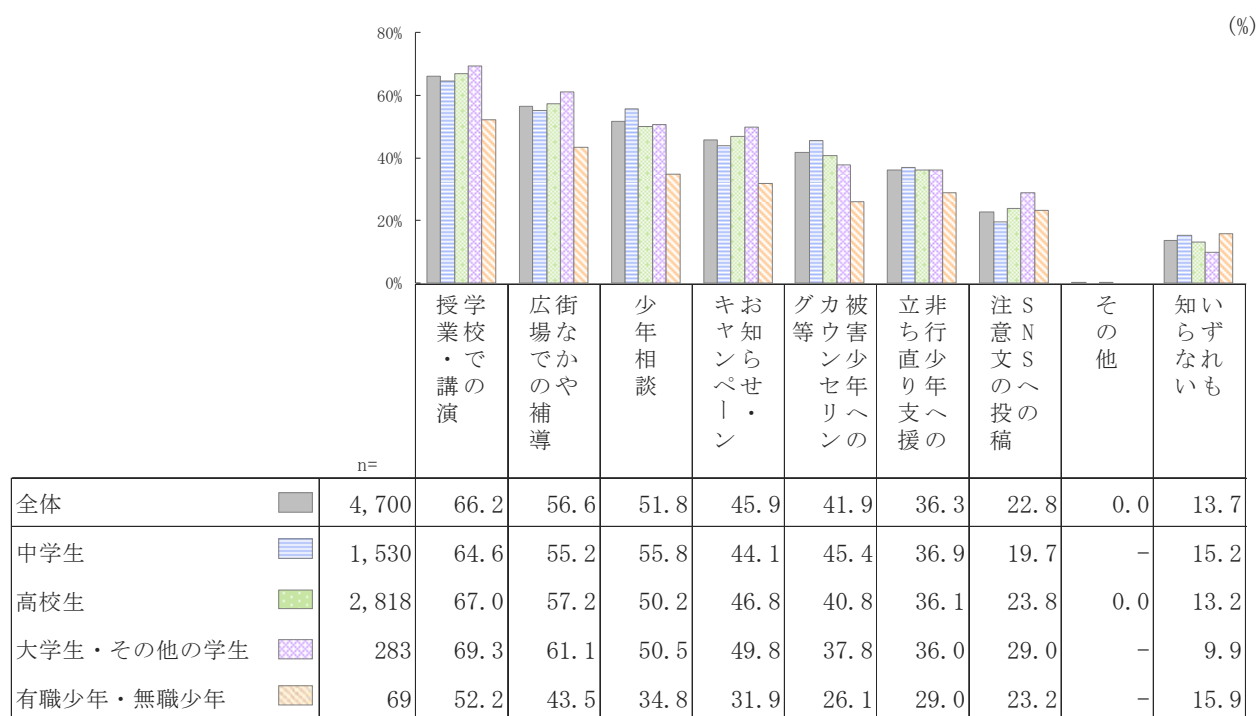
※全体の値を基準に降順並び替え

表 1-1 警察が取り組んでいることを知っているもの・男女別(実数)

		(実数)									
n=		授業校・講演	広街場なかのや補導	少年相談	キヤンパ・ペーション	グカ等	被害少年への	立非ち直り少年への支援	注 S N S への投稿	その他	知らないもの
全体	4,700	3,110	2,659	2,435	2,156	1,970	1,704	1,071	1	645	
男性	1,753	1,088	901	879	769	752	642	431	1	298	
女性	2,805	1,945	1,700	1,500	1,340	1,164	1,012	616	0	310	

※全体の値を基準に降順並び替え

図 1-2 警察が取り組んでいることを知っているもの・学職別(割合)



※全体の値を基準に降順並び替え

表 1-2 警察が取り組んでいることを知っているもの・学職別(実数)

(実数)

	n=	授業 学校 ・講 演	広街 場な での や 補 導	少 年 相 談	キお ヤ知 ンら ペせ ン	グカ 等ウ 害少 ン年 セリ への	立非 ち行 直少 り年 支へ 援の	注 S 意 N 文 S のへ 投の 稿	そ の 他	知 い ず な れ い も
全体	4,700	3,110	2,659	2,435	2,156	1,970	1,704	1,071	1	645
中学生	1,530	989	844	854	674	695	565	301	0	233
高校生	2,818	1,889	1,612	1,414	1,319	1,150	1,017	672	1	373
大学生・その他の学生	283	196	173	143	141	107	102	82	0	28
有職少年・無職少年	69	36	30	24	22	18	20	16	0	11

※全体の値を基準に降順並び替え

- 「その他」(自由記述)
  - ・ インターネットパトロール

イ いくつかの取組を選択したか

- ・Q1では、「いずれも知らない」を除くと、平均3.2つの取組が選択されており、選択数が最も多かったのは「3つ」(16.1%)となっている。
- ・男女別では、男性の平均選択数は3.1つ、女性は3.3つとなっている。選択数が最も多かったのは、男性が「いずれも知らない」(17.0%)、女性が「3つ」(17.8%)となっている。
- ・学職別では、中学生、高校生の平均選択数は3.2つ、大学生・その他の学生は3.3つ、有職少年・無職少年は2.4つとなっている。
- ・中学生で選択数が最も多かったのは「4つ」(16.3%)だが、ついで「いずれも知らない」(15.2%)となっている。

図 1-3 いくつかの取組を選択したか・男女別(割合)

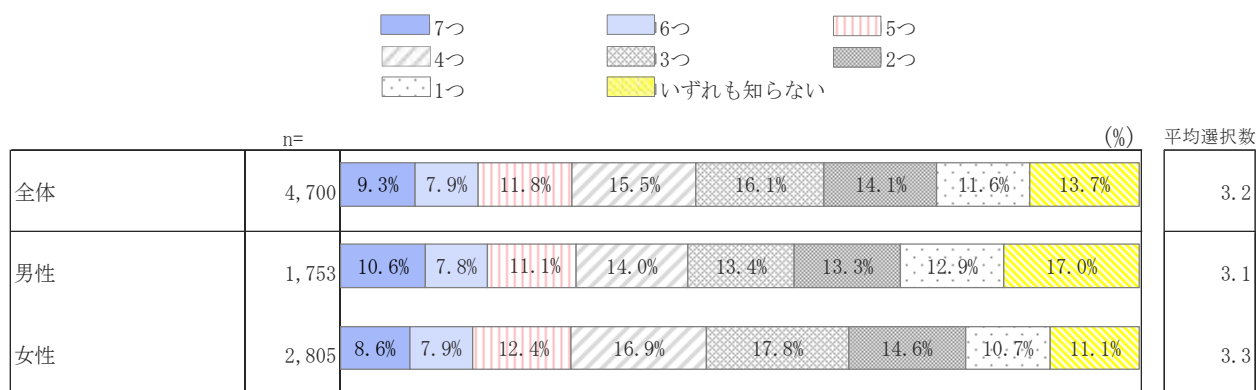


表 1-3 いくつかの取組を選択したか・男女別(実数)

	n=	7つ	6つ	5つ	4つ	3つ	2つ	1つ	いずれも知らない	(実数)	平均選択数
全体	4,700	438	369	554	729	757	661	547	645		3.2
男性	1,753	185	136	195	245	235	233	226	298		3.1
女性	2,805	242	222	348	474	498	410	301	310		3.3

図 1-4 いくつの取組を選択したか・学職別(割合)

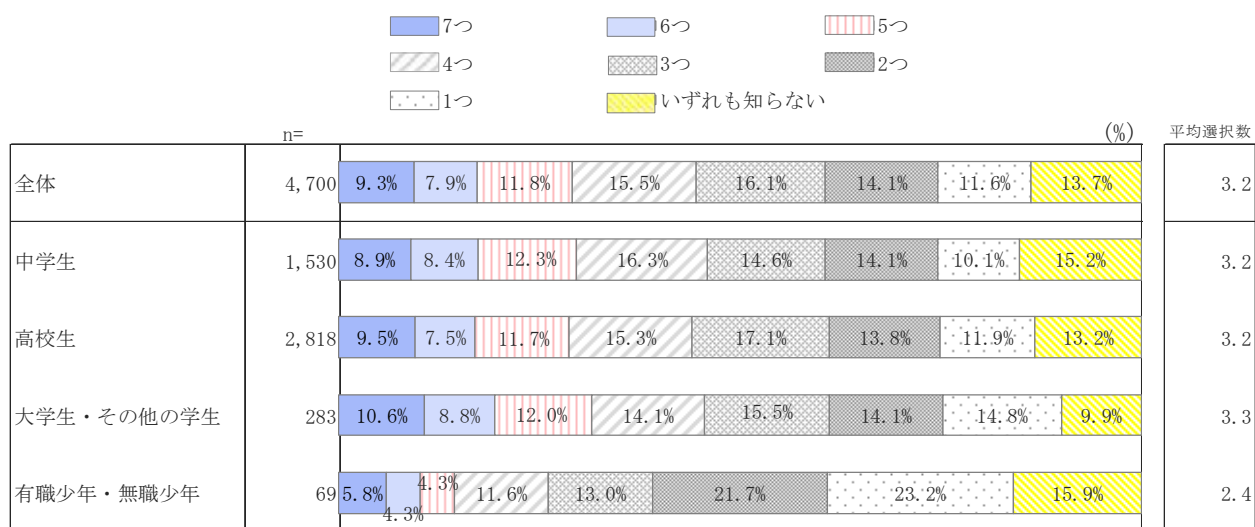


表 1-4 いくつの取組を選択したか・学職別(実数)

学職別	n	7つ	6つ	5つ	4つ	3つ	2つ	1つ	いずれも知らない	平均選択数
全体	4,700	438	369	554	729	757	661	547	645	3.2
中学生	1,530	136	129	188	250	223	216	155	233	3.2
高校生	2,818	268	212	329	431	481	390	334	373	3.2
大学生・その他の学生	283	30	25	34	40	44	40	42	28	3.3
有職少年・無職少年	69	4	3	3	8	9	15	16	11	2.4



ウ 少年補導職員を知っているか

Q2. 警察には、少年の非行防止・犯罪被害防止を専門にしている職員(少年補導職員、少年育成官、少年相談専門職員など)がいることを知っていますか。(SA)  
 ※名称は、都道府県によって異なります。

- ・少年補導職員の認知度は43.3%となっている。
- ・男女別では、認知度に大きな差異はない。
- ・学職別でも、学生間で認知度に大きな差異はない。

図 2-1 少年補導職員を知っているか・男女別(割合)

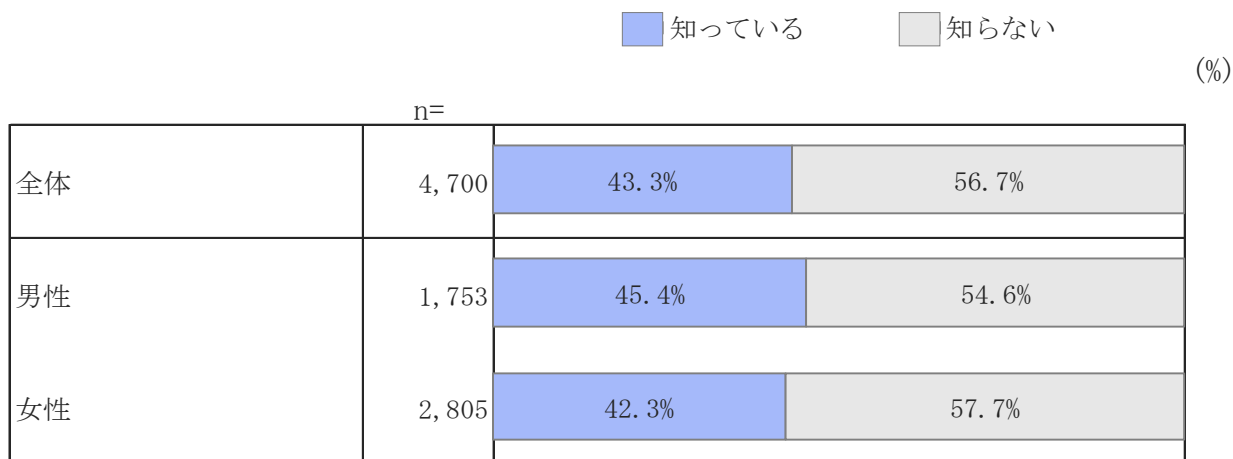


表 2-1 少年補導職員を知っているか・男女別(実数)

		(実数)	
	n=	知っている	知らない
全体	4,700	2,036	2,664
男性	1,753	795	958
女性	2,805	1,187	1,618

図 2-2 少年補導職員を知っているか・学職別(割合)

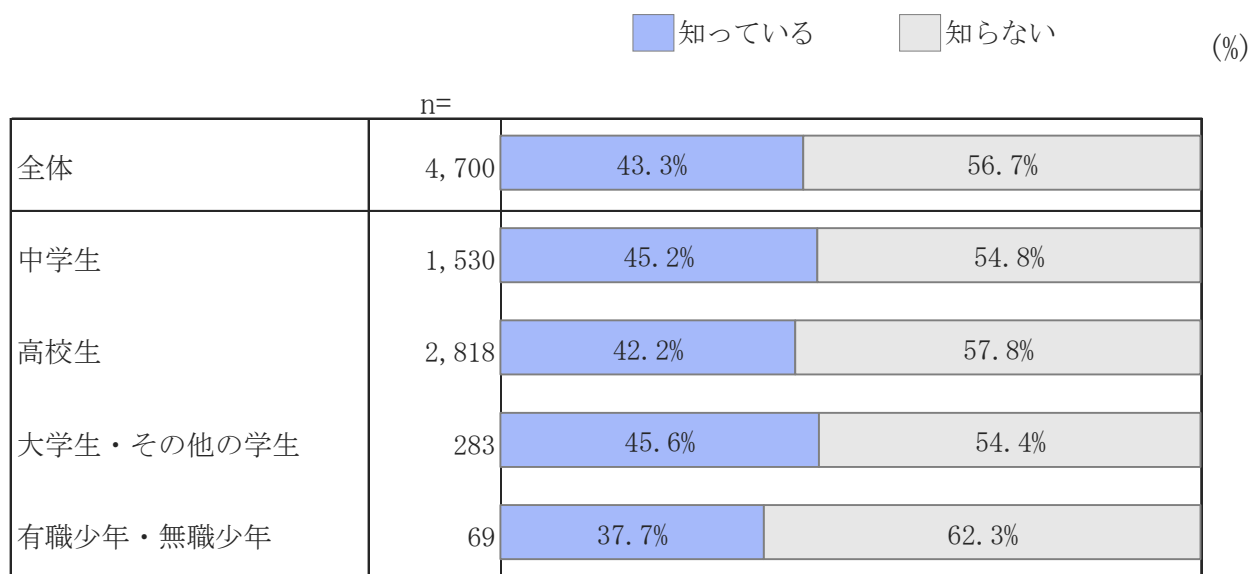


表 2-2 少年補導職員を知っているか・学職別(実数)

(実数)

	n=	知っている	知らない
全体	4,700	2,036	2,664
中学生	1,530	692	838
高校生	2,818	1,189	1,629
大学生・その他の学生	283	129	154
有職少年・無職少年	69	26	43

エ 少年相談窓口の利用経験

Q3. あなたは、警察の少年相談窓口・少年相談電話を利用したことがありますか。(SA)  
 ※少年相談電話には、都道府県により「ヤングテレホン」などの名前があります。

- ・Q1 で少年相談を知っていると回答した 2,435 人を対象として、少年相談の利用経験を聞いたところ、「ある」が 1.5%となっている。
- ・男女別では、利用経験に大きな差異はない。
- ・学職別でも、学生間で利用経験に大きな差異はない。

図 3-1 少年相談窓口の利用経験・男女別(割合)

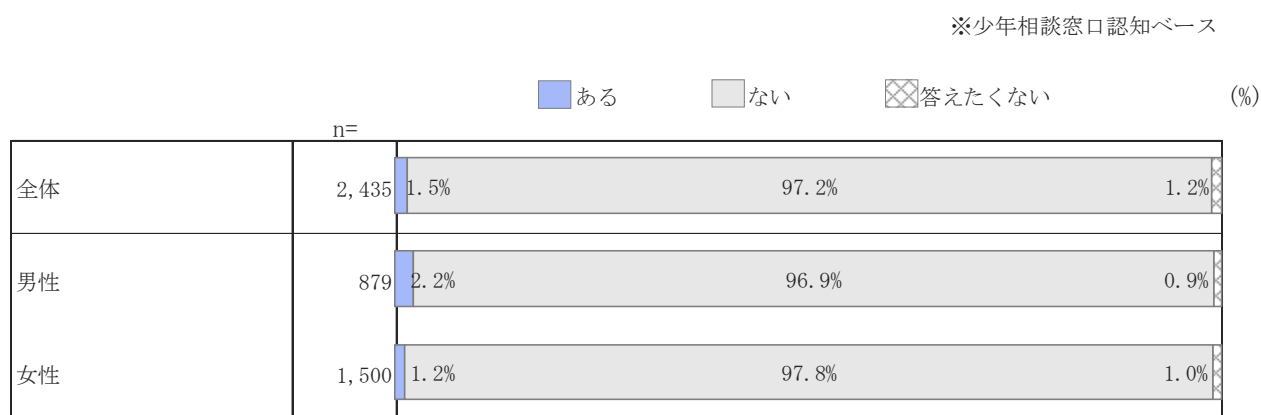
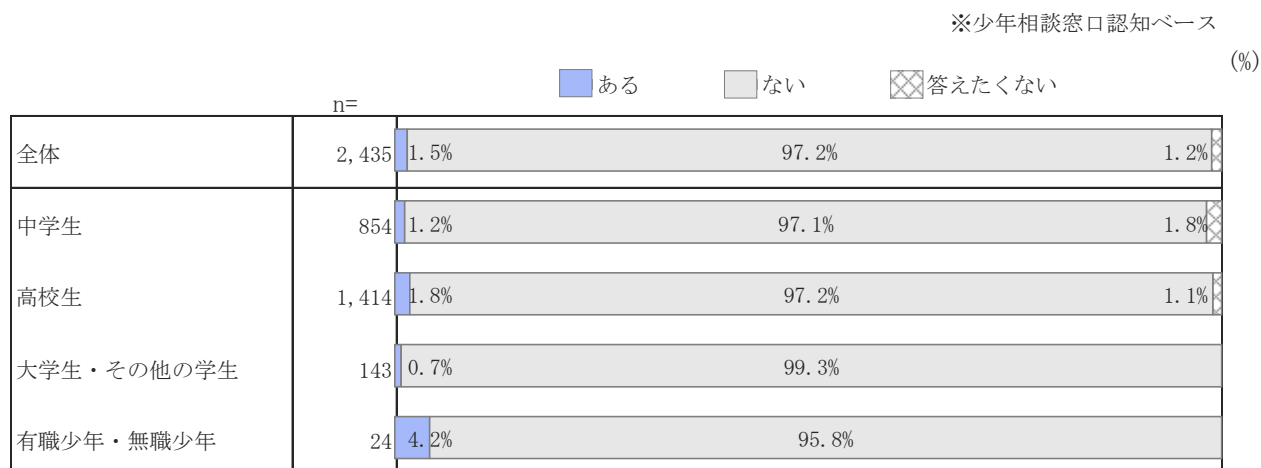


表 3-1 少年相談窓口の利用経験・男女別(実数)

※少年相談窓口認知ベース  
(実数)

	n=	ある	ない	答えたくない
全体	2,435	37	2,368	30
男性	879	19	852	8
女性	1,500	18	1,467	15

図 3-2 少年相談窓口の利用経験・学職別(割合)



\*有職少年・無職少年は n=30 未満のため参考値

表 3-2 少年相談窓口の利用経験・学職別(実数)

※少年相談窓口認知ベース (実数)

	n=	ある	ない	答えたくない
全体	2,435	37	2,368	30
中学生	854	10	829	15
高校生	1,414	25	1,374	15
大学生・その他の学生	143	1	142	0
有職少年・無職少年	24	1	23	0

\*有職少年・無職少年は n=30 未満のため参考値

## (2) 少年警察活動の各種取組についての意見

### ア 総括

Q4～Q10 について少年警察活動の各種取組への意見について質問した。

Q4. 警察が、「困っている少年の相談にのる(少年相談窓口・少年相談電話を設置している)こと」について、どう思いますか。(SA)

Q5. 警察が、「学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室などの授業・講演をすること」について、どう思いますか。(SA)

Q6. 警察が、「街なかや広場などで、飲酒、喫煙、家出、夜遊びなど不良行為をしている少年に注意や指導などをする(補導すること)」について、どう思いますか。(SA)

Q7. 警察が、「SNSでの援助交際・パパ活の募集に対して、注意文を投稿すること」について、どう思いますか。(SA)

Q8. 警察が、「再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること」について、どう思いますか。(SA)

Q9. 警察が、「犯罪被害やいじめ等にあった少年にカウンセリングなどのサポートをすること」について、どう思いますか。(SA)

Q10. 警察が、「少年の非行防止・犯罪被害防止のために、お知らせ・キャンペーンなどをする事」について、どう思いますか。(SA)

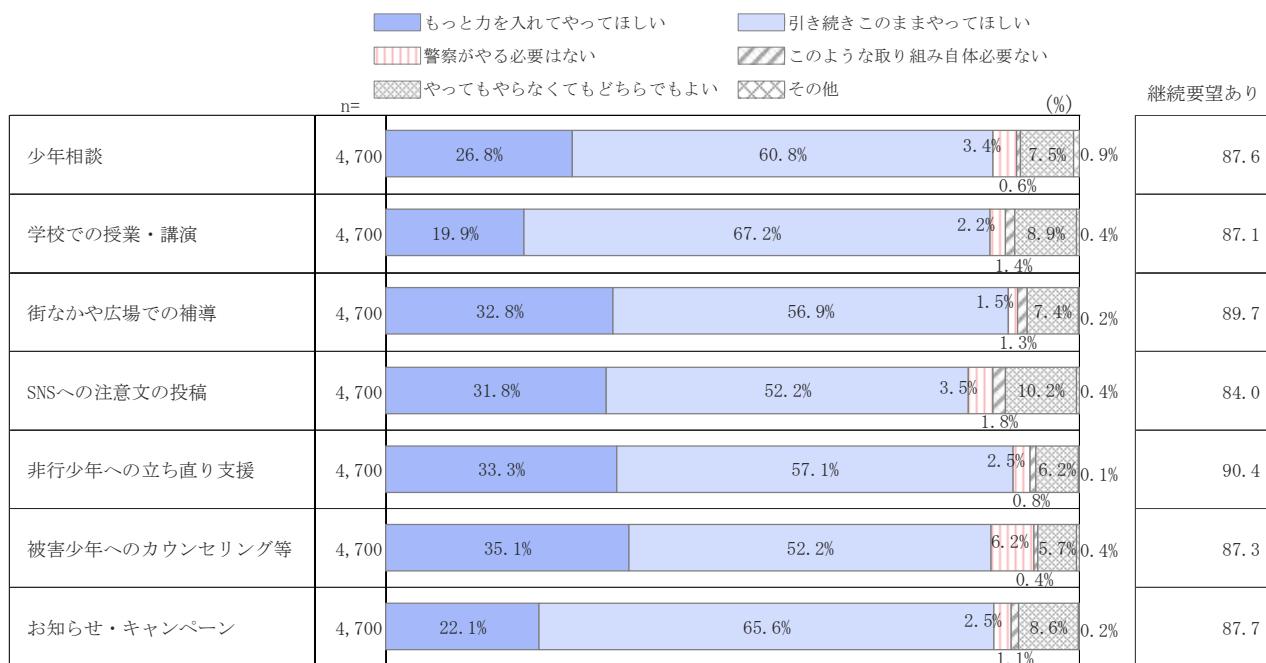
・各種取組に関しては、ほとんどが肯定的な意見であり、「もっと力をいれてほしい」と「引き続きこのままやってほしい」を合わせた「継続要望あり」はいずれも8割以上となっている。

・「もっと力をいれてほしい」と回答された取組をみると、「被害少年へのカウンセリング等」が35.1%で最も高くなっている。次いで「非行少年への立ち直り支援」(33.3%)、「街なかや広場での補導」(32.8%)、「SNSへの注意文の投稿」(31.8%)でいずれも3割超えとなっている。

・「もっと力をいれてほしい」と回答された取組を男女別でみると、「学校での授業・講演」について男性が23.6%、女性が17.7%と約6ポイント男性の方が高くなっている。また「非行少年への立ち直り支援」についても男性が36.6%、女性が31.0%と約6ポイント男性の方が高くなっている。

・「もっと力をいれてほしい」と回答された取組を学職別でみると、大学生・その他の学生は「学校での授業・講演」(23.3%)、「SNSへの注意文の投稿」(35.3%)について、他の学職より高くなっており、最も低い中学生と比べ、「学校での授業・講演」では約5ポイント、「SNSへの注意文の投稿」では約6ポイント高くなっている。

図 4-1-1 総括(割合)



※「継続要望あり」は「もっと力を入れてやってほしい」＋「引き続きこのままやってほしい」の合計

表 4-1-1 総括(実数)

活動	n	もっと力を入れてやってほしい (実数)	引き続きこのままやってほしい (実数)	警察がやる必要はない (実数)	このような取り組み自体必要ない (実数)	やってもやらなくてもどちらでもよい (実数)	その他 (実数)	継続要望あり (実数)
少年相談	4,700	1,261	2,856	158	30	354	41	4,117
学校での授業・講演	4,700	937	3,157	105	64	418	19	4,094
街なかや広場での補導	4,700	1,542	2,674	69	59	348	8	4,216
SNSへの注意文の投稿	4,700	1,496	2,454	165	83	481	21	3,950
非行少年への立ち直り支援	4,700	1,565	2,684	116	38	291	6	4,249
被害少年へのカウンセリング等	4,700	1,648	2,454	292	21	266	19	4,102
お知らせ・キャンペーン	4,700	1,040	3,081	116	51	404	8	4,121

※「継続要望あり」は「もっと力を入れてやってほしい」＋「引き続きこのままやってほしい」の合計

図 4-1-2 「もっと力を入れてほしい」取組・男女別(割合)

(%)

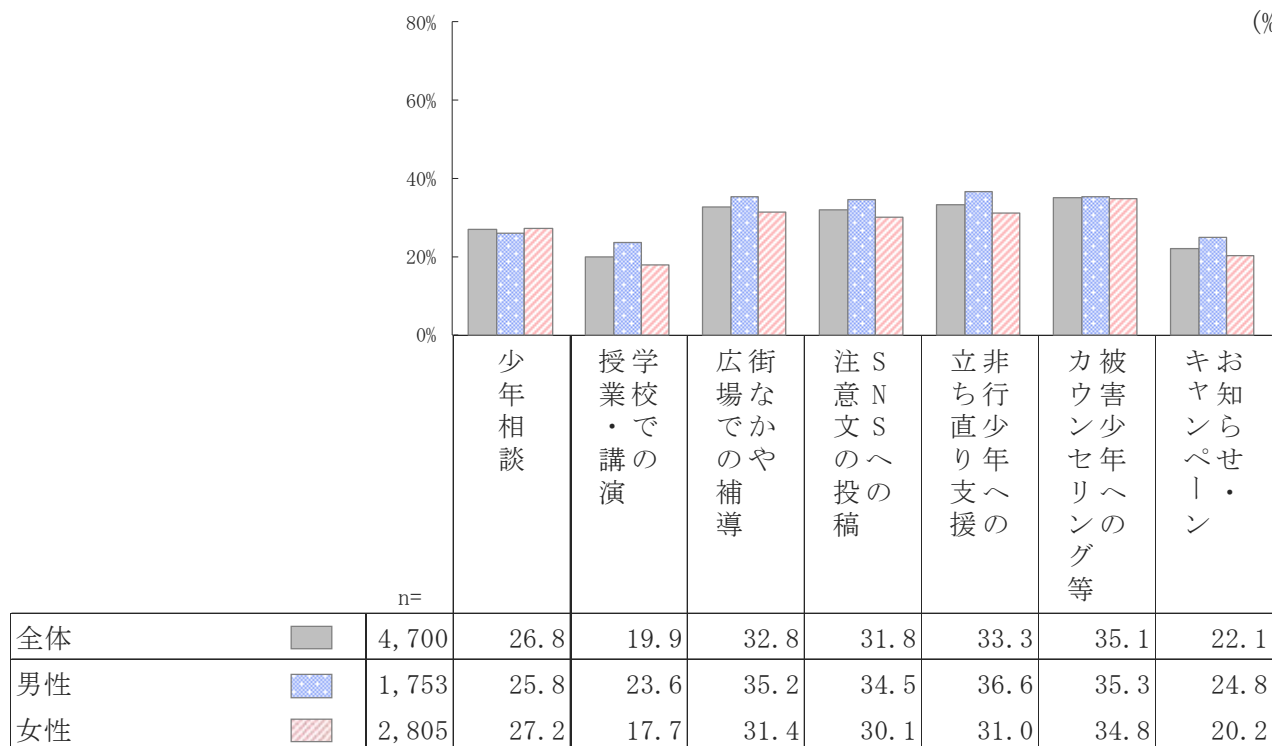


表 4-1-2 「もっと力を入れてほしい」取組・男女別(実数)

(実数)

	n=	少年相談	授業・学校の講演	広場なかのや補導	注意文への投稿	立ち直り少年支援	非行少年への支援	カウンセリング等	キャンペーン
全体	4,700	1,261	937	1,542	1,496	1,565	1,648	1,040	
男性	1,753	453	413	617	604	642	619	435	
女性	2,805	763	497	881	843	870	976	568	

図 4-1-3 「もっと力を入れてほしい」取組・学職別(割合)

(%)

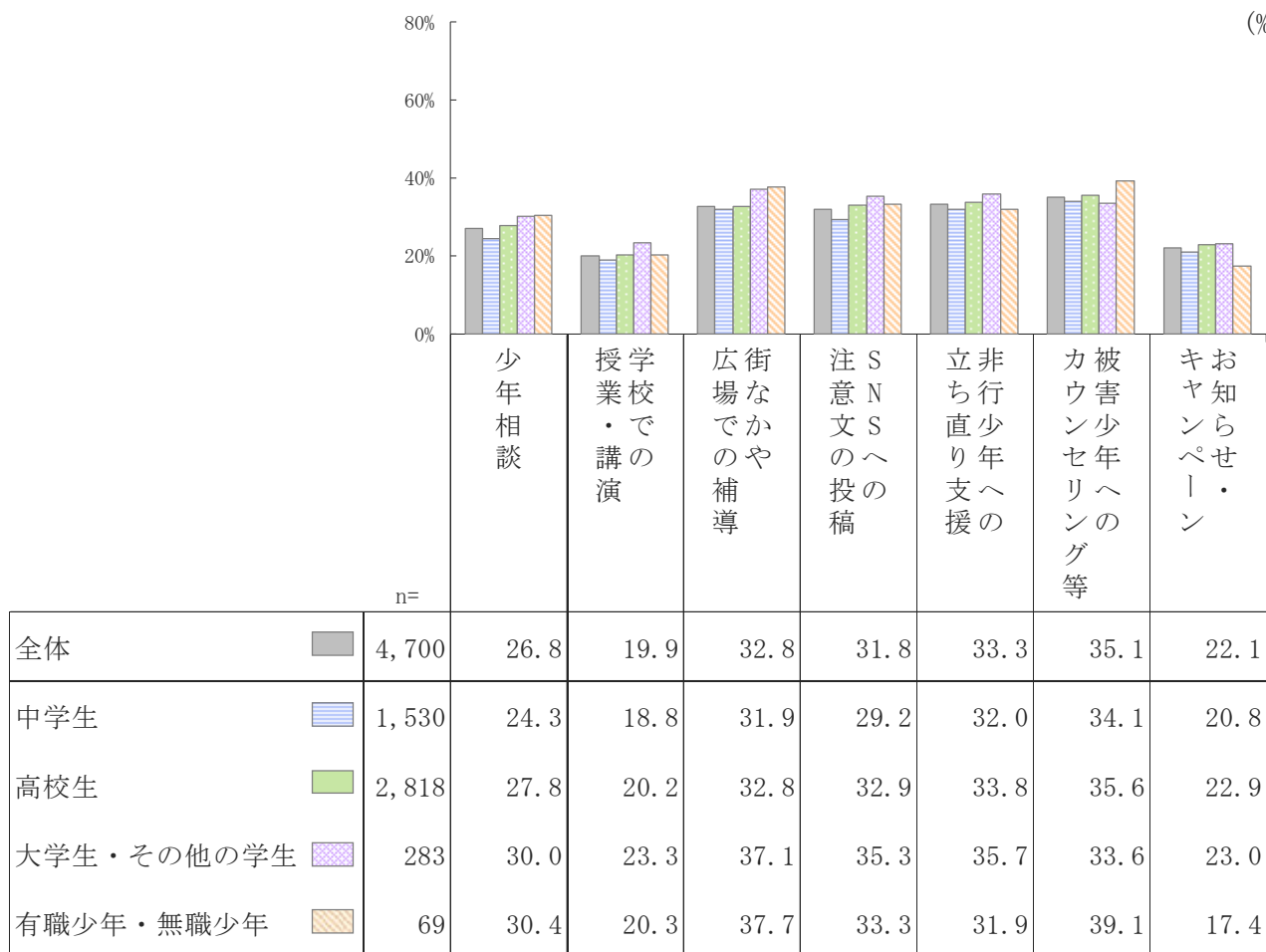


表 4-1-3 「もっと力を入れてほしい」取組・学職別(実数)

(実数)

	n=	少年相談	授業・学校の講演	広場などのや補導	注意文への投稿	立ち直り少年への支援	被害少年への支援	被害少年への支援	お知らせページ
全体	4,700	1,261	937	1,542	1,496	1,565	1,648	1,648	1,040
中学生	1,530	372	287	488	447	490	522	522	319
高校生	2,818	783	570	923	926	952	1,004	1,004	644
大学生・その他の学生	283	85	66	105	100	101	95	95	65
有職少年・無職少年	69	21	14	26	23	22	27	27	12



イ 少年相談について

Q4. 警察が、「困っている少年の相談にのる(少年相談窓口・少年相談電話を設置している)こと」について、どう思いますか。(SA)

- ・「少年相談」について「もっと力を入れてやってほしい」は26.8%、「引き続きこのままやってほしい」は60.8%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は3.4%となっている。
- ・男女別では、「もっと力を入れてやってほしい」「引き続きこのままやってほしい」ともに大きな差異はない。
- ・学職別では、「もっと力を入れてやってほしい」について大学生が30.0%と他の学生より高くなっている。
- ・少年相談窓口の利用経験者は、「もっと力を入れてやってほしい」が37.8%、「引き続きこのままやってほしい」が48.6%となっている。

図 4-2 少年相談について・男女別(割合)

※全ベース

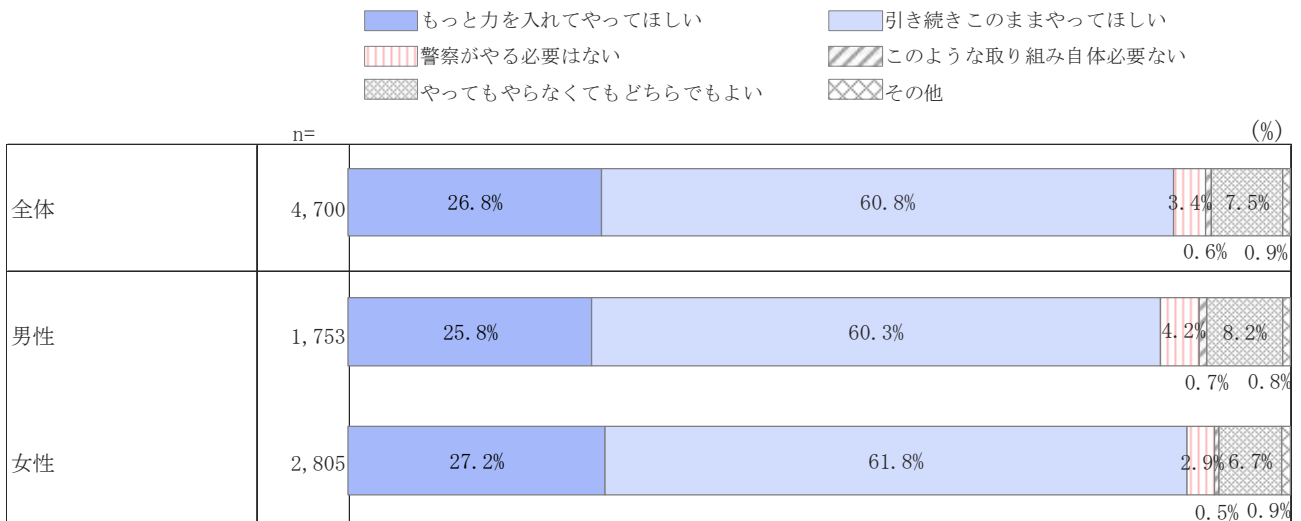


表 4-2 少年相談について・男女別(実数)

※全ベース  
(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,261	2,856	158	30	354	41
男性	1,753	453	1,057	73	13	143	14
女性	2,805	763	1,733	81	14	188	26

図 4-3 少年相談について・学職別(割合)

※全ベース

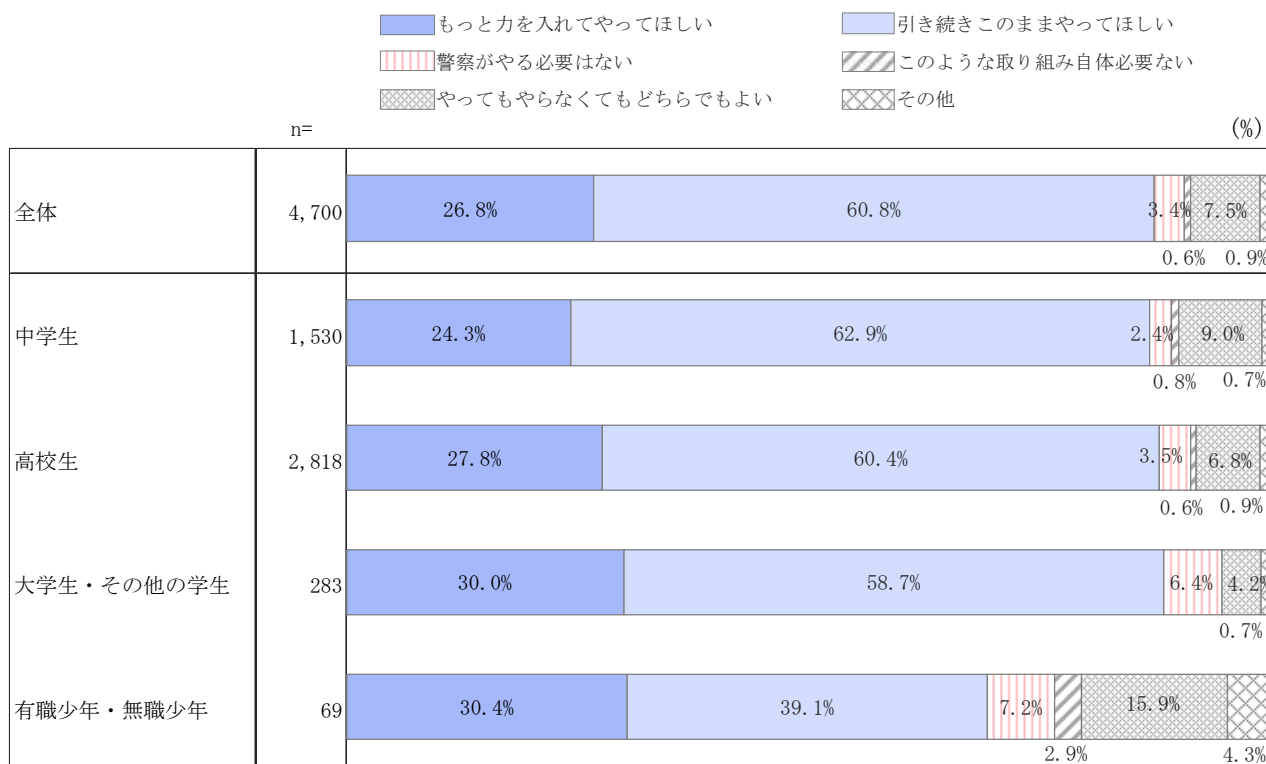


表 4-3 少年相談について・学職別(実数)

※全ベース  
(実数)

	n=	もっと力を入れて やってほしい	引き続きこのまま やってほしい	警察がやる 必要はない	このような 取り組み自体 必要ない	やっても やらなくても どちらでもよい	その他
全体	4,700	1,261	2,856	158	30	354	41
中学生	1,530	372	962	36	12	138	10
高校生	2,818	783	1,701	99	16	193	26
大学生・その他の学生	283	85	166	18	0	12	2
有職少年・無職少年	69	21	27	5	2	11	3

● 「その他」(自由記述)の主なもの

- ・ 電話したときに適切な対応をしてほしい。
- ・ 少年のニーズに寄り添ってやってほしい。
- ・ 警察に電話するとおおごとになりそう。気軽さをアピールしてほしい。
- ・ 電話よりネットの方が話しやすい。
- ・ 担当者を警察官でなく心理師にする。
- ・ 警察には話しにくい人もいると思う。

図 4-4 少年相談窓口利用経験者の少年相談について・全体(割合)

※少年相談窓口利用経験ありベース

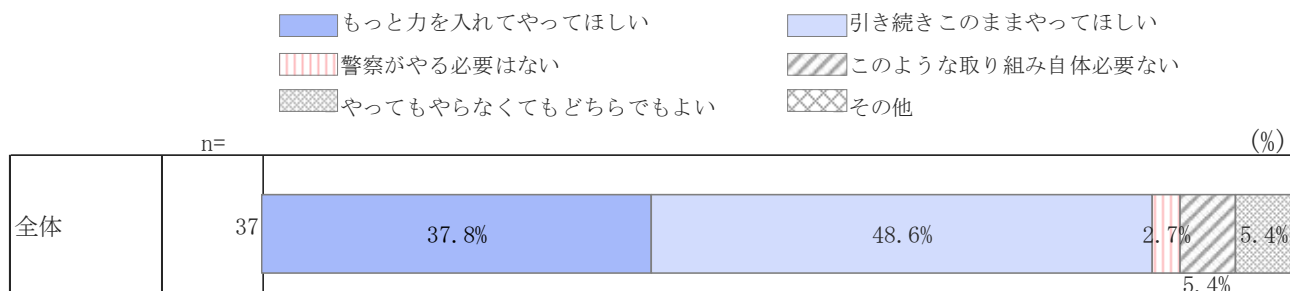


図 4-4 少年相談窓口利用経験者の少年相談について・全体(実数)

※少年相談窓口利用経験ありベース  
(実数)

	n=	もっと力を入れて やってほしい	引き続きこのまま やってほしい	警察がやる 必要はない	このような 取り組み自体 必要ない	やっても やらなくても どちらでもよい	その他
全体	37	14	18	1	2	2	0

ウ 学校での授業・講演について

Q5. 警察が、「学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室などの授業・講演をすること」について、どう思いますか。(SA)

- ・「学校での授業・講演」について「もっと力を入れてやってほしい」は19.9%、「引き続きこのままやってほしい」は67.2%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は2.2%となっている。
- ・男女別では、「もっと力を入れてやってほしい」について男性が23.6%、女性が17.7%と約6ポイント男性のほうが高くなっている。また、「引き続きこのままやってほしい」については、男性が61.5%、女性が71.1%と女性のほうが約10ポイント高くなっている。
- ・学職別では、「もっと力を入れてやってほしい」について中学生が18.8%、大学生・その他の学生が23.3%と大学生・その他の学生のほうが約5ポイント高くなっている。

図 5-1 学校での授業・講演について・男女別(割合)

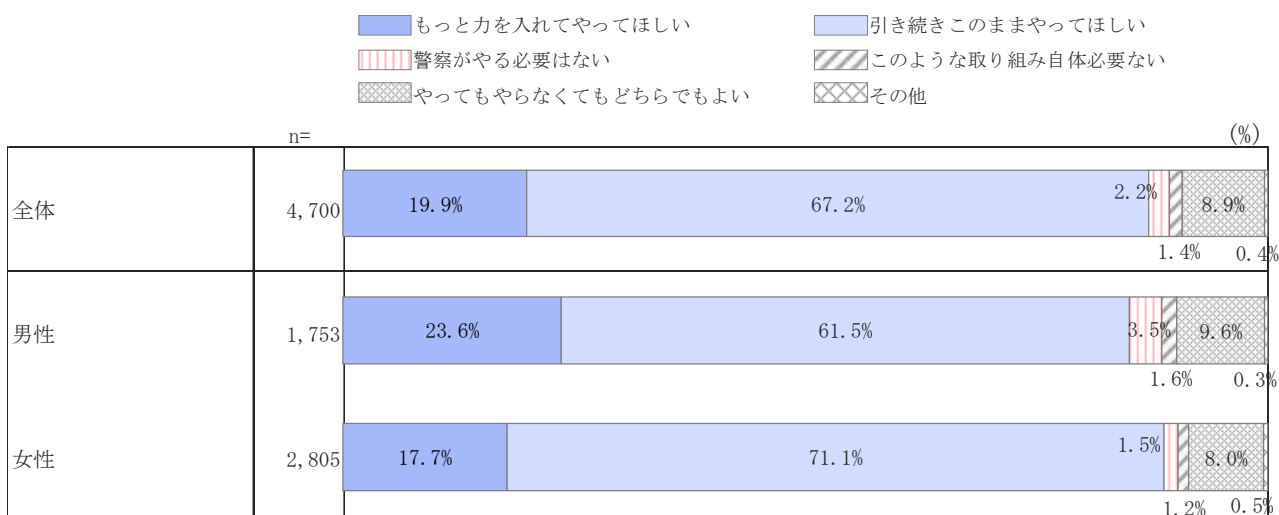


表 5-1 学校での授業・講演について・男女別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	937	3,157	105	64	418	19
男性	1,753	413	1,078	61	28	168	5
女性	2,805	497	1,995	43	33	223	14

図 5-2 学校での授業・講演について・学職別(割合)

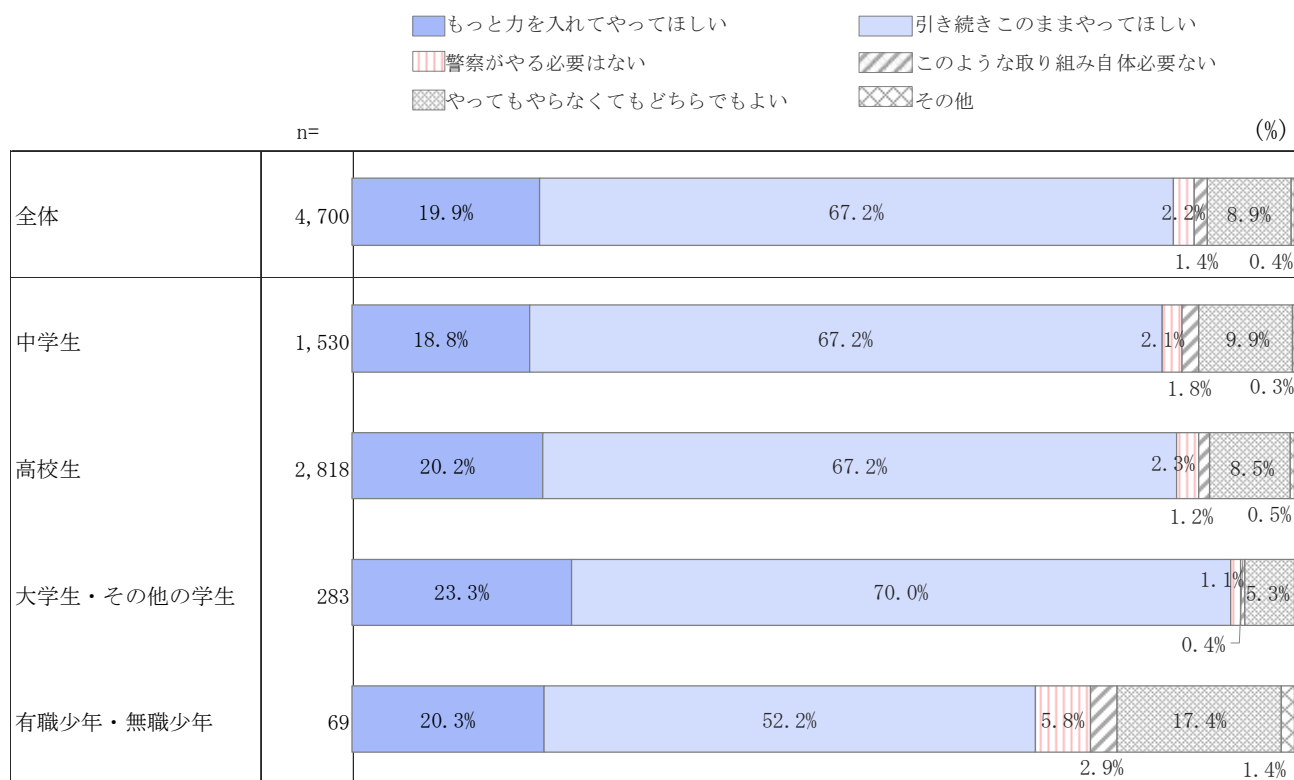


表 5-2 学校での授業・講演について・学職別(実数)

	n=	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	937	3,157	105	64	418	19
中学生	1,530	287	1,028	32	27	152	4
高校生	2,818	570	1,895	66	34	239	14
大学生・その他の学生	283	66	198	3	1	15	0
有職少年・無職少年	69	14	36	4	2	12	1

● 「その他」(自由記述)の主なもの

- ・ とても役に立っていて、やっではいけないという気持ちを持つことができる。
- ・ 薬物依存者の様子とか、もっと刺激的な教材を使ってもいいと思う。
- ・ やるのは大切だと思うけど、体育座りがしんどいから椅子に座らせてほしい。
- ・ やってくれるのはありがたいけど、現在やりすぎなくらいある。

エ 街なかや広場での補導について

Q6. 警察が、「街なかや広場などで、飲酒、喫煙、家出、夜遊びなど不良行為をしている少年に注意や指導などをする(補導すること)」について、どう思いますか。(SA)

- ・「街なかや広場での補導」について「もっと力を入れてやってほしい」は 32.8%、「引き続きこのままやってほしい」は 56.9%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は 1.5%となっている。
- ・男女別では、「引き続きこのままやってほしい」について男性が 52.7%、女性が 60.0%と約 7 ポイント女性のほうが高くなっている。
- ・学職別では、「もっと力を入れてやってほしい」について中学生が 31.9%、大学生・その他の学生が 37.1%と大学生・その他の学生のほうが約 5 ポイント高くなっている。

図 6-1 街なかや広場での補導について・男女別(割合)

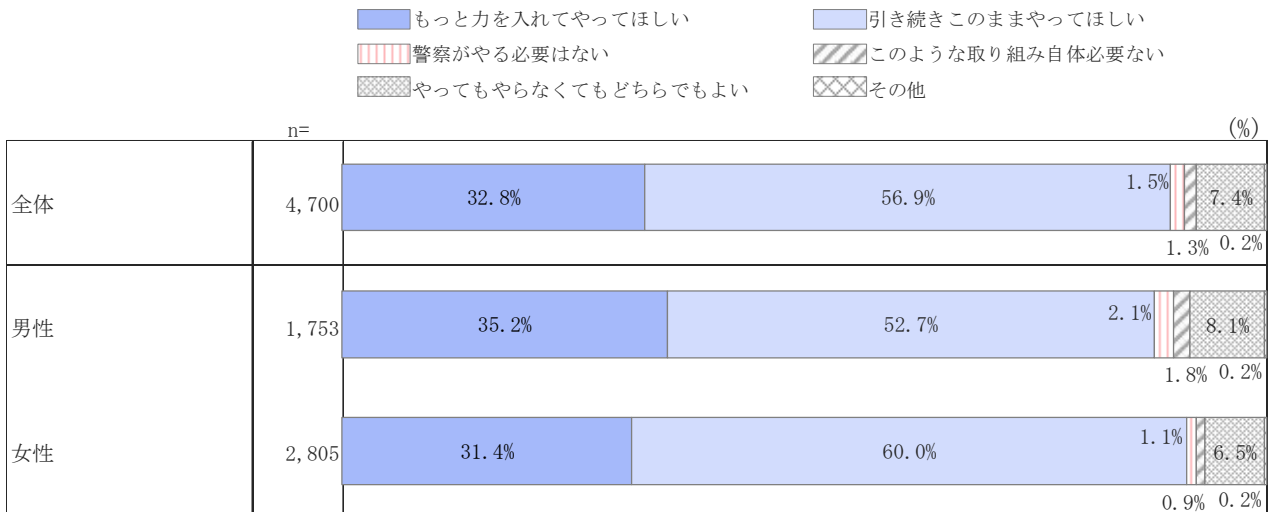


表 6-1 街なかや広場での補導について・男女別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,542	2,674	69	59	348	8
男性	1,753	617	923	36	32	142	3
女性	2,805	881	1,684	30	24	181	5

図 6-2 街なかや広場での補導について・学職別(割合)

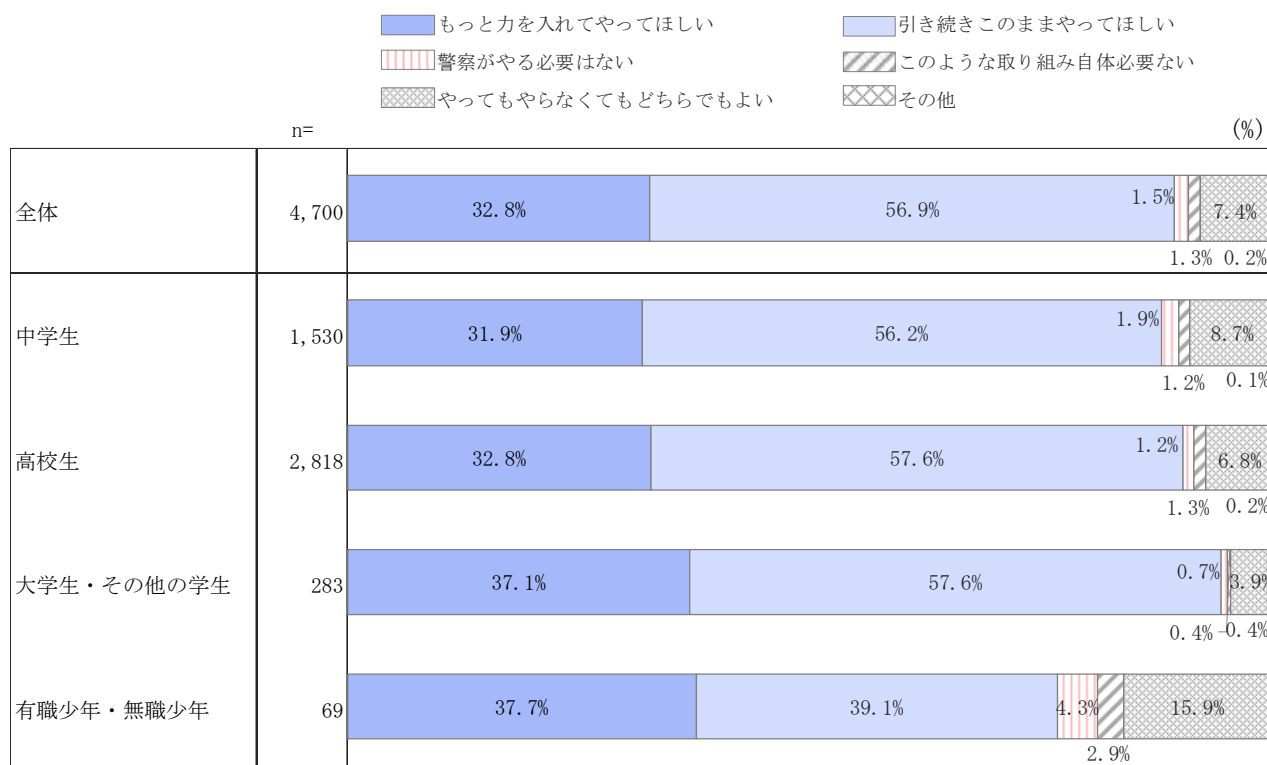


表 6-2 街なかや広場での補導について・学職別(実数)

学職別	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,542	2,674	69	59	348	8
中学生	1,530	488	860	29	18	133	2
高校生	2,818	923	1,624	35	38	193	5
大学生・その他の学生	283	105	163	2	1	11	1
有職少年・無職少年	69	26	27	3	2	11	0

● 「その他」(自由記述)の主なもの

- ・ その子たちの悩みを聴いてあげてほしい。
- ・ 補導するだけでなく、なぜそんなことをしているのかを知って、事前に防止できるようなことがあれば、その方がよい。
- ・ 家出に関して、DV などがある者が家に帰ることが危険な者を家に帰すことは元も子もない。

オ SNS への注意文の投稿について

Q7. 警察が、「SNSでの援助交際・パパ活の募集に対して、注意文を投稿すること」について、どう思いますか。(SA)

※「援助交際・パパ活の募集」とは、お金を目的として性的行為やデート等の相手を探すことです。

※警察からの注意文の例：「性犯罪や誘拐などの事件に巻き込まれる危険があります。」

- ・「SNS への注意文の投稿」について「もっと力を入れてやってほしい」は 31.8%、「引き続きこのままやってほしい」は 52.2%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は 3.5%となっている。
- ・男女別では、「引き続きこのままやってほしい」について男性が 47.4%、女性が 55.8%と女性のほうが約 8 ポイント高くなっている。
- ・学職別では、「もっと力を入れてやってほしい」について中学生が 29.2%、大学生・その他の学生が 35.3%と大学生・その他の学生のほうが約 6 ポイント高くなっている。また、「やってもやらなくてもどちらでもよい」について、中学生は 11.8%、大学生・その他の学生は 4.2%と中学生のほうが約 8 ポイント高くなっている。

図 7-1 SNS への注意文の投稿について・男女別(割合)

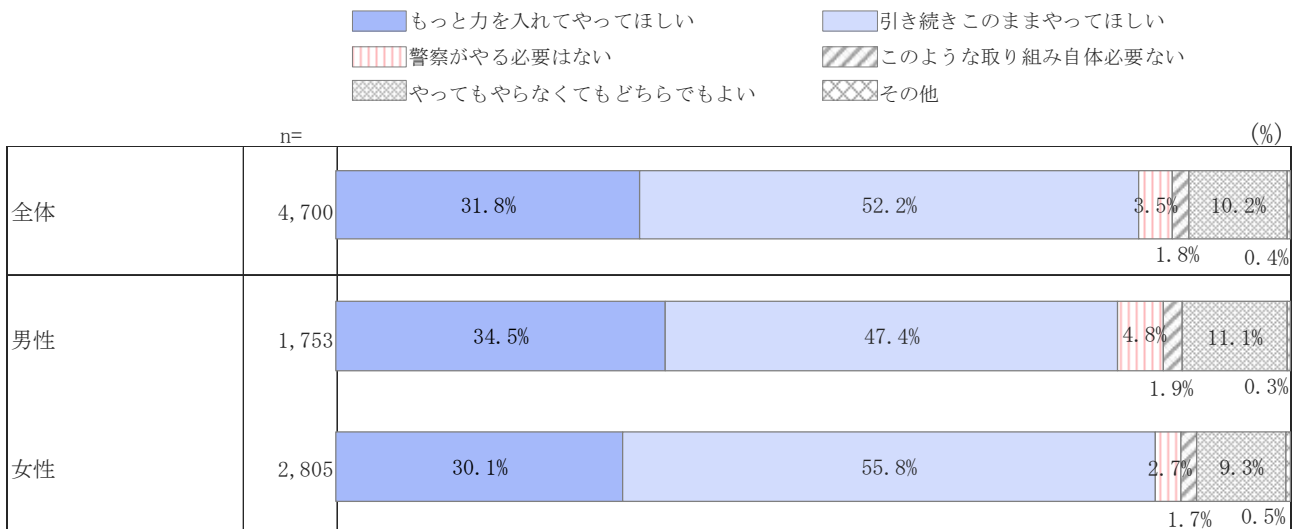


表 7-1 SNS への注意文の投稿について・男女別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,496	2,454	165	83	481	21
男性	1,753	604	831	84	34	194	6
女性	2,805	843	1,565	76	47	260	14



図 7-2 SNS への注意文の投稿について・学職別(割合)

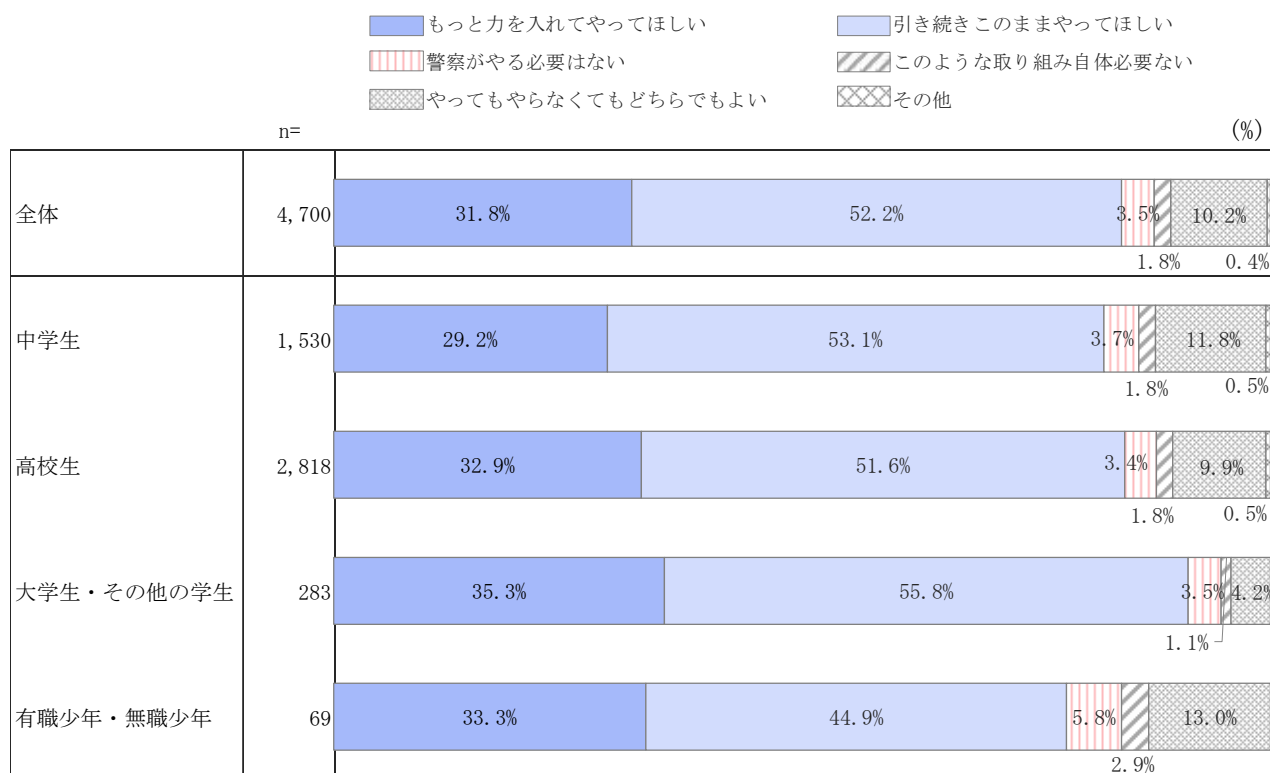


表 7-2 SNS への注意文の投稿について・学職別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,496	2,454	165	83	481	21
中学生	1,530	447	812	56	27	180	8
高校生	2,818	926	1,453	95	51	280	13
大学生・その他の学生	283	100	158	10	3	12	0
有職少年・無職少年	69	23	31	4	2	9	0

- 「その他」(自由記述)の主なもの
  - ・ SNS での注意だけでなく、講演をする。
  - ・ 援助交際の罪の意識の向上が必要。

カ 非行少年の立ち直り支援について

Q8. 警察が、「再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること」について、どう思いますか。(SA)

- ・「非行少年の立ち直り支援」について「もっと力を入れてやってほしい」は33.3%、「引き続きこのままやってほしい」は57.1%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は2.5%となっている。
- ・男女別では、「引き続きこのままやってほしい」について男性が51.7%、女性が61.2%と女性のほうが約10ポイント高くなっている。
- ・学職別では、学生間に大きな差異はない。

図 8-1 非行少年の立ち直り支援について・男女別(割合)

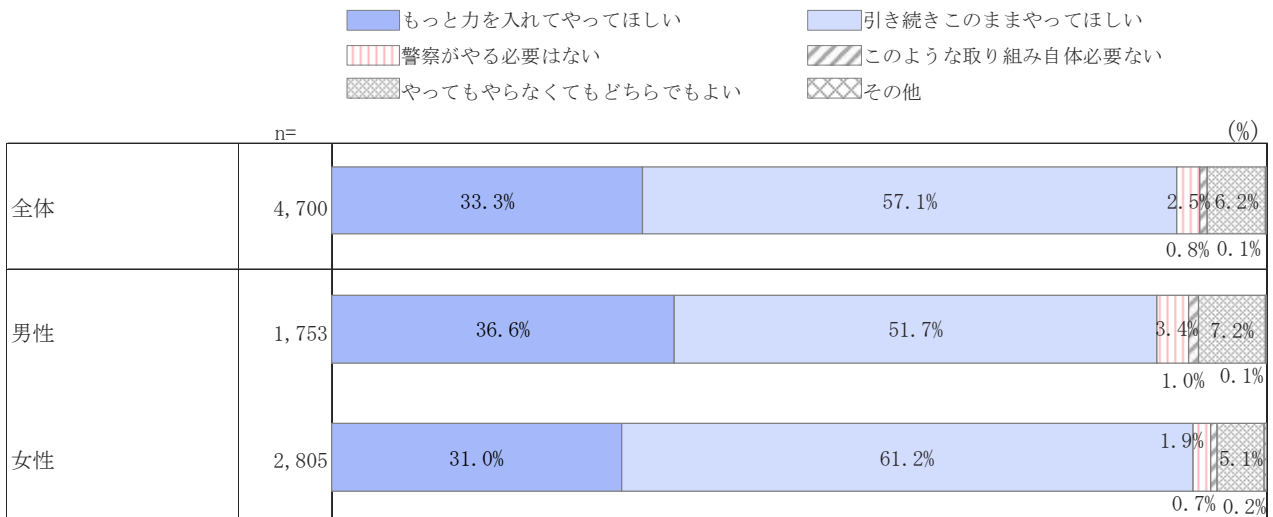


表 8-1 非行少年の立ち直り支援について・男女別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,565	2,684	116	38	291	6
男性	1,753	642	907	60	17	126	1
女性	2,805	870	1,716	52	20	142	5

図 8-2 非行少年の立ち直り支援について・学職別(割合)

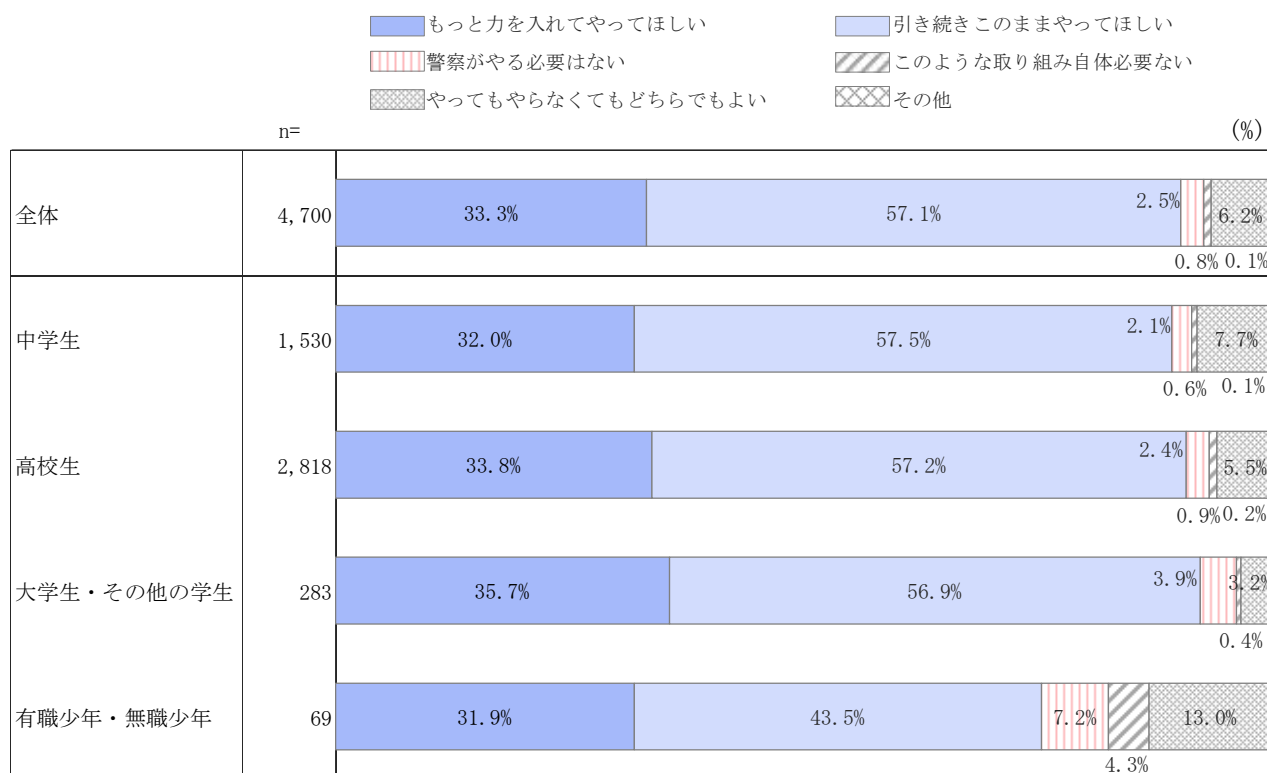


表 8-2 非行少年の立ち直り支援について・学職別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,565	2,684	116	38	291	6
中学生	1,530	490	880	32	9	118	1
高校生	2,818	952	1,613	68	25	155	5
大学生・その他の学生	283	101	161	11	1	9	0
有職少年・無職少年	69	22	30	5	3	9	0

● 「その他」(自由記述)の主なもの

- ・ この取組を見聞きしたことがないので、まずはこのような取組をしているという情報を広めてほしい。

キ 被害少年への支援について

Q9. 警察が、「犯罪被害やいじめ等にあった少年にカウンセリングなどのサポートをすること」について、どう思いますか。(SA)

- ・「被害少年への支援」について「もっと力を入れてやってほしい」は 35.1%、「引き続きこのままやってほしい」は 52.2%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は 6.2%となっている。
- ・男女別では、「引き続きこのままやってほしい」について男性が 49.4%、女性が 54.5%と女性のほうが約 5 ポイント高くなっている。
- ・学職別では、学生間に大きな差異はない。

図 9-1 被害少年への支援について・男女別(割合)

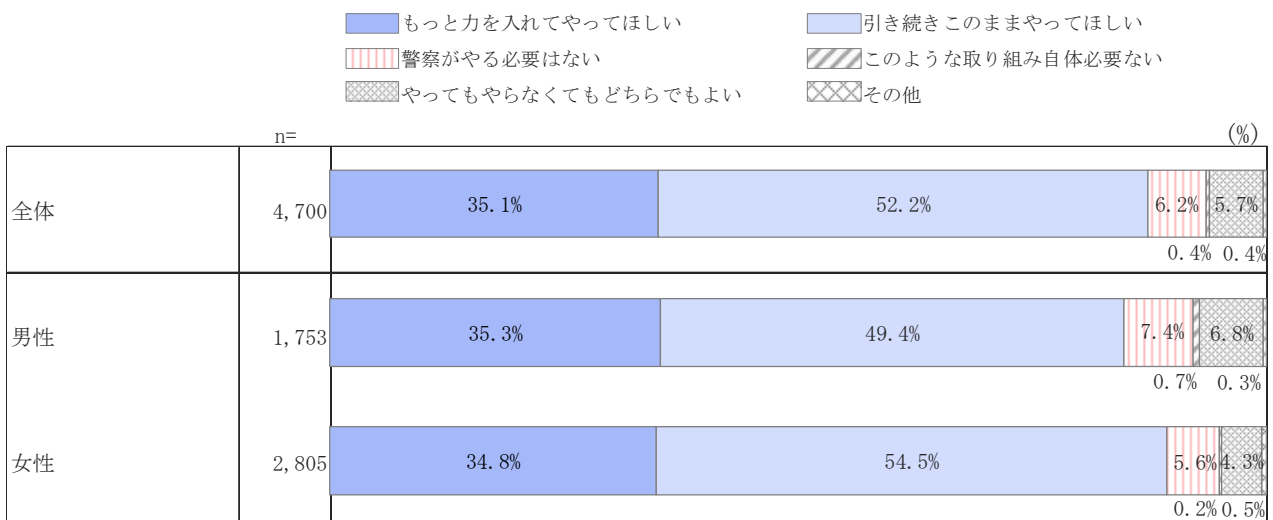


表 9-1 被害少年への支援について・男女別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,648	2,454	292	21	266	19
男性	1,753	619	866	129	13	120	6
女性	2,805	976	1,529	158	7	122	13

図 9-2 被害少年への支援について・学職別(割合)

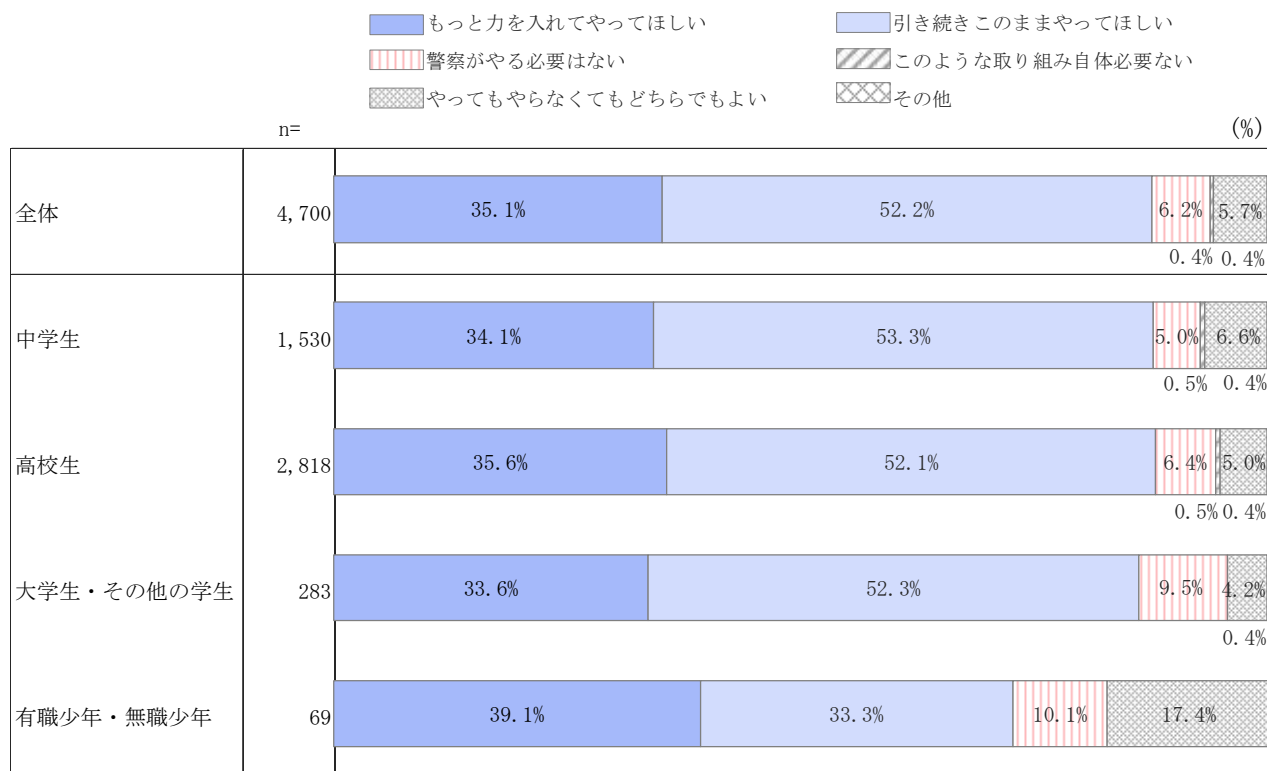


表 9-2 被害少年への支援について・学職別(実数)

学職別	n	(実数)					
		もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,648	2,454	292	21	266	19
中学生	1,530	522	816	77	8	101	6
高校生	2,818	1,004	1,467	181	13	141	12
大学生・その他の学生	283	95	148	27	0	12	1
有職少年・無職少年	69	27	23	7	0	12	0

- 「その他」(自由記述)の主なもの
  - ・ サポートの仕方をもっと工夫した方がいい。
  - ・ 公認心理師資格所有者にやってほしい。
  - ・ いじめをした加害者にもカウンセリングをしてほしい。
  - ・ 危害を与えた人への取組に力を入れるべき。

ク 広報啓発活動について

Q10. 警察が、「少年の非行防止・犯罪被害防止のために、お知らせ・キャンペーンなどをする事」について、どう思いますか。(SA)

※ポスター、ホームページ、SNS など、いろいろな方法を使っています。

- ・「広報啓発活動」について「もっと力を入れてやってほしい」は 22.1%、「引き続きこのままやってほしい」は 65.6%となっている。一方、「警察がやる必要はない」は 2.5%となっている。
- ・男女別では、「引き続きこのままやってほしい」について男性が 60.7%、女性が 69.2%と女性のほうが約 9 ポイント高くなっている。
- ・学職別では、「やってもやらなくてもどちらでもよい」について、中学生は 10.5%、大学生・その他の学生は 4.2%と中学生のほうが約 6 ポイント高くなっている。

図 10-1 広報啓発活動について・男女別(割合)

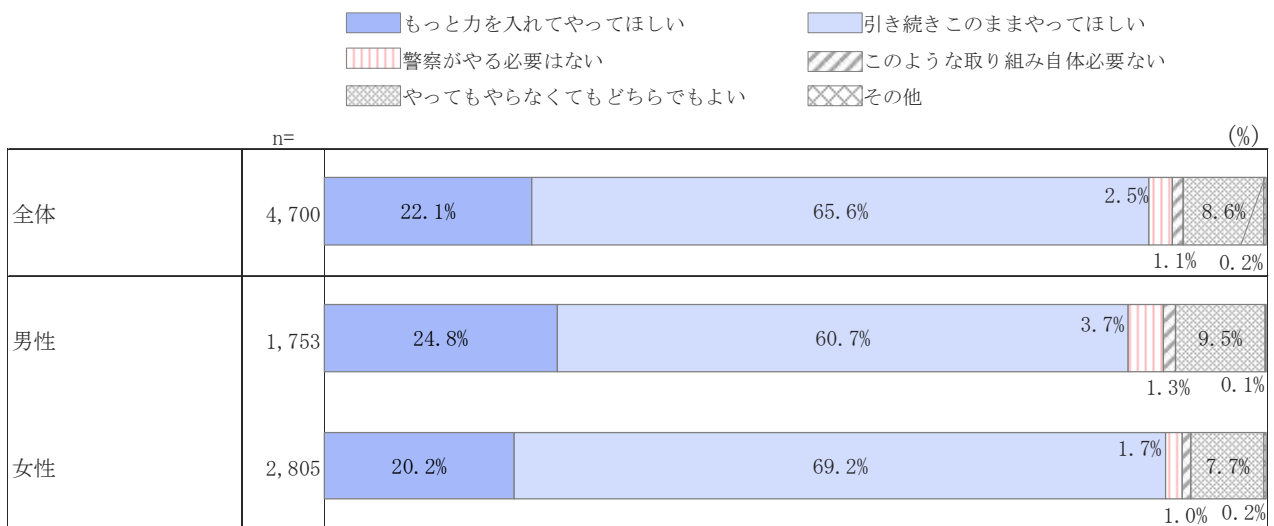


表 10-1 広報啓発活動について・男女別(実数)

	n	(実数)					
		もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,040	3,081	116	51	404	8
男性	1,753	435	1,064	64	22	166	2
女性	2,805	568	1,941	48	27	215	6

図 10-2 広報啓発活動について・学職別(割合)

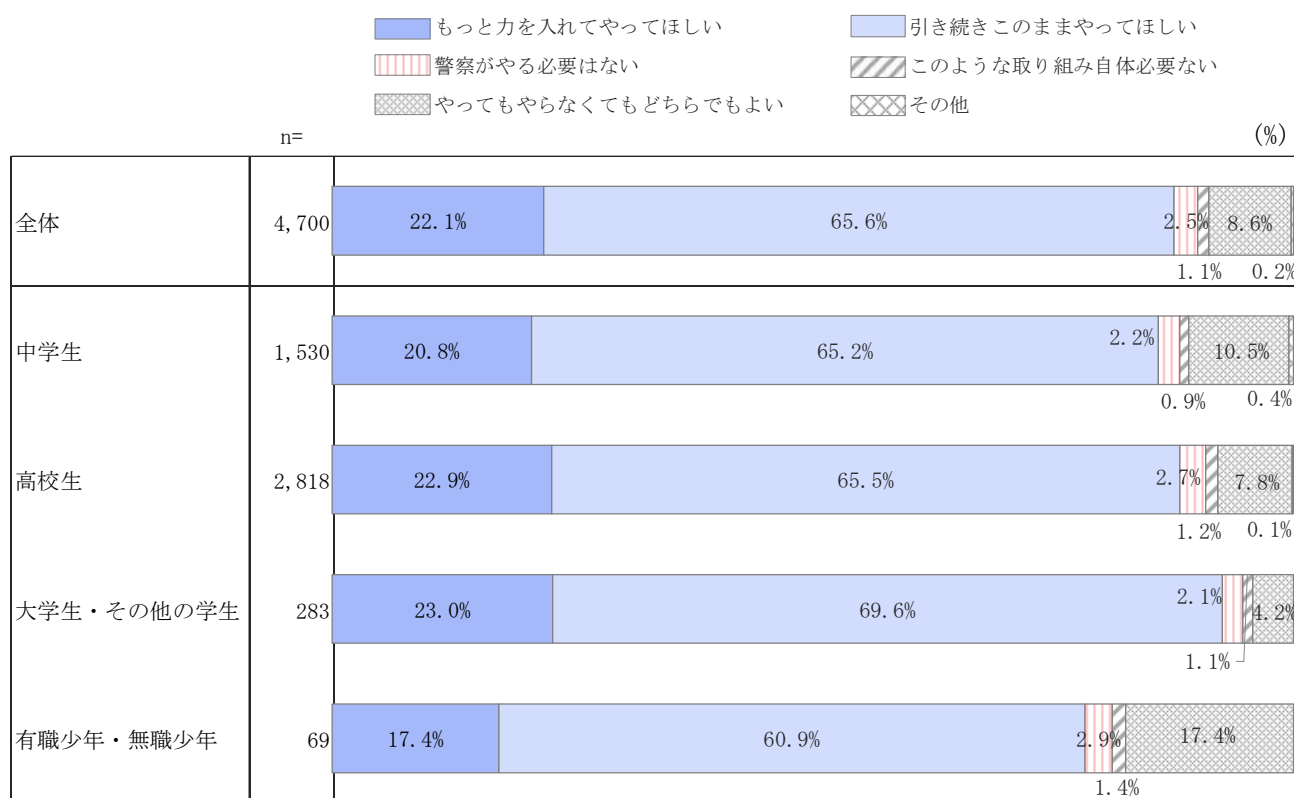


表 10-2 広報啓発活動について・学職別(実数)

	n	もっと力を入れてやってほしい	引き続きこのままやってほしい	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	やってもやらなくてもどちらでもよい	その他
全体	4,700	1,040	3,081	116	51	404	8
中学生	1,530	319	997	33	14	161	6
高校生	2,818	644	1,845	75	33	219	2
大学生・その他の学生	283	65	197	6	3	12	0
有職少年・無職少年	69	12	42	2	1	12	0

- 「その他」(自由記述)の主なもの
  - ・ 警察だけではなく、各自治体にもやってもらいたい。

(3) 良いと感じる広報啓発活動の工夫

Q11. 警察が、少年に向けてお知らせ・キャンペーンなどをする際の工夫で、良いと感じるものはどれですか。(MA)

ア 回答者全員の結果

- ・良いと感じる広報啓発活動の工夫について、最も高いのは「SNSでの発信」(58.5%)で、ついで「マンガ化」(41.1%)、「芸能人、有名人の起用」(40.9%)となっている。
- ・男女別では、「SNSでの発信」「マンガ化」「中学生・高校生の作成関与」について男性より女性のほうが7ポイント以上高くなっている。
- ・学職別では、「SNSでの発信」「地域の情報の取り入れ」について、大学生・その他の学生が他の学職より高くなっているが、「マンガ化」「芸能人・有名人の起用」「中学生・高校生の作成関与」「動画化」「参加・体験型イベントの開催」「グッズの配布・プレゼント」について、中学生は他の学職より高くなっている。
- ・年齢別では、「マンガ化」「芸能人・有名人の起用」「動画化」「参加・体験型イベントの開催」「グッズの配布・プレゼント」について、13歳が他の年齢より高くなっている。「SNSでの発信」「中学生・高校生の作成関与」について15歳は他の年齢より高くなっている。

図 11-1 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(割合)

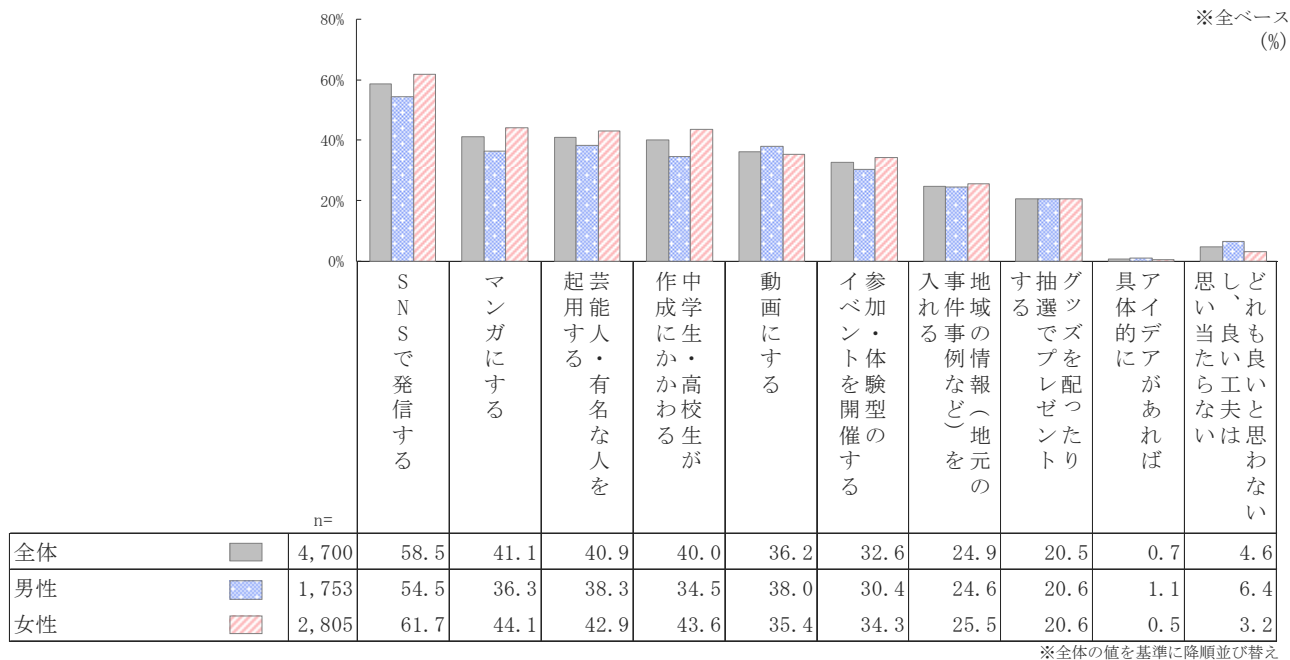




表 11-1 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(実数)

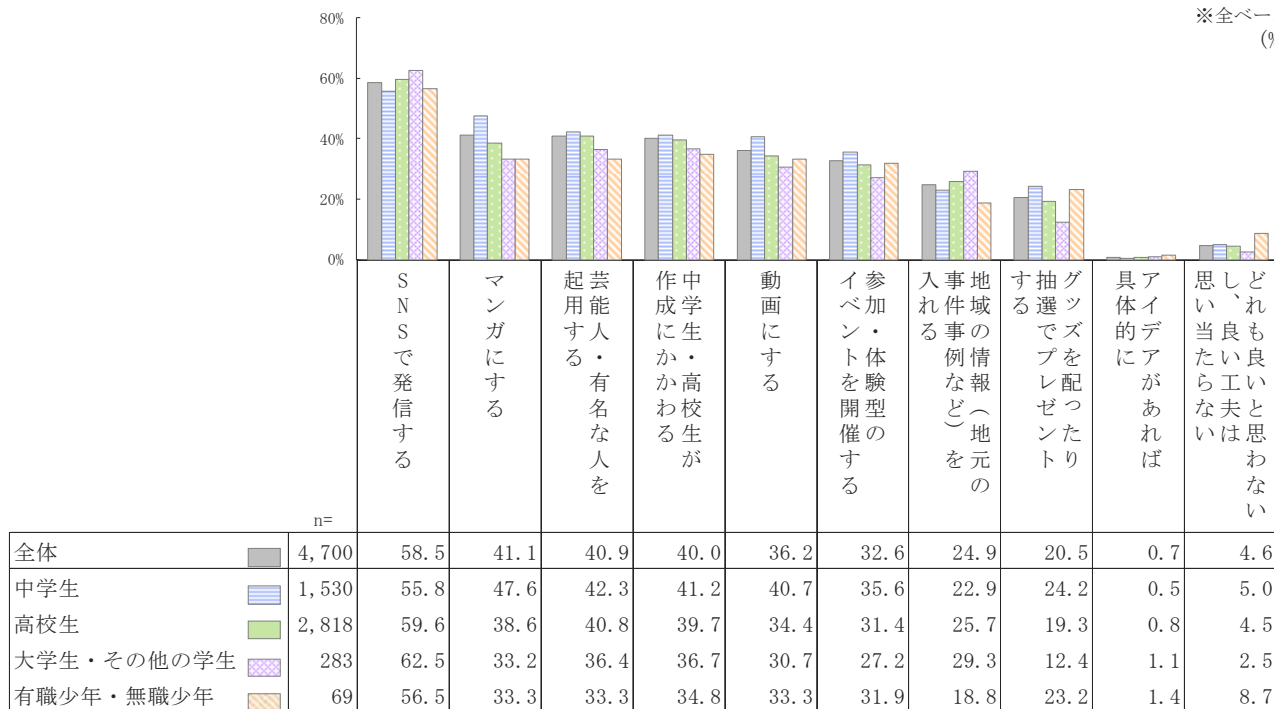
※全ベース  
(実数)

	n=	S N S で 発信 する	マ ン ガ に す る	起 用 す る 芸 能 人 ・ 有 名 な 人 を	作 成 に か か わ る 中 学 生 ・ 高 校 生 が	動 画 に す る	イ 参 加 ・ 体 験 型 の 開 催 す る	入 事 地 域 の 情 報 等 を 取 り 入 れ る	抽 選 を 行 う た り	グ ッ ズ を 配 付 す る	具 体 的 に ア イ デ ア が あ れ ば	思 い 当 た ら な い ど れ も 良 い と 思 わ な い
全体	4,700	2,749	1,933	1,923	1,878	1,702	1,530	1,169	965	35	216	
男性	1,753	955	636	672	604	666	533	431	361	20	112	
女性	2,805	1,732	1,236	1,202	1,222	992	961	716	579	15	91	

※全体の値を基準に降順並び替え

図 11-2 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(割合)

※全ベース  
(%)



※全体の値を基準に降順並び替え

表 11-2 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(実数)

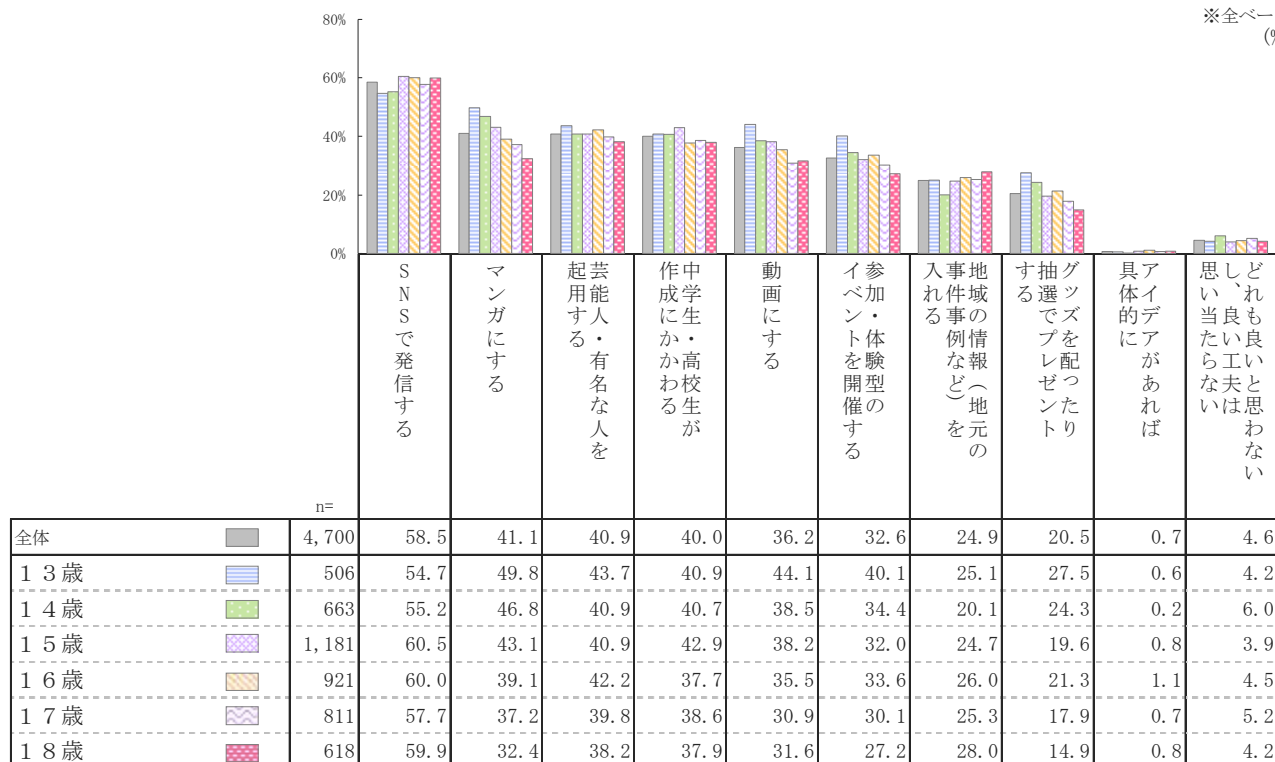
※全ベース  
(実数)

	n=	S N S で発信する	マンガに する	芸能人・ 有名人を 起用する	中学生・ 高校生が かかわる	動画に する	参加・体 験型の イベント を開催 する	地域的情 報(地元 の事例 など)を 入れる	抽選で プレゼント する	グッズを 配つた り	具体的 アイデア があれば	どれも 良いと思 わない は
全体	4,700	2,749	1,933	1,923	1,878	1,702	1,530	1,169	965	35	216	
中学生	1,530	854	729	647	631	623	545	350	371	8	76	
高校生	2,818	1,679	1,087	1,150	1,119	969	886	723	543	23	127	
大学生・その他の学生	283	177	94	103	104	87	77	83	35	3	7	
有職少年・無職少年	69	39	23	23	24	23	22	13	16	1	8	

※全体の値を基準に降順並び替え

図 11-3 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(割合)

※全ベース  
(%)



※全体の値を基準に降順並び替え

表 11-3 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(実数)

※全ベース  
(実数)

	n=	S N S で 発信 する	マ ン ガ に す る	起 用 す る 芸 能 人 ・ 有 名 な 人 を	作 成 に か か わ る 中 学 生 ・ 高 校 生 が	動 画 に す る	イ ン タ ー ネ ッ ト を 開 催 す る 参 加 ・ 体 験 型 の	入 事 地 域 の 情 報 例 な ど ( 地 元 の	抽 選 で プ レ ゼ ン ト す る	グ ッ ズ を 配 つ た り	具 体 的 に ア イ デ ア が あ れ ば	思 い 当 た ら な い ど れ も 良 い と 思 わ な い
全体	4,700	2,749	1,933	1,923	1,878	1,702	1,530	1,169	965	35	216	
13歳	506	277	252	221	207	223	203	127	139	3	21	
14歳	663	366	310	271	270	255	228	133	161	1	40	
15歳	1,181	715	509	483	507	451	378	292	232	10	46	
16歳	921	553	360	389	347	327	309	239	196	10	41	
17歳	811	468	302	323	313	251	244	205	145	6	42	
18歳	618	370	200	236	234	195	168	173	92	5	26	

※全体の値を基準に降順並び替え

- 「アイデアがあれば具体的に」(自由記述)の主なもの
  - ・ インスタやYouTube のショートで流れてくるようにする。
  - ・ CMを作り、YouTube などの広告に流す。
  - ・ 実際に起こった事例を、本人が特定されないようにアニメにする。
  - ・ 子供が好きなゲームの要素を取り入れた広報活動をする。
  - ・ 地域のイベントの一角で非行防止のトークショーなどをする。
  - ・ ポスター等を作成し、駅や学校等で目につきやすい位置に設置する。
  - ・ 学校経由でプリントを配布する。
  - ・ イメージキャラクターを作成する。
  - ・ 子供だけにではなく、保護者向けのキャンペーンを行う。

イ Q1 の取組で「いずれも知らない」と回答した人に限定した結果

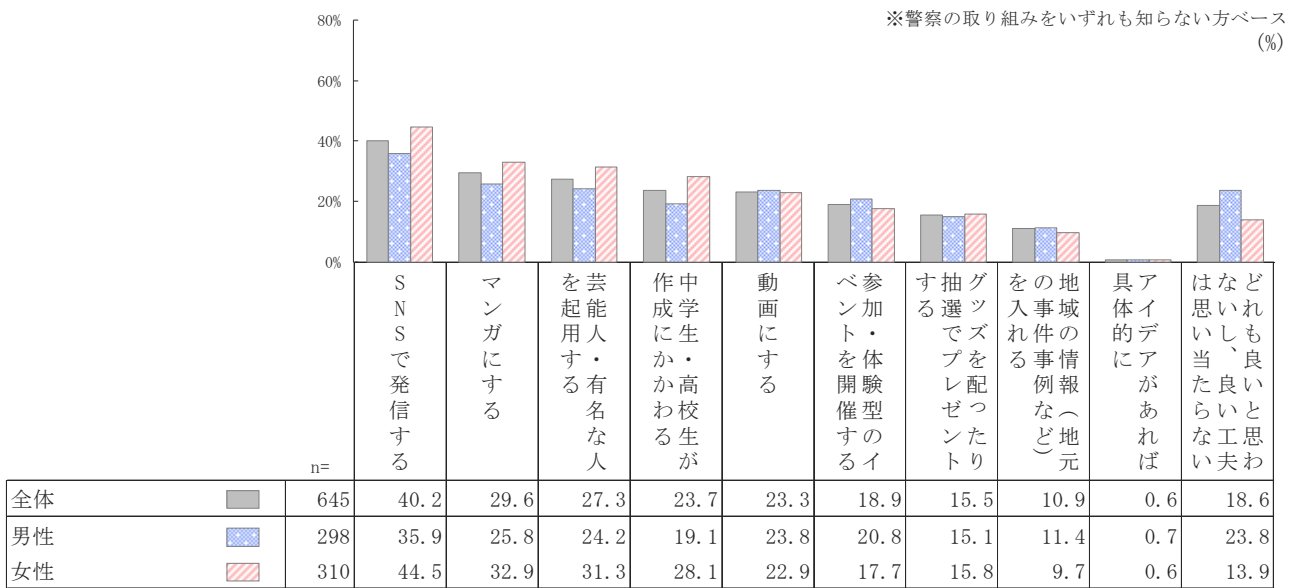
・Q1 で警察が取り組んでいることを「いずれも知らない」と回答した 645 人をみると、良いと感じる広報啓発活動の工夫について、最も高いのは「SNS での発信」(40.2%)で、ついで「マンガ化」(29.6%)、「芸能人、有名人の起用」(27.3%)となっている。

・男女別では、「SNS での発信」「マンガ化」「芸能人・有名人の起用」「中学生・高校生の作成関与」について男性より女性のほうが7ポイント以上高くなっている。

・学職別では、「マンガ化」「グッズの配布・プレゼント」について、高校生より中学生のほうが約5ポイント高くなっているが、「SNS での発信」は中学生より高校生、大学生の方が約7ポイント高くなっている。

・年齢別では、「芸能人・有名人の起用」について13歳が他の年齢より高く、「マンガ化」は14歳、17歳が16歳、18歳より高くなっている。「中学生・高校生の作成関与」「動画化」は15歳が他の年齢より高く、「SNS での発信」は16歳が他の年齢より高くなっている。「参加・体験型イベントの開催」は17歳が他の年齢より高くなっている。

図 11-4 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(割合)



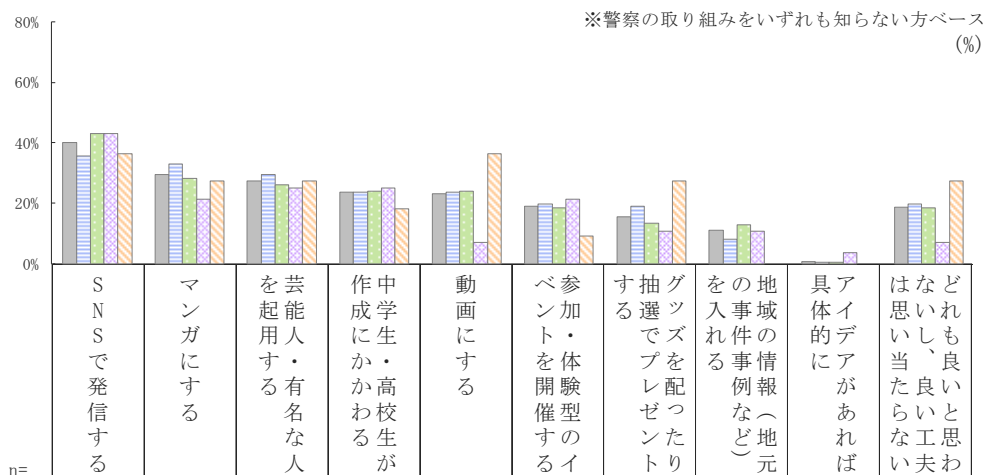
※全体の値を基準に降順並び替え

表 11-4 良いと感じる広報啓発活動の工夫・男女別(実数)

性別	n	SNSで発信する	マンガにする	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生が作成にかかわる	動画にする	参加・体験型イベントを開催する	グッズを配った	地域の事例(地元)	具体的なアイデアがあれば	など、良い工夫
全体	645	259	191	176	153	150	122	100	70	4	120
男性	298	107	77	72	57	71	62	45	34	2	71
女性	310	138	102	97	87	71	55	49	30	2	43

※全体の値を基準に降順並び替え

図 11-5 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(割合)



	n=	SNSで発信する	マンガにする	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生がかわる	動画にする	参加・体験型のイベントを開催する	抽選でプレゼントする	グッズを配つたり	地域の事例(地元情報など)を入れる	具体的なアイデアがあれば	は、いいと思わない	どれも、いいと思わない
全体	645	40.2	29.6	27.3	23.7	23.3	18.9	15.5	10.9	0.6	18.6		
中学生	233	35.6	33.0	29.6	23.6	23.6	19.7	18.9	8.2	0.4	19.7		
高校生	373	42.9	28.2	26.0	23.9	23.9	18.5	13.4	12.9	0.5	18.5		
大学生・その他の学生	28	42.9	21.4	25.0	25.0	7.1	21.4	10.7	10.7	3.6	7.1		
有職少年・無職少年	11	36.4	27.3	27.3	18.2	36.4	9.1	27.3	-	-	27.3		

※「大学生・その他の学生」「有職少年・無職少年」は母数が30未満のため参考値とする。

※全体の値を基準に降順並び替え

表 11-5 良いと感じる広報啓発活動の工夫・学職別(実数)

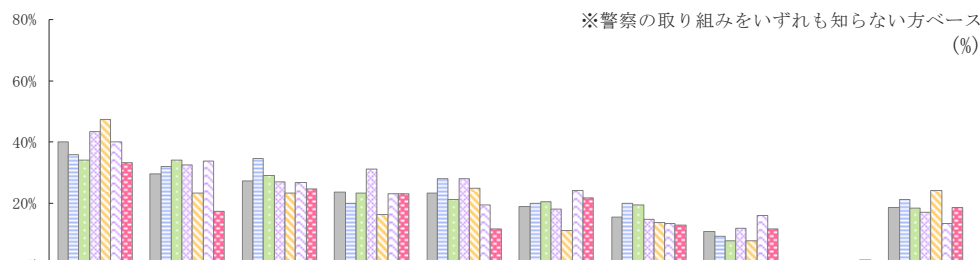
※警察の取り組みをいづれも知らない方ベース (実数)

	n=	SNSで発信する	マンガにする	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生がかわる	動画にする	参加・体験型のイベントを開催する	抽選でプレゼントする	グッズを配つたり	地域の事例(地元情報など)を入れる	具体的なアイデアがあれば	は、いいと思わない	どれも、いいと思わない
全体	645	259	191	176	153	150	122	100	70	4	120		
中学生	233	83	77	69	55	55	46	44	19	1	46		
高校生	373	160	105	97	89	89	69	50	48	2	69		
大学生・その他の学生	28	12	6	7	7	2	6	3	3	1	2		
有職少年・無職少年	11	4	3	3	2	4	1	3	0	0	3		

※「大学生・その他の学生」「有職少年・無職少年」は母数が30未満のため参考値とする。

※全体の値を基準に降順並び替え

図 11-6 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(割合)



	n=	SNSで発信する	マンガにする	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生がかわる	動画にする	参加・体験型のイベントを開催する	抽選でプレゼントする	グッズを配つたり	の事例(地域情報など)	具体的アイデアがあれば	など、良いと思わない工夫
全体	645	40.2	29.6	27.3	23.7	23.3	18.9	15.5	10.9	0.6	18.6	
13歳	75	36.0	32.0	34.7	20.0	28.0	20.0	20.0	9.3	-	21.3	
14歳	103	34.0	34.0	29.1	23.3	21.4	20.4	19.4	7.8	1.0	18.4	
15歳	170	43.5	32.4	27.1	31.2	28.2	18.2	14.7	11.8	0.6	17.1	
16歳	116	47.4	23.3	23.3	16.4	25.0	11.2	13.8	7.8	-	24.1	
17歳	112	40.2	33.9	26.8	23.2	19.6	24.1	13.4	16.1	0.9	13.4	
18歳	69	33.3	17.4	24.6	23.2	11.6	21.7	13.0	11.6	1.4	18.8	

※全体の値を基準に降順並び替え

表 11-6 良いと感じる広報啓発活動の工夫・年齢別(実数)

※警察の取り組みをいづれも知らない方ベース (実数)

	n=	SNSで発信する	マンガにする	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生がかわる	動画にする	参加・体験型のイベントを開催する	抽選でプレゼントする	グッズを配つたり	の事例(地域情報など)	具体的アイデアがあれば	など、良いと思わない工夫
全体	645	259	191	176	153	150	122	100	70	4	120	
13歳	75	27	24	26	15	21	15	15	7	0	16	
14歳	103	35	35	30	24	22	21	20	8	1	19	
15歳	170	74	55	46	53	48	31	25	20	1	29	
16歳	116	55	27	27	19	29	13	16	9	0	28	
17歳	112	45	38	30	26	22	27	15	18	1	15	
18歳	69	23	12	17	16	8	15	9	8	1	13	

※全体の値を基準に降順並び替え

(4) 警察がもっと力を入れるべきと思う問題

Q12. 少年向けの取り組みとして、警察がもっと力を入れるべきと思う問題はどれですか。(MA)

- ・警察がもっと力を入れるべきと思う問題については、「いじめ」が全体の6割超え、「自殺」「家族からのぎゃくたい」「性犯罪・性暴力」が5割超え、「SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿」「大麻などの薬物乱用」「校内暴力」「ちかん・盗撮」「ヤミ(闇)バイト」が4割超え、「ストーカー」「デートDV」「家族への暴力」「万引き」が3割超えとなっている。
- ・「いじめ」(65.3%)、「自殺」(56.6%)、「家族からのぎゃくたい」(55.7%)が上位となっている。
- ・男女別では、「家族からのぎゃくたい」「性犯罪・性暴力」「SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿」「ちかん・盗撮」について男性より女性のほうが10ポイント以上高くなっている。
- ・学職別では、「いじめ」「自殺」について、他の学職より中学生のほうが5ポイント以上高くなっている。また「性犯罪・性暴力」「援助交際」は他の学職より大学生・その他の学生のほうがやや高くなっている。
- ・年齢別では、「万引き」について13歳が他の年齢より7ポイント以上高くなっている。また「自殺」「大麻など薬物乱用」についても13歳が他の年齢より3ポイント以上高くなっている。

図 12-1 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・男女別(割合)

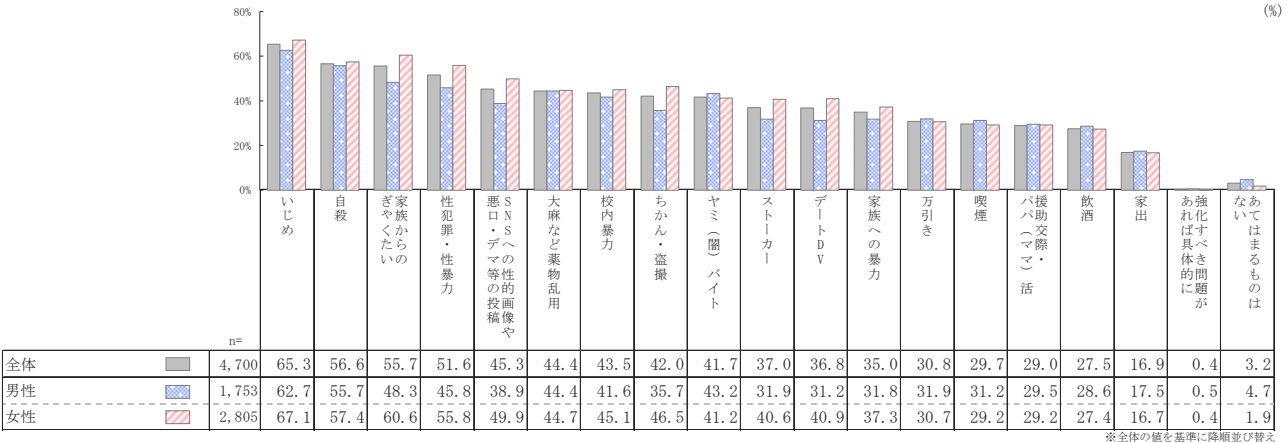


表 12-1 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・男女別(実数)

問題	全体 (実数)	男性 (実数)	女性 (実数)
いじめ	3,070	1,999	1,883
自殺	2,659	977	1,611
家族からのぎゃくたい	2,616	846	1,699
性犯罪・性暴力	2,425	803	1,565
SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿	2,129	682	1,400
大麻などの薬物乱用	2,086	779	1,253
校内暴力	2,045	730	1,264
ちかん・盗撮	1,975	625	1,304
ヤミ(闇)バイト	1,960	758	1,156
ストーカー	1,737	559	1,139
デートDV	1,730	547	1,147
家族への暴力	1,645	558	1,046
万引き	1,448	560	860
喫煙	1,395	547	818
援助交際・活	1,364	518	818
飲酒	1,294	502	768
家出	794	307	469
強化すべき問題がない	20	9	10
あてはまるものはない	150	83	52

図 12-2 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・学職別(割合)

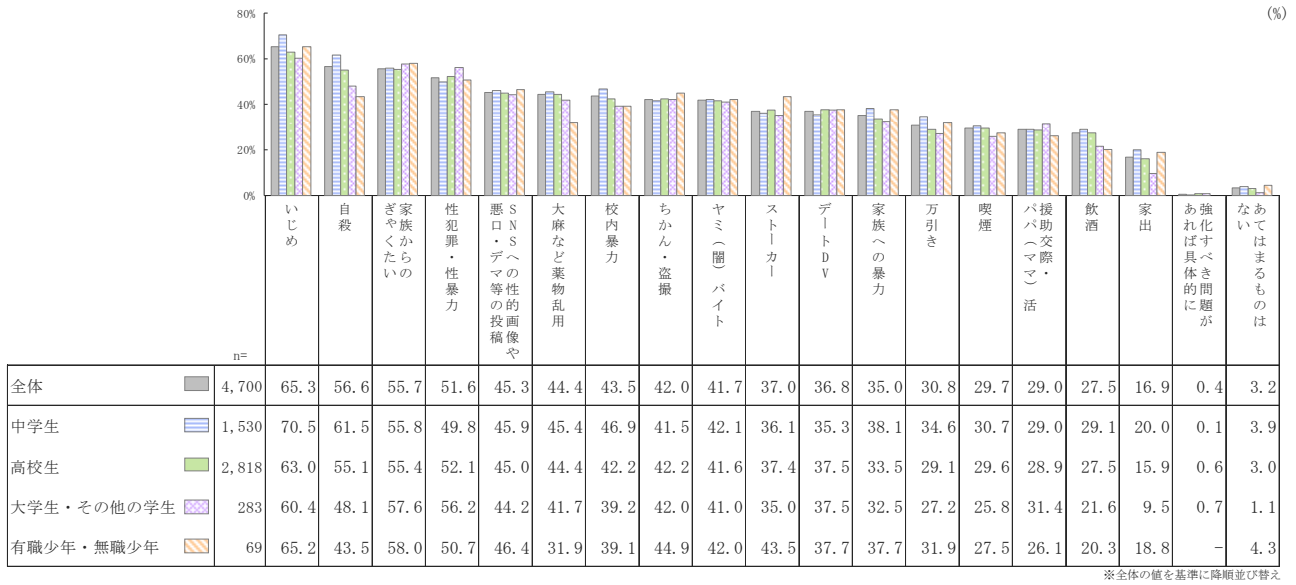


表 12-2 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・学職別(実数)

学職別	いじめ	自殺	家族からのぎやぐや	性犯罪・性暴力	SNSへの性的投稿や悪口・デマ等	大麻など薬物乱用	校内暴力	ちかん・盗撮	ヤミ(闇)バイト	ストーカー	デートDV	家族への暴力	万引き	喫煙	パパ(ママ)活	援助交際・活	飲酒	家出	強化すべき問題があれば	あてはまるものはない
全体	3,070	2,659	2,616	2,425	2,129	2,086	2,045	1,975	1,960	1,737	1,730	1,645	1,448	1,395	1,364	1,294	794	20	150	
中学生	1,078	941	853	762	703	695	717	635	644	553	540	583	529	469	444	445	306	2	59	
高校生	1,776	1,552	1,560	1,469	1,269	1,251	1,190	1,190	1,171	1,055	1,058	944	820	834	813	774	448	16	85	
大学生・その他の学生	171	136	163	159	125	118	111	119	116	99	106	92	77	73	89	61	27	2	3	
有職少年・無職少年	45	30	40	35	32	22	27	31	29	30	26	26	22	19	18	14	13	0	3	

n=

※全体の値を基準に降順並び替え



図 12-3 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・年齢別(割合)

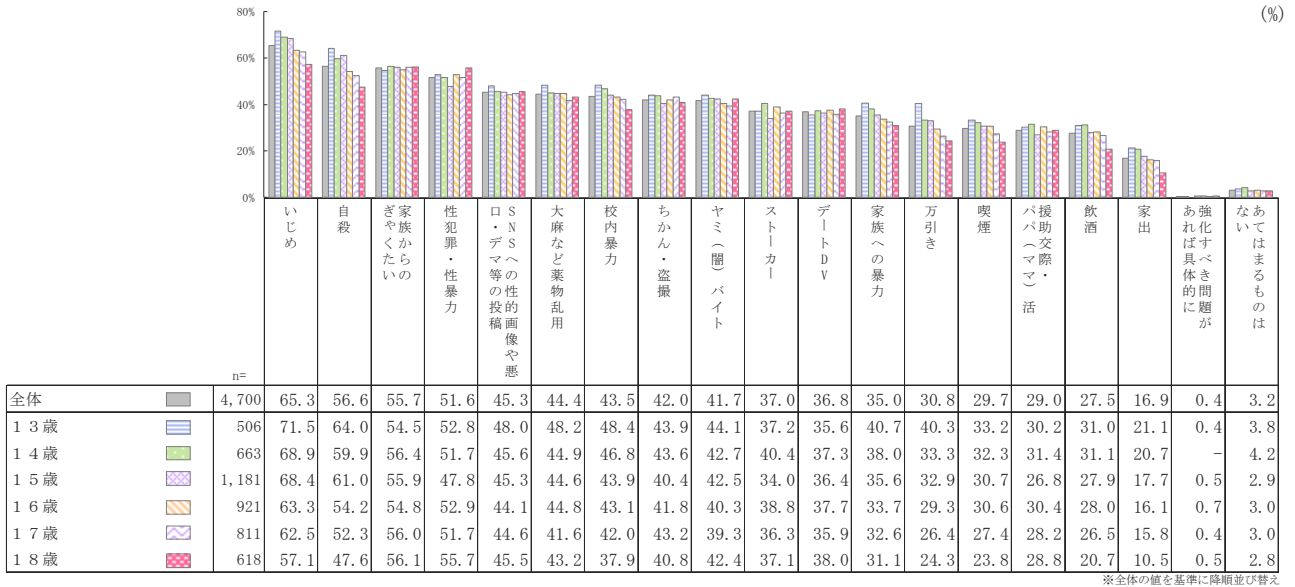


表 12-3 警察がもっと力を入れるべきと思う問題・年齢別(実数)

問題	全体	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
いじめ	3,070	362	457	808	583	507	353
自殺	2,659	324	397	721	499	424	294
家族からのぎやぐや	2,616	276	374	660	505	454	347
性犯罪・性暴力	2,425	267	343	565	487	419	344
SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿	2,129	243	302	535	406	362	281
大麻など薬物乱用	2,086	244	298	527	413	337	267
校内暴力	2,045	245	310	518	397	341	234
ちかん・盗撮	1,975	222	289	477	385	350	252
ヤミ(闇)バイト	1,960	223	283	502	371	319	262
ストーカー	1,737	188	268	401	357	294	229
デートDV	1,730	180	247	430	347	291	235
家族への暴力	1,645	206	252	421	310	264	192
万引き	1,448	204	221	389	270	214	150
喫煙	1,395	168	214	362	282	222	147
パバ(交際・ママ)活	1,364	153	208	316	280	229	178
飲酒	1,294	157	206	330	258	215	128
家出	794	107	137	209	148	128	65
強化すべき問題があれば具体的に	20	2	0	6	6	3	3
あてはまるものはない	150	19	28	34	28	24	17

● 「強化すべき問題があれば具体的に」(自由記述)の主なもの

- ・ SNS の問題
- ・ 暴露系 YouTube などの配信者の取締り
- ・ 教職員からのわいせつな行為
- ・ 部活の顧問からの暴言
- ・ 暴走行為の取締り
- ・ 自転車のルール
- ・ 迷惑行為

(5) 警察が取り組んだらよいと思うこと

Q13. 少年が、犯罪の被害者にも加害者にもならないために、警察はどのようなことに取り組んだらよいと思いますか。(FA)

※特に思い当たらない場合は、「なし」と入力してください。

少年が犯罪の被害者にも加害者にもならないために、警察がどのようなことに取り組んだらよいかを自由記述で聞いたところ、「YouTube 等を利用した注意喚起」「学校での講演内容の充実」など、広報啓発活動の強化や学校での授業・講演の充実に関する意見が多くみられたほか、相談への適切な対応、パトロール・街頭補導の強化、犯罪をした少年や闇バイト等に誘う大人への取締り強化に関する意見などもみられた。

また、「被害者にも加害者にも寄り添って話を聞く。」など警察の対応・姿勢に関する意見もみられた。

寄せられた主な意見は次のとおり。

1 警察の取組に関すること

ア 広報啓発活動に関すること

- ・ もっと情報を発信する。
- ・ YouTube 等の少年がよく利用する媒体を利用して注意喚起を増やす。
- ・ もっと SNS などを活用して、学生の目に触れるように広告やポスターを作る。
- ・ 簡潔で短い動画で説明する。
- ・ 漫画やアニメなど親近感のあるもので、犯罪について知ってもらう。
- ・ 何をすれば犯罪になるのか、犯罪に巻き込まれそうになったときはどう対処すべきなのかを伝える。
- ・ いろいろな事件の事例を使って警告する。
- ・ 闇バイトなど悪意を持った大人に未成年がだまされたような手法を紹介する。
- ・ SNS について良い利用方法と悪い利用方法をあわせて教える。
- ・ 中・高校生だけでなく、小学生から犯罪に対する正しい知識を身につけさせる。
- ・ 少年本人だけでなく、その家族などへの呼びかけもする。

イ 学校での授業・講演に関すること

- ・ 学校で直接語りかけるのが効果的だと思う。
- ・ 小・中・高校での講演を充実させる。もっと具体的な例を出して私たちが犯罪に関わりたくないと思えるような講演をしてほしい。
- ・ 実際にその県であった事件を学校等で講演してほしい。
- ・ 出前授業で、警察の方が実際に取り扱った事件の時のことなどを話してもらえると共感しやすい。
- ・ 定期的に学校で講演会を行い、少年が犯罪に関わりそうになった時にどこに相談すればいいかなどを教える。
- ・ 出前授業などで警察の少年への取組について知ってもらうことで、犯罪の抑止につながる。
- ・ 加害者になることの怖さを伝える DVD を作成し、授業で流す。

- ・ 犯罪になるのかあいまいな行為をクイズ形式などで分かりやすく講義する。

#### ウ 相談に関すること

- ・ 相談にのって、証拠がなかったとしても、注意などはしてほしい。
- ・ 被害者から相談を受けたらすぐ対処し、犯罪を未然に防ぐ。
- ・ 悩みや困ったことがある少年をサポートし、加害者・被害者にならないようにする。
- ・ 悩んでいる少年を適切な機関(カウンセラーや法テラス)に繋げる橋渡しをする。
- ・ 少年たちのカウンセリングを徹底して行って心のケアを行う。
- ・ いじめた側の人のカウンセリングをする。
- ・ 警察に相談しやすい環境を作る。

#### エ パトロール・街頭補導に関すること

- ・ 見回り、パトロールをもっと増やす。
- ・ 子供が犯罪に近づくような環境に置かれないよう、補導を徹底する。
- ・ 街中で不良やヤンキーがいることで治安が悪化するので、注意を徹底してほしい。
- ・ 通学路の見回り強化をしたり、人通りの少ない場所を定期的に見回る。

#### オ 取締りに関すること

- ・ 取締りを強化する。もし良くないことをしてしまったら、更生サポートもする。
- ・ 加害者に対してもっと厳しい処罰を与える。
- ・ 闇バイト等の取締りをして少年が誘いに乗らないようにする。
- ・ 少年を雇おうとする悪質な人たちやSNS上でパパ活をしようとしている人たちの取締りを強化する。
- ・ 反社会勢力を徹底的に排除して、少年に近づけない。
- ・ 電車内や学校内に防犯カメラを設置する。

#### カ その他

- ・ ネットが、犯罪に巻き込み、巻き込まれる大きな原因となっていると思うので、今よりもっとネットパトロールをする。
- ・ 学校などで起こるいじめや嫌がらせに対してもっと重点的に調べる。
- ・ 親がぎゃくたいしたり放置している子は非行に走りやすいため、そのような子を見つけ早く保護する。
- ・ 学校が子供の様子をうかがって、危なそうと学校が思ったら警察に相談する。
- ・ 地域の人と情報を積極的に共有する。

## 2 警察の対応・姿勢に関すること

- ・ 被害者にも加害者にも寄り添って話を聞く。
- ・ 子供ではなく、一人の人間として話を聞いたり、接したりする。
- ・ 小さなことでもないがしろにしない。
- ・ 警察がもっと身近で、気軽に頼ることができるような雰囲気を作る。
- ・ 警察も模範的行動をする。

參考資料

<アンケート質問票>

※ 質問票画面の前に、「中学生以下の方の参加には保護者の許可が必要です。保護者に許可をもらいましたら、「次へ」を押してお進みください。」を表示。

【スクリーニング調査】

**Q1**  
必須

あなたの性別をお知らせください。

ひとつだけ

- 男性
- 女性
- 答えたくない

**Q2**  
必須

あなたの年齢をお知らせください。

ひとつだけ

- 11歳以下
- 12歳
- 13歳
- 14歳
- 15歳
- 16歳
- 17歳
- 18歳
- 19歳
- 20歳以上

**Q3**  
必須

あなたのお住まい（都道府県）をお知らせください。

▼選択してください

**Q4**  
必須

あなたの職業（学生の方は学年）をお知らせください。

ひとつだけ

※学生とアルバイトなど複数職業のある方は、最もメインの職業をひとつお選びください。

- 中1
- 中2
- 中3
- 高1・高専1
- 高2・高専2
- 高3・高専3
- 高専4年生
- 専門学校1年生
- 短大・大学1年生
- 浪人生
- パート・アルバイト
- 自営業
- 会社員・公務員
- 専業主婦・主夫
- 無職
- その他（                    ）

## 【本調査】

※Q1 は選択肢の並び順による回答傾向の偏りを軽減するため、「その他」「いずれも知らない」以外の選択肢を回答者ごとに並び替えるランダム表示を実施。

Q1

必須

**警察では少年（20歳未満の人、女子も含む）の非行防止・犯罪被害防止のための取り組みを行っています。警察が取り組んでいることを知っているものはどれですか。**

いくつでも

※非行とは、犯罪にあたる行為や不良行為をすることです。

※不良行為には、飲酒、喫煙（たばこを吸うこと）、家出、夜遊びなどがあります。

- 困っている少年の相談にのる（少年相談窓口・相談電話の設置）
- 非行防止・薬物乱用防止教室などの学校での警察による授業・講演
- 街なかや広場などでの不良行為への注意や指導（補導）
- SNSでの援助交際・パパ活の募集に対する注意文の投稿
- 再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること
- 犯罪被害やいじめにあった少年へのカウンセリングなどのサポート
- 非行防止・犯罪被害防止のためのお知らせ・キャンペーン
- その他（ ）
- いずれも知らない

Q2

必須

**警察には、少年の非行防止・犯罪被害防止を専門にしている職員（少年補導職員、少年育成官、少年相談専門職員など）がいることを知っていますか。**

ひとつだけ

※名称は、都道府県によって異なります。

- 知っている
- 知らない

※Q1で「困っている少年の相談にのる（少年相談窓口・相談電話の設置）」を選択した人のみ対象。

Q3

必須

**あなたは、警察の少年相談窓口・少年相談電話を利用したことがありますか。**

ひとつだけ

※少年相談電話には、都道府県により「ヤングテレホン」などの名前があります。

- ある
- ない
- 答えたくない





Q6

必須

警察が、「街なかや広場などで、飲酒、喫煙、家出、夜遊びなど不良行為をしている少年に注意や指導などをする（補導すること）」について、どう思いますか。

ひとつだけ

- もっと力を入れてやってほしい
- 引き続きこのままやってほしい
- 警察がやる必要はない
- このような取り組み自体必要ない
- やってもやらなくてもどちらでもよい
- その他（                      ）

Q7

必須

警察が、「SNSでの援助交際・パパ活の募集に対して、注意文を投稿すること」について、どう思いますか。

ひとつだけ

※「援助交際・パパ活の募集」とは、お金を目的として性的行為やデート等の相手を探すことです。

※警察からの注意文の例：「性犯罪や誘拐などの事件に巻き込まれる危険があります。」

- もっと力を入れてやってほしい
- 引き続きこのままやってほしい
- 警察がやる必要はない
- このような取り組み自体必要ない
- やってもやらなくてもどちらでもよい
- その他（                      ）

Q8  
必須

警察が、「再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること」  
について、どう思いますか。  
ひとつだけ

- もっと力を入れてやってほしい
- 引き続きこのままやってほしい
- 警察がやる必要はない
- このような取り組み自体必要ない
- やってもやらなくてもどちらでもよい
- その他 ( )

Q9  
必須

警察が、「犯罪被害やいじめ等にあった少年にカウンセリングなどのサポートをすること」  
について、どう思いますか。  
ひとつだけ

- もっと力を入れてやってほしい
- 引き続きこのままやってほしい
- 警察がやる必要はない
- このような取り組み自体必要ない
- やってもやらなくてもどちらでもよい
- その他 ( )



※選択肢の並び順による回答傾向の偏りを軽減するため、「アイデアがあれば具体的に」「どれも良いと思わないし、良い工夫は思い当たらない」以外の選択肢を回答者ごとに並び替えるランダム表示を実施。

**Q11**  
必須

警察が、少年に向けてお知らせ・キャンペーンなどをする際の工夫で、  
良いと感じるものはどれですか。

いくつでも

- SNSで発信する
- 参加・体験型のイベントを開催する
- マンガにする
- 動画にする
- 地域の情報（地元の事件事例など）を入れる
- 芸能人・有名な人を起用する
- 中学生・高校生が作成にかかわる
- グッズを配ったり抽選でプレゼントする
- （アイデアがあれば具体的に： ）
- どれも良いと思わないし、良い工夫は思い当たらない

※選択肢の並び順による回答傾向の偏りを軽減するため、「強化すべき問題があれば具体的に」「あてはまるものはない」以外の選択肢を回答者ごとに並び替えるランダム表示を実施。

**Q12**

必須

少年向けの取り組みとして、警察がもっと力を入れるべきと思う問題はどれですか。

いくつでも

- 大麻など薬物乱用
- ヤミ（闇）バイト
- SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿
- いじめ
- 校内暴力（教師や生徒に対する暴力、学校の物を壊す等）
- 家族への暴力
- 家族からのぎゃくたい（暴力、暴言、性的行為、ネグレクトなど）
- 性犯罪・性暴力
- ちかん・盗撮
- ストーカー
- デートDV（恋人・元恋人からの暴力）
- 援助交際・パパ（ママ）活
- 万引き
- 飲酒
- 喫煙
- 家出
- 自殺
- （強化すべき問題があれば具体的に：        ）
- あてはまるものはない

**Q13**

必須

少年が、犯罪の被害者にも加害者にもならないために、警察はどのようなことに取り組んだらよいと思いますか。

※特に思い当たらない場合は、「なし」と入力してください。

ご自由に入力してください

<単純集計>

SQ1 あなたの性別をお知らせください。(SA)		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	男性	1,753	37.3
2	女性	2,805	59.7
3	答えたくない	142	3.0

SQ2 あなたの年齢をお知らせください。(SA)		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	11歳以下	0	-
2	12歳	0	-
3	13歳	506	10.8
4	14歳	663	14.1
5	15歳	1,181	25.1
6	16歳	921	19.6
7	17歳	811	17.3
8	18歳	618	13.1
9	19歳	0	-
10	20歳以上	0	-



SQ3 あなたのお住まい（都道府県）をお知らせください。（SA）

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	北海道	100	2.1
2	青森県	100	2.1
3	岩手県	100	2.1
4	宮城県	100	2.1
5	秋田県	100	2.1
6	山形県	100	2.1
7	福島県	100	2.1
8	茨城県	100	2.1
9	栃木県	100	2.1
10	群馬県	100	2.1
11	埼玉県	100	2.1
12	千葉県	100	2.1
13	東京都	100	2.1
14	神奈川県	100	2.1
15	新潟県	100	2.1
16	富山県	100	2.1
17	石川県	100	2.1
18	福井県	100	2.1
19	山梨県	100	2.1
20	長野県	100	2.1
21	岐阜県	100	2.1
22	静岡県	100	2.1
23	愛知県	100	2.1
24	三重県	100	2.1
25	滋賀県	100	2.1
26	京都府	100	2.1
27	大阪府	100	2.1
28	兵庫県	100	2.1
29	奈良県	100	2.1
30	和歌山県	100	2.1
31	鳥取県	100	2.1
32	島根県	100	2.1
33	岡山県	100	2.1
34	広島県	100	2.1
35	山口県	100	2.1
36	徳島県	100	2.1
37	香川県	100	2.1
38	愛媛県	100	2.1
39	高知県	100	2.1
40	福岡県	100	2.1
41	佐賀県	100	2.1
42	長崎県	100	2.1
43	熊本県	100	2.1
44	大分県	100	2.1
45	宮崎県	100	2.1
46	鹿児島県	100	2.1
47	沖縄県	100	2.1

SQ4 あなたの職業（学生の方は学年）をお知らせください。（SA）

※学生とアルバイトなど複数職業のある方は、最もメインの職業をひとつお選びください。

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	中1	177	3.8
2	中2	642	13.7
3	中3	711	15.1
4	高1・高専1	1,232	26.2
5	高2・高専2	886	18.9
6	高3・高専3	700	14.9
7	高専4年生	7	0.1
8	専門学校1年生	46	1.0
9	短大・大学1年生	213	4.5
10	浪人生	15	0.3
11	パート・アルバイト	29	0.6
12	自営業	1	0.0
13	会社員・公務員	30	0.6
14	専業主婦・主夫	0	-
15	無職	9	0.2
16	その他	2	0.0

Q1 警察では少年（20歳未満の人、女子も含む）の非行防止・犯罪被害防止のための取り組みを行っています。警察が取り組んでいることを知っているものはどれですか。（MA）

※非行とは、犯罪にあたる行為や不良行為をすることです。

※不良行為には、飲酒、喫煙（たばこを吸うこと）、家出、夜遊びなどがあります。

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	困っている少年の相談にのる（少年相談窓口・相談電話の設置）	2,435	51.8
2	非行防止・薬物乱用防止教室などの学校での警察による授業・講演	3,110	66.2
3	街なかや広場などでの不良行為への注意や指導（補導）	2,659	56.6
4	SNSでの援助交際・パパ活の募集に対する注意文の投稿	1,071	22.8
5	再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること	1,704	36.3
6	犯罪被害やいじめにあった少年へのカウンセリングなどのサポート	1,970	41.9
7	非行防止・犯罪被害防止のためのお知らせ・キャンペーン	2,156	45.9
8	その他	1	0.0
9	いずれも知らない	645	13.7

Q2 警察には、少年の非行防止・犯罪被害防止を専門にしている職員（少年補導職員、少年育成官、少年相談専門職員など）がいることを知っていますか。（SA）

※名称は、都道府県によって異なります。

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	知っている	2,036	43.3
2	知らない	2,664	56.7

（Q1で少年相談を知っていると回答した人のみ対象）

Q3 あなたは、警察の少年相談窓口・少年相談電話を利用したことがありますか。（SA）

※少年相談電話には、都道府県により「ヤングテレホン」などの名前があります。

		回答数	%
全 体		2,435	100.0
1	ある	37	1.5
2	ない	2,368	97.2
3	答えたくない	30	1.2

Q4 警察が、「困っている少年の相談にのる（少年相談窓口・少年相談電話を設置している）こと」について、どう思いますか。（SA）

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,261	26.8
2	引き続きこのままやってほしい	2,856	60.8
3	警察がやる必要はない	158	3.4
4	このような取り組み自体必要ない	30	0.6
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	354	7.5
6	その他	41	0.9

Q5 警察が、「学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室などの授業・講演をすること」について、どう思いますか。（SA）

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	937	19.9
2	引き続きこのままやってほしい	3,157	67.2
3	警察がやる必要はない	105	2.2
4	このような取り組み自体必要ない	64	1.4
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	418	8.9
6	その他	19	0.4

Q6 警察が、「街なかや広場などで、飲酒、喫煙、家出、夜遊びなど不良行為をしている少年に注意や指導などをする（補導する）こと」について、どう思いますか。（SA）

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,542	32.8
2	引き続きこのままやってほしい	2,674	56.9
3	警察がやる必要はない	69	1.5
4	このような取り組み自体必要ない	59	1.3
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	348	7.4
6	その他	8	0.2

Q7 警察が、「SNSでの援助交際・パパ活の募集に対して、注意文を投稿すること」について、  
 どう思いますか。(SA)

※「援助交際・パパ活の募集」とは、お金を目的として性的行為やデート等の相手を探すことです。  
 ※警察からの注意文の例：「性犯罪や誘拐などの事件に巻き込まれる危険があります。」

		回答数	%
全体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,496	31.8
2	引き続きこのままやってほしい	2,454	52.2
3	警察がやる必要はない	165	3.5
4	このような取り組み自体必要ない	83	1.8
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	481	10.2
6	その他	21	0.4

Q8 警察が、「再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること」について、  
 どう思いますか。(SA)

		回答数	%
全体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,565	33.3
2	引き続きこのままやってほしい	2,684	57.1
3	警察がやる必要はない	116	2.5
4	このような取り組み自体必要ない	38	0.8
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	291	6.2
6	その他	6	0.1

Q9 警察が、「犯罪被害やいじめ等にあった少年にカウンセリングなどのサポートをすること」  
 について、どう思いますか。(SA)

		回答数	%
全体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,648	35.1
2	引き続きこのままやってほしい	2,454	52.2
3	警察がやる必要はない	292	6.2
4	このような取り組み自体必要ない	21	0.4
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	266	5.7
6	その他	19	0.4

- Q10 警察が、「少年の非行防止・犯罪被害防止のために、お知らせ・キャンペーンなど  
 をすること」について、どう思いますか。(SA)  
 ※ポスター、ホームページ、SNSなど、いろいろな方法を使っています。

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	もっと力を入れてやってほしい	1,040	22.1
2	引き続きこのままやってほしい	3,081	65.6
3	警察がやる必要はない	116	2.5
4	このような取り組み自体必要ない	51	1.1
5	やってもやらなくてもどちらでもよい	404	8.6
6	その他	8	0.2

- Q11 警察が、少年に向けてお知らせ・キャンペーンなどをする際の工夫で、  
 良いと感じるものはどれですか。(MA)

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	SNSで発信する	2,749	58.5
2	参加・体験型のイベントを開催する	1,530	32.6
3	マンガにする	1,933	41.1
4	動画にする	1,702	36.2
5	地域の情報（地元の事件事例など）を入れる	1,169	24.9
6	芸能人・有名な人を起用する	1,923	40.9
7	中学生・高校生が作成にかかわる	1,878	40.0
8	グッズを配ったり抽選でプレゼントする	965	20.5
9	アイデアがあれば具体的に	35	0.7
10	どれも良いと思わないし、良い工夫は思い当たらない	216	4.6

Q12 少年向けの取り組みとして、警察がもっと力を入れるべきと思う問題はどれですか。(MA)

		回答数	%
全 体		4,700	100.0
1	大麻など薬物乱用	2,086	44.4
2	ヤミ(闇)バイト	1,960	41.7
3	SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿	2,129	45.3
4	いじめ	3,070	65.3
5	校内暴力(教師や生徒に対する暴力、学校の物を壊す等)	2,045	43.5
6	家族への暴力	1,645	35.0
7	家族からのぎゃくたい(暴力、暴言、性的行為、ネグレクトなど)	2,616	55.7
8	性犯罪・性暴力	2,425	51.6
9	ちかん・盗撮	1,975	42.0
10	ストーカー	1,737	37.0
11	デートDV(恋人・元恋人からの暴力)	1,730	36.8
12	援助交際・パパ(ママ)活	1,364	29.0
13	万引き	1,448	30.8
14	飲酒	1,294	27.5
15	喫煙	1,395	29.7
16	家出	794	16.9
17	自殺	2,659	56.6
18	強化すべき問題があれば具体的に	20	0.4
19	あてはまるものはない	150	3.2

<参考集計>

Q1. 少年警察活動の各種取組を知っているか

Q1. 警察では少年(20歳未満の人、女子も含む)の非行防止・犯罪被害防止のための取組を行っています。警察が取り組んでいることを知っているものはどれですか。(MA)

ア 警察が取り組んでいることを知っているもの

【地域別】

	回答数	談の困 電話るつ (て少い の年少 設置年 の少 窓の ・相 相談 に)	に教非 よ室行 るな防 授止 業の・ ・学薬 ・校物 ・講校 演で乱 の用 警防 察止	(良街 補行な 導為か )への の広 注場 意な やど 指で 導の 不	文パ S の活の S 投募 S 稿集で に援 対助 す交 る際 注・ 意パ	す行再 る少び こと年非 の行 立をし ち直 りい をよ 支う 援非	グた犯 な少罪 どの年 のへの サのや ポカ ーウ トン に セに リあ ンつ	ンの非 ペた行 ーた防 ンめ止 の止 お・ 知 ら せ ・ 害 防 止	そ の 他	い ず れ も 知 ら な い
全 体	n= 4,700 % 100.0	2,435 51.8	3,110 66.2	2,659 56.6	1,071 22.8	1,704 36.3	1,970 41.9	2,156 45.9	1 0.0	645 13.7
北海道・東北	n= 700 % 100.0	370 52.9	439 62.7	373 53.3	148 21.1	246 35.1	280 40.0	329 47.0	0 -	114 16.3
関東	n= 1,100 % 100.0	597 54.3	764 69.5	636 57.8	280 25.5	410 37.3	485 44.1	518 47.1	0 -	133 12.1
中部	n= 600 % 100.0	292 48.7	384 64.0	337 56.2	127 21.2	204 34.0	238 39.7	275 45.8	0 -	101 16.8
近畿	n= 600 % 100.0	320 53.3	383 63.8	340 56.7	157 26.2	238 39.7	252 42.0	268 44.7	0 -	75 12.5
中国・四国	n= 900 % 100.0	457 50.8	602 66.9	526 58.4	200 22.2	333 37.0	381 42.3	421 46.8	1 0.1	125 13.9
九州	n= 800 % 100.0	399 49.9	538 67.3	447 55.9	159 19.9	273 34.1	334 41.8	345 43.1	0 -	97 12.1

【居住県の人口規模別】

	回答数	談の困 電話るつ (て少い の年少 設置年 の少 窓の ・相 相談 に)	に教非 よ室行 るな防 授止 業の・ ・学薬 ・校物 ・講校 演で乱 の用 警防 察止	(良街 補行な 導為か )への の広 注場 意な やど 指で 導の 不	文パ S の活の S 投募 S 稿集で に援 対助 す交 る際 注・ 意パ	す行再 る少び こと年非 の行 立をし ち直 りい をよ 支う 援非	グた犯 な少罪 どの年 のへの サのや ポカ ーウ トン に セに リあ ンつ	ンの非 ペた行 ーた防 ンめ止 の止 お・ 知 ら せ ・ 害 防 止	そ の 他	い ず れ も 知 ら な い
全 体	n= 4,700 % 100.0	2,435 51.8	3,110 66.2	2,659 56.6	1,071 22.8	1,704 36.3	1,970 41.9	2,156 45.9	1 0.0	645 13.7
大規模県	n= 900 % 100.0	484 53.8	610 67.8	537 59.7	250 27.8	345 38.3	393 43.7	413 45.9	0 -	109 12.1
中規模県	n= 1,500 % 100.0	745 49.7	1,011 67.4	857 57.1	348 23.2	548 36.5	619 41.3	706 47.1	1 0.1	195 13.0
小規模県	n= 2,300 % 100.0	1,206 52.4	1,489 64.7	1,265 55.0	473 20.6	811 35.3	958 41.7	1,037 45.1	0 -	341 14.8



イ いくつかの取組を選択したか

【地域別】

		回答数	7 つ	6 つ	5 つ	4 つ	3 つ	2 つ	1 つ	いずれも 知らない
全 体	n= %	4,700 100.0	438 9.3	369 7.9	554 11.8	729 15.5	757 16.1	661 14.1	547 11.6	645 13.7
北海道・東北	n= %	700 100.0	64 9.1	56 8.0	85 12.1	105 15.0	101 14.4	78 11.1	97 13.9	114 16.3
関東	n= %	1,100 100.0	105 9.5	99 9.0	127 11.5	187 17.0	193 17.5	143 13.0	113 10.3	133 12.1
中部	n= %	600 100.0	55 9.2	46 7.7	74 12.3	77 12.8	94 15.7	83 13.8	70 11.7	101 16.8
近畿	n= %	600 100.0	65 10.8	44 7.3	82 13.7	71 11.8	97 16.2	88 14.7	78 13.0	75 12.5
中国・四国	n= %	900 100.0	86 9.6	78 8.7	97 10.8	153 17.0	128 14.2	137 15.2	96 10.7	125 13.9
九州	n= %	800 100.0	63 7.9	46 5.8	89 11.1	136 17.0	144 18.0	132 16.5	93 11.6	97 12.1

【居住県の人口規模別】

		回答数	7 つ	6 つ	5 つ	4 つ	3 つ	2 つ	1 つ	いずれも 知らない
全 体	n= %	4,700 100.0	438 9.3	369 7.9	554 11.8	729 15.5	757 16.1	661 14.1	547 11.6	645 13.7
大規模県	n= %	900 100.0	99 11.0	65 7.2	122 13.6	149 16.6	135 15.0	117 13.0	104 11.6	109 12.1
中規模県	n= %	1,500 100.0	136 9.1	125 8.3	157 10.5	249 16.6	251 16.7	212 14.1	175 11.7	195 13.0
小規模県	n= %	2,300 100.0	203 8.8	179 7.8	275 12.0	331 14.4	371 16.1	332 14.4	268 11.7	341 14.8

Q2. 少年補導職員を知っているか

Q2. 警察には、少年の非行防止・犯罪被害防止を専門にしている職員（少年補導職員、少年育成官、少年相談専門職員など）がいることを知っていますか。（SA）

【地域別】

		回答数	知っている	知らない
全 体	n= %	4,700 100.0	2,036 43.3	2,664 56.7
北海道・東北	n= %	700 100.0	311 44.4	389 55.6
関東	n= %	1,100 100.0	443 40.3	657 59.7
中部	n= %	600 100.0	236 39.3	364 60.7
近畿	n= %	600 100.0	262 43.7	338 56.3
中国・四国	n= %	900 100.0	424 47.1	476 52.9
九州	n= %	800 100.0	360 45.0	440 55.0

【居住県の人口規模別】

		回答数	知っている	知らない
全 体	n= %	4,700 100.0	2,036 43.3	2,664 56.7
大規模県	n= %	900 100.0	400 44.4	500 55.6
中規模県	n= %	1,500 100.0	632 42.1	868 57.9
小規模県	n= %	2,300 100.0	1,004 43.7	1,296 56.3

Q3. 少年相談窓口の利用経験

(Q1 で少年相談を知っていると回答した人のみ対象)

Q3. あなたは、警察の少年相談窓口・少年相談電話を利用したことがありますか。(SA)

【地域別】

		回答数	ある	ない	答えたくない
全 体	n= %	2,435 100.0	37 1.5	2,368 97.2	30 1.2
北海道・東北	n= %	370 100.0	5 1.4	359 97.0	6 1.6
関東	n= %	597 100.0	5 0.8	585 98.0	7 1.2
中部	n= %	292 100.0	3 1.0	287 98.3	2 0.7
近畿	n= %	320 100.0	5 1.6	313 97.8	2 0.6
中国・四国	n= %	457 100.0	9 2.0	439 96.1	9 2.0
九州	n= %	399 100.0	10 2.5	385 96.5	4 1.0

【居住県の人口規模別】

		回答数	ある	ない	答えたくない
全 体	n= %	2,435 100.0	37 1.5	2,368 97.2	30 1.2
大規模県	n= %	484 100.0	10 2.1	465 96.1	9 1.9
中規模県	n= %	745 100.0	10 1.3	727 97.6	8 1.1
小規模県	n= %	1,206 100.0	17 1.4	1,176 97.5	13 1.1

Q4. 少年相談についての意見

Q4. 警察が、「困っている少年の相談にのる(少年相談窓口・少年相談電話を設置している)こと」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	やも つと てほ しを 入れ て	や引 つき て続 ほき しい のま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,261 26.8	2,856 60.8	158 3.4	30 0.6	354 7.5	41 0.9
北海道・東北	n= %	700 100.0	222 31.7	382 54.6	21 3.0	7 1.0	63 9.0	5 0.7
関東	n= %	1,100 100.0	288 26.2	685 62.3	46 4.2	9 0.8	60 5.5	12 1.1
中部	n= %	600 100.0	154 25.7	371 61.8	19 3.2	3 0.5	48 8.0	5 0.8
近畿	n= %	600 100.0	148 24.7	384 64.0	17 2.8	2 0.3	42 7.0	7 1.2
中国・四国	n= %	900 100.0	240 26.7	553 61.4	24 2.7	0 -	75 8.3	8 0.9
九州	n= %	800 100.0	209 26.1	481 60.1	31 3.9	9 1.1	66 8.3	4 0.5

【居住県の人口規模別】

		回答数	やも つと てほ しを 入れ て	や引 つき て続 ほき しい のま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,261 26.8	2,856 60.8	158 3.4	30 0.6	354 7.5	41 0.9
大規模県	n= %	900 100.0	227 25.2	555 61.7	34 3.8	8 0.9	64 7.1	12 1.3
中規模県	n= %	1,500 100.0	411 27.4	918 61.2	45 3.0	9 0.6	102 6.8	15 1.0
小規模県	n= %	2,300 100.0	623 27.1	1,383 60.1	79 3.4	13 0.6	188 8.2	14 0.6

Q5. 学校での授業・講演について

Q5. 警察が、「学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室などの授業・講演をすること」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	もっとも力をいれて	引き続きこのまま	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	どちらでもやらない	その他
全体	n=	4,700	937	3,157	105	64	418	19
	%	100.0	19.9	67.2	2.2	1.4	8.9	0.4
北海道・東北	n=	700	153	442	16	16	71	2
	%	100.0	21.9	63.1	2.3	2.3	10.1	0.3
関東	n=	1,100	210	761	29	15	79	6
	%	100.0	19.1	69.2	2.6	1.4	7.2	0.5
中部	n=	600	120	401	14	3	60	2
	%	100.0	20.0	66.8	2.3	0.5	10.0	0.3
近畿	n=	600	106	418	9	6	60	1
	%	100.0	17.7	69.7	1.5	1.0	10.0	0.2
中国・四国	n=	900	182	600	13	15	87	3
	%	100.0	20.2	66.7	1.4	1.7	9.7	0.3
九州	n=	800	166	535	24	9	61	5
	%	100.0	20.8	66.9	3.0	1.1	7.6	0.6

【居住県の人口規模別】

		回答数	もっとも力をいれて	引き続きこのまま	警察がやる必要はない	このような取り組み自体必要ない	どちらでもやらない	その他
全体	n=	4,700	937	3,157	105	64	418	19
	%	100.0	19.9	67.2	2.2	1.4	8.9	0.4
大規模県	n=	900	162	615	16	20	83	4
	%	100.0	18.0	68.3	1.8	2.2	9.2	0.4
中規模県	n=	1,500	316	1,001	28	15	133	7
	%	100.0	21.1	66.7	1.9	1.0	8.9	0.5
小規模県	n=	2,300	459	1,541	61	29	202	8
	%	100.0	20.0	67.0	2.7	1.3	8.8	0.3

Q6. 街なかや広場での補導について

Q6. 警察が、「街なかや広場などで、飲酒、喫煙、家出、夜遊びなど不良行為をしている少年に注意や指導などをする(補導すること)」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	やも つと ほし をい れて	や引 つき つて ほし この まま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,542 32.8	2,674 56.9	69 1.5	59 1.3	348 7.4	8 0.2
北海道・東北	n= %	700 100.0	244 34.9	369 52.7	12 1.7	9 1.3	63 9.0	3 0.4
関東	n= %	1,100 100.0	358 32.5	639 58.1	16 1.5	11 1.0	73 6.6	3 0.3
中部	n= %	600 100.0	190 31.7	343 57.2	11 1.8	9 1.5	47 7.8	0 -
近畿	n= %	600 100.0	182 30.3	354 59.0	8 1.3	8 1.3	47 7.8	1 0.2
中国・四国	n= %	900 100.0	295 32.8	515 57.2	13 1.4	16 1.8	60 6.7	1 0.1
九州	n= %	800 100.0	273 34.1	454 56.8	9 1.1	6 0.8	58 7.3	0 -

【居住県の人口規模別】

		回答数	やも つと ほし をい れて	や引 つき つて ほし この まま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,542 32.8	2,674 56.9	69 1.5	59 1.3	348 7.4	8 0.2
大規模県	n= %	900 100.0	304 33.8	502 55.8	14 1.6	11 1.2	69 7.7	0 -
中規模県	n= %	1,500 100.0	485 32.3	866 57.7	25 1.7	17 1.1	102 6.8	5 0.3
小規模県	n= %	2,300 100.0	753 32.7	1,306 56.8	30 1.3	31 1.3	177 7.7	3 0.1

Q7. SNS への注意文の投稿について

Q7. 警察が、「SNS での援助交際・パパ活の募集に対して、注意文を投稿すること」について、どう  
 思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	や も つ て ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,496 31.8	2,454 52.2	165 3.5	83 1.8	481 10.2	21 0.4		
北海道・東北	n= %	700 100.0	246 35.1	338 48.3	26 3.7	13 1.9	73 10.4	4 0.6		
関東	n= %	1,100 100.0	345 31.4	588 53.5	35 3.2	26 2.4	102 9.3	4 0.4		
中部	n= %	600 100.0	189 31.5	301 50.2	29 4.8	7 1.2	72 12.0	2 0.3		
近畿	n= %	600 100.0	175 29.2	330 55.0	19 3.2	7 1.2	64 10.7	5 0.8		
中国・四国	n= %	900 100.0	281 31.2	472 52.4	31 3.4	16 1.8	95 10.6	5 0.6		
九州	n= %	800 100.0	260 32.5	425 53.1	25 3.1	14 1.8	75 9.4	1 0.1		

【居住県の人口規模別】

		回答数	や も つ て ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,496 31.8	2,454 52.2	165 3.5	83 1.8	481 10.2	21 0.4		
大規模県	n= %	900 100.0	265 29.4	475 52.8	32 3.6	23 2.6	99 11.0	6 0.7		
中規模県	n= %	1,500 100.0	504 33.6	781 52.1	46 3.1	19 1.3	144 9.6	6 0.4		
小規模県	n= %	2,300 100.0	727 31.6	1,198 52.1	87 3.8	41 1.8	238 10.3	9 0.4		

Q8. 非行少年の立ち直り支援について

Q8. 警察が、「再び非行をしないよう非行少年の立ち直りを支援すること」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	や も つ と ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み 必 要 な い	ど ち ら で も や ら な く て も よ い	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,565 33.3	2,684 57.1	116 2.5	38 0.8	291 6.2	6 0.1	
北海道・東北	n= %	700 100.0	264 37.7	361 51.6	19 2.7	11 1.6	44 6.3	1 0.1	
関東	n= %	1,100 100.0	364 33.1	633 57.5	33 3.0	9 0.8	59 5.4	2 0.2	
中部	n= %	600 100.0	195 32.5	336 56.0	17 2.8	3 0.5	49 8.2	0 -	
近畿	n= %	600 100.0	179 29.8	368 61.3	11 1.8	5 0.8	37 6.2	0 -	
中国・四国	n= %	900 100.0	307 34.1	517 57.4	13 1.4	4 0.4	59 6.6	0 -	
九州	n= %	800 100.0	256 32.0	469 58.6	23 2.9	6 0.8	43 5.4	3 0.4	

【居住県の人口規模別】

		回答数	や も つ と ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 の よ う な 取 り 組 み 必 要 な い	ど ち ら で も や ら な く て も よ い	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,565 33.3	2,684 57.1	116 2.5	38 0.8	291 6.2	6 0.1	
大規模県	n= %	900 100.0	283 31.4	520 57.8	25 2.8	8 0.9	63 7.0	1 0.1	
中規模県	n= %	1,500 100.0	535 35.7	838 55.9	39 2.6	12 0.8	74 4.9	2 0.1	
小規模県	n= %	2,300 100.0	747 32.5	1,326 57.7	52 2.3	18 0.8	154 6.7	3 0.1	



Q9. 被害少年への支援について

Q9. 警察が、「犯罪被害やいじめ等にあった少年にカウンセリングなどのサポートをすること」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		や も つ て ほ し い を 入 れ て	や っ て ほ し い の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= 4,700 % 100.0	1,648 35.1	2,454 52.2	292 6.2	21 0.4	266 5.7	19 0.4	
北海道・東北	n= 700 % 100.0	260 37.1	360 51.4	33 4.7	4 0.6	42 6.0	1 0.1	
関東	n= 1,100 % 100.0	390 35.5	562 51.1	90 8.2	5 0.5	47 4.3	6 0.5	
中部	n= 600 % 100.0	218 36.3	301 50.2	34 5.7	0 -	46 7.7	1 0.2	
近畿	n= 600 % 100.0	195 32.5	324 54.0	35 5.8	6 1.0	37 6.2	3 0.5	
中国・四国	n= 900 % 100.0	307 34.1	492 54.7	42 4.7	3 0.3	52 5.8	4 0.4	
九州	n= 800 % 100.0	278 34.8	415 51.9	58 7.3	3 0.4	42 5.3	4 0.5	

【居住県の人口規模別】

		や も つ て ほ し い を 入 れ て	や っ て ほ し い の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= 4,700 % 100.0	1,648 35.1	2,454 52.2	292 6.2	21 0.4	266 5.7	19 0.4	
大規模県	n= 900 % 100.0	293 32.6	478 53.1	66 7.3	5 0.6	53 5.9	5 0.6	
中規模県	n= 1,500 % 100.0	550 36.7	771 51.4	90 6.0	5 0.3	78 5.2	6 0.4	
小規模県	n= 2,300 % 100.0	805 35.0	1,205 52.4	136 5.9	11 0.5	135 5.9	8 0.3	

Q10. 広報啓発活動について

Q10. 警察が、「少年の非行防止・犯罪被害防止のために、お知らせ・キャンペーンなどをすること」について、どう思いますか。(SA)

【地域別】

		回答数	や も つ て ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,040 22.1	3,081 65.6	116 2.5	51 1.1	404 8.6	8 0.2		
北海道・東北	n= %	700 100.0	161 23.0	446 63.7	15 2.1	9 1.3	68 9.7	1 0.1		
関東	n= %	1,100 100.0	256 23.3	729 66.3	30 2.7	15 1.4	69 6.3	1 0.1		
中部	n= %	600 100.0	132 22.0	389 64.8	16 2.7	6 1.0	55 9.2	2 0.3		
近畿	n= %	600 100.0	111 18.5	412 68.7	12 2.0	6 1.0	58 9.7	1 0.2		
中国・四国	n= %	900 100.0	202 22.4	582 64.7	23 2.6	8 0.9	84 9.3	1 0.1		
九州	n= %	800 100.0	178 22.3	523 65.4	20 2.5	7 0.9	70 8.8	2 0.3		

【居住県の人口規模別】

		回答数	や も つ て ほ し を 入 れ て	や っ て ほ し い	引 き 続 き の ま ま	警 察 が や る 必 要 は な い	自 体 必 要 な い	こ の よ う な 取 り 組 み	ど ち ら で も や ら な く て も	そ の 他
全 体	n= %	4,700 100.0	1,040 22.1	3,081 65.6	116 2.5	51 1.1	404 8.6	8 0.2		
大規模県	n= %	900 100.0	185 20.6	605 67.2	22 2.4	13 1.4	73 8.1	2 0.2		
中規模県	n= %	1,500 100.0	349 23.3	970 64.7	40 2.7	17 1.1	121 8.1	3 0.2		
小規模県	n= %	2,300 100.0	506 22.0	1,506 65.5	54 2.3	21 0.9	210 9.1	3 0.1		

Q11. 良いと感じる広報啓発活動の工夫

Q11. 警察が、少年に向けてお知らせ・キャンペーンなどをする際の工夫で、良いと感じるものはどれですか。(MA)

【地域別】

	回答数	SNSで発信する	参加・体験型のイベントを開催する	マンガにする	動画にする	地域の情報（地元的事件など）を入れる	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生が作成にかかわる	グッズを配つたり抽選でプレゼントする	アイデアがあれば具体的に	どれも良いと思わないし、良い工夫は思い当たらない
全体	n=4,700 %100.0	2,749 58.5	1,530 32.6	1,933 41.1	1,702 36.2	1,169 24.9	1,923 40.9	1,878 40.0	965 20.5	35 0.7	216 4.6
北海道・東北	n=700 %100.0	391 55.9	217 31.0	274 39.1	251 35.9	154 22.0	279 39.9	264 37.7	140 20.0	5 0.7	39 5.6
関東	n=1,100 %100.0	665 60.5	389 35.4	451 41.0	403 36.6	294 26.7	455 41.4	438 39.8	204 18.5	7 0.6	42 3.8
中部	n=600 %100.0	342 57.0	193 32.2	226 37.7	218 36.3	139 23.2	248 41.3	232 38.7	115 19.2	4 0.7	37 6.2
近畿	n=600 %100.0	367 61.2	196 32.7	256 42.7	215 35.8	135 22.5	247 41.2	219 36.5	129 21.5	3 0.5	27 4.5
中国・四国	n=900 %100.0	493 54.8	280 31.1	374 41.6	332 36.9	240 26.7	370 41.1	390 43.3	214 23.8	10 1.1	44 4.9
九州	n=800 %100.0	491 61.4	255 31.9	352 44.0	283 35.4	207 25.9	324 40.5	335 41.9	163 20.4	6 0.8	27 3.4

【居住県の人口規模別】

	回答数	SNSで発信する	参加・体験型のイベントを開催する	マンガにする	動画にする	地域の情報（地元的事件など）を入れる	芸能人・有名人を起用する	中学生・高校生が作成にかかわる	グッズを配つたり抽選でプレゼントする	アイデアがあれば具体的に	どれも良いと思わないし、良い工夫は思い当たらない
全体	n=4,700 %100.0	2,749 58.5	1,530 32.6	1,933 41.1	1,702 36.2	1,169 24.9	1,923 40.9	1,878 40.0	965 20.5	35 0.7	216 4.6
大規模県	n=900 %100.0	540 60.0	306 34.0	360 40.0	323 35.9	222 24.7	384 42.7	349 38.8	181 20.1	4 0.4	43 4.8
中規模県	n=1,500 %100.0	887 59.1	493 32.9	632 42.1	549 36.6	371 24.7	586 39.1	609 40.6	300 20.0	10 0.7	65 4.3
小規模県	n=2,300 %100.0	1,322 57.5	731 31.8	941 40.9	830 36.1	576 25.0	953 41.4	920 40.0	484 21.0	21 0.9	108 4.7

Q12. 警察がもっと力を入れるべき問題

Q12. 少年向けの取り組みとして、警察がもっと力を入れるべきと思う問題はどれですか。(MA)

【地域別】

	回答数	大麻など薬物乱用	ヤミ(闇)バイト	SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿	いじめ	校内暴力(教師や生徒に対する暴力、学校の物を壊す等)	家族への暴力	家族からのぎゃくたい(暴力、暴言、性的行為、ネグレクトなど)	性犯罪・性暴力	ちかん・盗撮	ストーカー	デートDV(恋人・元恋人からの暴力)	援助交際・パパ(ママ)活	万引き	飲酒	喫煙	家出	自殺	強化すべき問題があれば	あてはまるものはない
全体	n= 4,700 % 100.0	2,086 44.4	1,960 41.7	2,129 45.3	3,070 65.3	2,045 43.5	1,645 35.0	2,616 55.7	2,425 51.6	1,975 42.0	1,737 37.0	1,730 36.8	1,364 29.0	1,448 30.8	1,294 27.5	1,395 29.7	794 16.9	2,659 56.6	20 0.4	150 3.2
北海道・東北	n= 700 % 100.0	286 40.9	277 39.6	303 43.3	441 63.0	287 41.0	234 33.4	381 54.4	357 51.0	267 38.1	227 32.4	262 37.4	191 27.3	200 28.6	163 23.3	179 25.6	126 18.0	395 56.4	1 0.1	30 4.3
関東	n= 1,100 % 100.0	510 46.4	497 45.2	516 46.9	739 67.2	473 43.0	390 35.5	617 56.1	584 53.1	474 43.1	423 38.5	409 37.2	344 31.3	339 30.8	302 27.5	318 28.9	178 16.2	625 56.8	5 0.5	32 2.9
中部	n= 600 % 100.0	270 45.0	245 40.8	262 43.7	395 65.8	256 42.7	211 35.2	331 55.2	295 49.2	256 42.7	232 38.7	209 34.8	164 27.3	190 31.7	165 27.5	177 29.5	107 17.8	336 56.0	1 0.2	25 4.2
近畿	n= 600 % 100.0	274 45.7	265 44.2	279 46.5	391 65.2	277 46.2	218 36.3	346 57.7	322 53.7	264 44.0	237 39.5	227 37.8	188 31.3	184 30.7	188 31.3	200 33.3	106 17.7	342 57.0	5 0.8	20 3.3
中国・四国	n= 900 % 100.0	375 41.7	356 39.6	399 44.3	594 66.0	400 44.4	323 35.9	508 56.4	444 49.3	385 42.8	330 36.7	343 38.1	250 27.8	280 31.1	255 28.3	269 29.9	140 15.6	504 56.0	4 0.4	29 3.2
九州	n= 800 % 100.0	371 46.4	320 40.0	370 46.3	510 63.8	352 44.0	269 33.6	433 54.1	423 52.9	329 41.1	288 36.0	280 35.0	227 28.4	255 31.9	221 27.6	252 31.5	137 17.1	457 57.1	4 0.5	14 1.8

【居住県の人口規模別】

	回答数	大麻など薬物乱用	ヤミ(闇)バイト	SNSへの性的画像や悪口・デマ等の投稿	いじめ	校内暴力(教師や生徒に対する暴力、学校の物を壊す等)	家族への暴力	家族からのぎゃくたい(暴力、暴言、性的行為、ネグレクトなど)	性犯罪・性暴力	ちかん・盗撮	ストーカー	デートDV(恋人・元恋人からの暴力)	援助交際・パパ(ママ)活	万引き	飲酒	喫煙	家出	自殺	強化すべき問題があれば	あてはまるものはない
全体	n= 4,700 % 100.0	2,086 44.4	1,960 41.7	2,129 45.3	3,070 65.3	2,045 43.5	1,645 35.0	2,616 55.7	2,425 51.6	1,975 42.0	1,737 37.0	1,730 36.8	1,364 29.0	1,448 30.8	1,294 27.5	1,395 29.7	794 16.9	2,659 56.6	20 0.4	150 3.2
大規模県	n= 900 % 100.0	426 47.3	403 44.8	423 47.0	584 64.9	400 44.4	329 36.6	522 58.0	488 54.2	410 45.6	345 38.3	347 38.6	286 31.8	289 32.1	260 28.9	290 32.2	166 18.4	520 57.8	3 0.3	28 3.1
中規模県	n= 1,500 % 100.0	656 43.7	620 41.3	661 44.1	984 65.6	628 41.9	507 33.8	845 56.3	764 50.9	615 41.0	562 37.5	535 35.7	425 28.3	450 30.0	401 26.7	426 28.4	242 16.1	842 56.1	6 0.4	43 2.9
小規模県	n= 2,300 % 100.0	1,004 43.7	937 40.7	1,045 45.4	1,502 65.3	1,017 44.2	809 35.2	1,249 54.3	1,173 51.0	950 41.3	830 36.1	848 36.9	653 28.4	709 30.8	633 27.5	679 29.5	386 16.8	1,297 56.4	11 0.5	79 3.4

## <回答者の属性>

### 学職別・回答者の属性

#### (1) 性別

	回答数	男性	女性	答えたくない
全体	n= 4,700 % 100.0	1,753 37.3	2,805 59.7	142 3.0
中学生	n= 1,530 % 100.0	582 38.0	892 58.3	56 3.7
高校生	n= 2,818 % 100.0	1,085 38.5	1,652 58.6	81 2.9
大学生・その他の学生	n= 283 % 100.0	71 25.1	211 74.6	1 0.4
有職少年・無職少年	n= 69 % 100.0	15 21.7	50 72.5	4 5.8

#### (2) 年齢

	回答数	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
全体	n= 4,700 % 100.0	506 10.8	663 14.1	1,181 25.1	921 19.6	811 17.3	618 13.1
中学生	n= 1,530 % 100.0	506 33.1	663 43.3	361 23.6	0 -	0 -	0 -
高校生	n= 2,818 % 100.0	0 -	0 -	812 28.8	913 32.4	807 28.6	286 10.1
大学生・その他の学生	n= 283 % 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	283 100.0
有職少年・無職少年	n= 69 % 100.0	0 -	0 -	8 11.6	8 11.6	4 5.8	49 71.0

#### (3) 職業

	回答数	中1	中2	中3	中学生計	高1	高2	高3	高校生計	短大・大学1年	専門学校1年	浪人生	高4	計大学生・その他の学生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業	無職	計有職少年・無職少年
全体	n= 4,700 % 100.0	177 3.8	642 13.7	711 15.1	1,530 32.6	1,232 26.2	886 18.9	700 14.9	2,818 60.0	213 4.5	46 1.0	15 0.3	9 0.2	283 6.0	30 0.6	29 0.6	1 0.0	9 0.2	69 1.5
中学生	n= 1,530 % 100.0	177 11.6	642 42.0	711 46.5	1,530 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
高校生	n= 2,818 % 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	1,232 43.7	886 31.4	700 24.8	2,818 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
大学生・その他の学生	n= 283 % 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	213 75.3	46 16.3	15 5.3	9 3.2	283 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
有職少年・無職少年	n= 69 % 100.0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	30 43.5	29 42.0	1 1.4	9 13.0	69 100.0

## 地域別・回答者の属性

### (1) 性別

	回答数	男性	女性	答えたくない
全 体	n=4,700 %100.0	1,753 37.3	2,805 59.7	142 3.0
北海道・東北	n=700 %100.0	249 35.6	422 60.3	29 4.1
関東	n=1,100 %100.0	447 40.6	627 57.0	26 2.4
中部	n=600 %100.0	228 38.0	354 59.0	18 3.0
近畿	n=600 %100.0	235 39.2	348 58.0	17 2.8
中国・四国	n=900 %100.0	328 36.4	542 60.2	30 3.3
九州	n=800 %100.0	266 33.3	512 64.0	22 2.8

### (2) 年齢

	回答数	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
全 体	n=4,700 %100.0	506 10.8	663 14.1	1,181 25.1	921 19.6	811 17.3	618 13.1
北海道・東北	n=700 %100.0	67 9.6	86 12.3	197 28.1	146 20.9	127 18.1	77 11.0
関東	n=1,100 %100.0	124 11.3	169 15.4	257 23.4	215 19.5	188 17.1	147 13.4
中部	n=600 %100.0	60 10.0	99 16.5	141 23.5	116 19.3	108 18.0	76 12.7
近畿	n=600 %100.0	80 13.3	86 14.3	134 22.3	105 17.5	94 15.7	101 16.8
中国・四国	n=900 %100.0	103 11.4	125 13.9	222 24.7	177 19.7	153 17.0	120 13.3
九州	n=800 %100.0	72 9.0	98 12.3	230 28.8	162 20.3	141 17.6	97 12.1

### (3) 職業

	回答数	中1	中2	中3	中学生計	高1	高2	高3	高校生計	短大・大学1年	専門学校1年	浪人生	高4	計大学生・その他の学生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業	無職	計有職少年・無職少年
全 体	n=4,700 %100.0	177 3.8	642 13.7	711 15.1	1,530 32.6	1,232 26.2	886 18.9	700 14.9	2,818 60.0	213 4.5	46 1.0	15 0.3	9 0.2	283 6.0	30 0.6	29 0.6	1 0.0	9 0.2	69 1.5
北海道・東北	n=700 %100.0	19 2.7	83 11.9	127 18.1	229 32.7	194 27.7	132 18.9	99 14.1	425 60.7	21 3.0	10 1.4	0 -	3 0.4	34 4.9	5 0.7	6 0.9	1 0.1	0 -	12 1.7
関東	n=1,100 %100.0	45 4.1	162 14.7	142 12.9	349 31.7	302 27.5	193 17.5	163 14.8	658 59.8	57 5.2	12 1.1	5 0.5	1 0.1	75 6.8	5 0.5	9 0.8	0 -	4 0.4	18 1.6
中部	n=600 %100.0	26 4.3	77 12.8	98 16.3	201 33.5	151 25.2	126 21.0	83 13.8	360 60.0	22 3.7	2 0.3	2 0.3	2 0.3	28 4.7	5 0.8	3 0.5	0 -	3 0.5	11 1.8
近畿	n=600 %100.0	25 4.2	104 17.3	87 14.5	216 36.0	132 22.0	100 16.7	93 15.5	325 54.2	44 7.3	6 1.0	2 0.3	1 0.2	53 8.8	3 0.5	2 0.3	0 -	1 0.2	6 1.0
中国・四国	n=900 %100.0	34 3.8	132 14.7	134 14.9	300 33.3	210 23.3	184 20.4	136 15.1	530 58.9	48 5.3	6 0.7	3 0.3	2 0.2	59 6.6	6 0.7	4 0.4	0 -	1 0.1	11 1.2
九州	n=800 %100.0	28 3.5	84 10.5	123 15.4	235 29.4	243 30.4	151 18.9	126 15.8	520 65.0	21 2.6	10 1.3	3 0.4	0 -	34 4.3	6 0.8	5 0.6	0 -	0 -	11 1.4

## 居住県の人口規模別・回答者の属性

### (1) 性別

	回答数	男性	女性	答えたくない
全体	n= 4,700 % 100.0	1,753 37.3	2,805 59.7	142 3.0
大規模県	n= 900 % 100.0	367 40.8	509 56.6	24 2.7
中規模県	n= 1,500 % 100.0	569 37.9	895 59.7	36 2.4
小規模県	n= 2,300 % 100.0	817 35.5	1,401 60.9	82 3.6

### (2) 年齢

	回答数	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
全体	n= 4,700 % 100.0	506 10.8	663 14.1	1,181 25.1	921 19.6	811 17.3	618 13.1
大規模県	n= 900 % 100.0	108 12.0	131 14.6	211 23.4	151 16.8	154 17.1	145 16.1
中規模県	n= 1,500 % 100.0	150 10.0	207 13.8	393 26.2	316 21.1	251 16.7	183 12.2
小規模県	n= 2,300 % 100.0	248 10.8	325 14.1	577 25.1	454 19.7	406 17.7	290 12.6

### (3) 職業

	回答数	中1	中2	中3	中学生計	高1	高2	高3	高校生計	短大・大学1年	専門学校1年	浪人生	高4	計 大学生・その他の学生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業	無職	計 有職少年・無職少年
全体	n= 4,700 % 100.0	177 3.8	642 13.7	711 15.1	1,530 32.6	1,232 26.2	886 18.9	700 14.9	2,818 60.0	213 4.5	46 1.0	15 0.3	9 0.2	283 6.0	30 0.6	29 0.6	1 0.0	9 0.2	69 1.5
大規模県	n= 900 % 100.0	40 4.4	135 15.0	136 15.1	311 34.6	212 23.6	138 15.3	150 16.7	500 55.6	58 6.4	12 1.3	7 0.8	1 0.1	78 8.7	4 0.4	6 0.7	0 -	1 0.1	11 1.2
中規模県	n= 1,500 % 100.0	53 3.5	194 12.9	221 14.7	468 31.2	416 27.7	307 20.5	205 13.7	928 61.9	66 4.4	11 0.7	2 0.1	3 0.2	82 5.5	8 0.5	9 0.6	0 -	5 0.3	22 1.5
小規模県	n= 2,300 % 100.0	84 3.7	313 13.6	354 15.4	751 32.7	604 26.3	441 19.2	345 15.0	1,390 60.4	89 3.9	23 1.0	6 0.3	5 0.2	123 5.3	18 0.8	14 0.6	1 0.0	3 0.1	36 1.6

都道府県別・回答者の属性

(1) 性別

		男性	女性	答えた たくない
	回答数			
全 体	n= 4,700 % 100.0	1,753 37.3	2,805 59.7	142 3.0
北海道	n= 100 % 100.0	40 40.0	55 55.0	5 5.0
青森県	n= 100 % 100.0	33 33.0	65 65.0	2 2.0
岩手県	n= 100 % 100.0	37 37.0	58 58.0	5 5.0
宮城県	n= 100 % 100.0	33 33.0	63 63.0	4 4.0
秋田県	n= 100 % 100.0	31 31.0	63 63.0	6 6.0
山形県	n= 100 % 100.0	37 37.0	59 59.0	4 4.0
福島県	n= 100 % 100.0	38 38.0	59 59.0	3 3.0
東京都	n= 100 % 100.0	43 43.0	54 54.0	3 3.0
茨城県	n= 100 % 100.0	43 43.0	56 56.0	1 1.0
栃木県	n= 100 % 100.0	38 38.0	60 60.0	2 2.0
群馬県	n= 100 % 100.0	49 49.0	50 50.0	1 1.0
埼玉県	n= 100 % 100.0	34 34.0	60 60.0	6 6.0
千葉県	n= 100 % 100.0	43 43.0	54 54.0	3 3.0
神奈川県	n= 100 % 100.0	47 47.0	53 53.0	0 -
新潟県	n= 100 % 100.0	36 36.0	62 62.0	2 2.0
山梨県	n= 100 % 100.0	38 38.0	57 57.0	5 5.0
長野県	n= 100 % 100.0	33 33.0	66 66.0	1 1.0
静岡県	n= 100 % 100.0	43 43.0	55 55.0	2 2.0
富山県	n= 100 % 100.0	35 35.0	62 62.0	3 3.0
石川県	n= 100 % 100.0	39 39.0	60 60.0	1 1.0
福井県	n= 100 % 100.0	39 39.0	55 55.0	6 6.0
岐阜県	n= 100 % 100.0	32 32.0	68 68.0	0 -
愛知県	n= 100 % 100.0	46 46.0	51 51.0	3 3.0
三重県	n= 100 % 100.0	37 37.0	58 58.0	5 5.0

		男性	女性	答えた たくない
	回答数			
滋賀県	n= 100 % 100.0	34 34.0	63 63.0	3 3.0
京都府	n= 100 % 100.0	38 38.0	58 58.0	4 4.0
大阪府	n= 100 % 100.0	36 36.0	63 63.0	1 1.0
兵庫県	n= 100 % 100.0	42 42.0	57 57.0	1 1.0
奈良県	n= 100 % 100.0	46 46.0	50 50.0	4 4.0
和歌山 県	n= 100 % 100.0	39 39.0	57 57.0	4 4.0
鳥取県	n= 100 % 100.0	26 26.0	72 72.0	2 2.0
島根県	n= 100 % 100.0	37 37.0	61 61.0	2 2.0
岡山県	n= 100 % 100.0	42 42.0	55 55.0	3 3.0
広島県	n= 100 % 100.0	37 37.0	60 60.0	3 3.0
山口県	n= 100 % 100.0	30 30.0	68 68.0	2 2.0
徳島県	n= 100 % 100.0	31 31.0	63 63.0	6 6.0
香川県	n= 100 % 100.0	38 38.0	60 60.0	2 2.0
愛媛県	n= 100 % 100.0	37 37.0	57 57.0	6 6.0
高知県	n= 100 % 100.0	50 50.0	46 46.0	4 4.0
福岡県	n= 100 % 100.0	36 36.0	62 62.0	2 2.0
佐賀県	n= 100 % 100.0	34 34.0	61 61.0	5 5.0
長崎県	n= 100 % 100.0	32 32.0	67 67.0	1 1.0
熊本県	n= 100 % 100.0	34 34.0	66 66.0	0 -
大分県	n= 100 % 100.0	32 32.0	67 67.0	1 1.0
宮崎県	n= 100 % 100.0	30 30.0	64 64.0	6 6.0
鹿児島 県	n= 100 % 100.0	36 36.0	59 59.0	5 5.0
沖縄県	n= 100 % 100.0	32 32.0	66 66.0	2 2.0



(2) 年齢

	回答数	1 3 歳	1 4 歳	1 5 歳	1 6 歳	1 7 歳	1 8 歳
全 体	n=4,700 %100.0	506 10.8	663 14.1	1,181 25.1	921 19.6	811 17.3	618 13.1
北海道	n=100 %100.0	6 6.0	12 12.0	32 32.0	27 27.0	14 14.0	9 9.0
青森県	n=100 %100.0	15 15.0	10 10.0	25 25.0	19 19.0	19 19.0	12 12.0
岩手県	n=100 %100.0	9 9.0	8 8.0	33 33.0	18 18.0	20 20.0	12 12.0
宮城県	n=100 %100.0	12 12.0	16 16.0	22 22.0	18 18.0	20 20.0	12 12.0
秋田県	n=100 %100.0	12 12.0	16 16.0	22 22.0	19 19.0	19 19.0	12 12.0
山形県	n=100 %100.0	5 5.0	13 13.0	32 32.0	20 20.0	16 16.0	14 14.0
福島県	n=100 %100.0	8 8.0	11 11.0	31 31.0	25 25.0	19 19.0	6 6.0
東京都	n=100 %100.0	18 18.0	15 15.0	17 17.0	18 18.0	13 13.0	19 19.0
茨城県	n=100 %100.0	12 12.0	17 17.0	21 21.0	25 25.0	9 9.0	16 16.0
栃木県	n=100 %100.0	8 8.0	16 16.0	26 26.0	21 21.0	18 18.0	11 11.0
群馬県	n=100 %100.0	4 4.0	16 16.0	30 30.0	28 28.0	13 13.0	9 9.0
埼玉県	n=100 %100.0	8 8.0	19 19.0	23 23.0	19 19.0	18 18.0	13 13.0
千葉県	n=100 %100.0	16 16.0	19 19.0	15 15.0	11 11.0	23 23.0	16 16.0
神奈川県	n=100 %100.0	14 14.0	16 16.0	20 20.0	9 9.0	19 19.0	22 22.0
新潟県	n=100 %100.0	15 15.0	15 15.0	20 20.0	23 23.0	17 17.0	10 10.0
山梨県	n=100 %100.0	10 10.0	15 15.0	25 25.0	19 19.0	20 20.0	11 11.0
長野県	n=100 %100.0	7 7.0	8 8.0	35 35.0	23 23.0	18 18.0	9 9.0
静岡県	n=100 %100.0	12 12.0	13 13.0	25 25.0	19 19.0	20 20.0	11 11.0
富山県	n=100 %100.0	11 11.0	15 15.0	24 24.0	17 17.0	20 20.0	13 13.0
石川県	n=100 %100.0	9 9.0	19 19.0	22 22.0	21 21.0	19 19.0	10 10.0
福井県	n=100 %100.0	9 9.0	15 15.0	26 26.0	22 22.0	17 17.0	11 11.0
岐阜県	n=100 %100.0	6 6.0	12 12.0	32 32.0	18 18.0	18 18.0	14 14.0
愛知県	n=100 %100.0	14 14.0	14 14.0	22 22.0	20 20.0	19 19.0	11 11.0
三重県	n=100 %100.0	11 11.0	24 24.0	15 15.0	18 18.0	15 15.0	17 17.0

	回答数	1 3 歳	1 4 歳	1 5 歳	1 6 歳	1 7 歳	1 8 歳
滋賀県	n=100 %100.0	12 12.0	18 18.0	20 20.0	16 16.0	17 17.0	17 17.0
京都府	n=100 %100.0	17 17.0	15 15.0	18 18.0	15 15.0	16 16.0	19 19.0
大阪府	n=100 %100.0	9 9.0	14 14.0	27 27.0	16 16.0	17 17.0	17 17.0
兵庫県	n=100 %100.0	16 16.0	8 8.0	26 26.0	20 20.0	13 13.0	17 17.0
奈良県	n=100 %100.0	14 14.0	16 16.0	20 20.0	22 22.0	17 17.0	11 11.0
和歌山県	n=100 %100.0	12 12.0	15 15.0	23 23.0	16 16.0	14 14.0	20 20.0
鳥取県	n=100 %100.0	8 8.0	18 18.0	24 24.0	25 25.0	18 18.0	7 7.0
島根県	n=100 %100.0	13 13.0	10 10.0	27 27.0	17 17.0	24 24.0	9 9.0
岡山県	n=100 %100.0	11 11.0	11 11.0	28 28.0	17 17.0	18 18.0	15 15.0
広島県	n=100 %100.0	16 16.0	10 10.0	24 24.0	16 16.0	16 16.0	18 18.0
山口県	n=100 %100.0	10 10.0	11 11.0	29 29.0	22 22.0	18 18.0	10 10.0
徳島県	n=100 %100.0	10 10.0	16 16.0	24 24.0	19 19.0	15 15.0	16 16.0
香川県	n=100 %100.0	8 8.0	22 22.0	20 20.0	18 18.0	11 11.0	21 21.0
愛媛県	n=100 %100.0	14 14.0	17 17.0	19 19.0	22 22.0	16 16.0	12 12.0
高知県	n=100 %100.0	13 13.0	10 10.0	27 27.0	21 21.0	17 17.0	12 12.0
福岡県	n=100 %100.0	7 7.0	14 14.0	29 29.0	11 11.0	18 18.0	21 21.0
佐賀県	n=100 %100.0	11 11.0	12 12.0	27 27.0	22 22.0	16 16.0	12 12.0
長崎県	n=100 %100.0	15 15.0	11 11.0	24 24.0	16 16.0	21 21.0	13 13.0
熊本県	n=100 %100.0	6 6.0	13 13.0	31 31.0	25 25.0	17 17.0	8 8.0
大分県	n=100 %100.0	10 10.0	14 14.0	26 26.0	20 20.0	18 18.0	12 12.0
宮崎県	n=100 %100.0	11 11.0	10 10.0	29 29.0	20 20.0	20 20.0	10 10.0
鹿児島県	n=100 %100.0	5 5.0	10 10.0	35 35.0	25 25.0	17 17.0	8 8.0
沖縄県	n=100 %100.0	7 7.0	14 14.0	29 29.0	23 23.0	14 14.0	13 13.0

## (3) 職業

		回答数	中1	中2	中3	中学生計	高1	高2	高3	高校生計	短大・大学1年	専門学校1年	浪人生	高4	計	大学生・その他の学生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業	無職	計有職少年・無職少年
全体	n=%	4,700	177	642	711	1,530	1,232	886	700	2,818	213	46	15	9	283	30	29	1	9	69	
	%	100.0	3.8	13.7	15.1	32.6	26.2	18.9	14.9	60.0	4.5	1.0	0.3	0.2	6.0	0.6	0.6	0.0	0.2	1.5	
北海道	n=%	100	0	8	22	30	34	20	13	67	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	-	8.0	22.0	30.0	34.0	20.0	13.0	67.0	2.0	-	-	-	2.0	1.0	-	-	-	-	1.0
青森県	n=%	100	5	13	14	32	31	16	14	61	4	2	0	0	6	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	5.0	13.0	14.0	32.0	31.0	16.0	14.0	61.0	4.0	2.0	-	-	6.0	1.0	-	-	-	-	1.0
岩手県	n=%	100	4	8	17	29	32	14	18	64	2	0	0	1	3	2	2	0	0	0	4
	%	100.0	4.0	8.0	17.0	29.0	32.0	14.0	18.0	64.0	2.0	-	-	1.0	3.0	2.0	2.0	-	-	-	4.0
宮城県	n=%	100	4	16	20	40	17	23	11	51	4	4	0	1	9	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	4.0	16.0	20.0	40.0	17.0	23.0	11.0	51.0	4.0	4.0	-	1.0	9.0	-	-	-	-	-	-
秋田県	n=%	100	4	17	38	20	16	17	53	4	0	0	1	5	0	4	0	0	0	0	4
	%	100.0	4.0	17.0	38.0	20.0	16.0	17.0	53.0	4.0	-	-	1.0	5.0	-	4.0	-	-	-	-	4.0
山形県	n=%	100	2	7	18	27	32	19	13	64	4	3	0	0	7	1	0	1	0	0	2
	%	100.0	2.0	7.0	18.0	27.0	32.0	19.0	13.0	64.0	4.0	3.0	-	-	7.0	1.0	-	1.0	-	-	2.0
福島県	n=%	100	0	14	19	33	28	24	13	65	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	-	14.0	19.0	33.0	28.0	24.0	13.0	65.0	1.0	1.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-
東京都	n=%	100	9	21	9	39	20	14	13	47	6	2	2	0	10	1	3	0	0	0	4
	%	100.0	9.0	21.0	9.0	39.0	20.0	14.0	13.0	47.0	6.0	2.0	2.0	-	10.0	1.0	3.0	-	-	-	4.0
茨城県	n=%	100	1	22	10	33	32	12	12	56	6	0	1	0	7	1	3	0	0	0	4
	%	100.0	1.0	22.0	10.0	33.0	32.0	12.0	12.0	56.0	6.0	-	1.0	-	7.0	1.0	3.0	-	-	-	4.0
栃木県	n=%	100	3	10	17	30	29	19	16	64	3	1	0	0	4	0	0	0	2	2	2
	%	100.0	3.0	10.0	17.0	30.0	29.0	19.0	16.0	64.0	3.0	1.0	-	-	4.0	-	-	-	2.0	2.0	2.0
群馬県	n=%	100	2	6	20	28	37	19	10	66	4	1	0	0	5	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	2.0	6.0	20.0	28.0	37.0	19.0	10.0	66.0	4.0	1.0	-	-	5.0	1.0	-	-	-	-	1.0
埼玉県	n=%	100	2	13	17	32	26	16	19	61	5	1	0	0	6	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	2.0	13.0	17.0	32.0	26.0	16.0	19.0	61.0	5.0	1.0	-	-	6.0	1.0	-	-	-	-	1.0
千葉県	n=%	100	9	16	14	39	20	8	22	50	7	3	0	0	10	0	1	0	0	0	1
	%	100.0	9.0	16.0	14.0	39.0	20.0	8.0	22.0	50.0	7.0	3.0	-	-	10.0	-	1.0	-	-	-	1.0
神奈川県	n=%	100	6	18	10	34	21	12	19	52	9	2	1	1	13	0	0	0	0	1	1
	%	100.0	6.0	18.0	10.0	34.0	21.0	12.0	19.0	52.0	9.0	2.0	1.0	1.0	13.0	-	-	-	-	-	1.0
新潟県	n=%	100	5	19	12	36	19	27	12	58	3	2	0	0	5	0	0	0	0	1	1
	%	100.0	5.0	19.0	12.0	36.0	19.0	27.0	12.0	58.0	3.0	2.0	-	-	5.0	-	-	-	-	-	1.0
山梨県	n=%	100	3	13	12	28	32	20	13	65	5	0	1	0	6	0	1	0	0	0	1
	%	100.0	3.0	13.0	12.0	28.0	32.0	20.0	13.0	65.0	5.0	-	1.0	-	6.0	-	1.0	-	-	-	1.0
長野県	n=%	100	2	7	11	20	39	23	13	75	4	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1
	%	100.0	2.0	7.0	11.0	20.0	39.0	23.0	13.0	75.0	4.0	-	-	-	4.0	-	1.0	-	-	-	1.0
静岡県	n=%	100	3	17	10	30	27	23	14	64	5	0	0	0	5	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	3.0	17.0	10.0	30.0	27.0	23.0	14.0	64.0	5.0	-	-	-	5.0	1.0	-	-	-	-	1.0
富山県	n=%	100	5	12	14	31	27	19	15	61	4	1	1	1	7	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	5.0	12.0	14.0	31.0	27.0	19.0	15.0	61.0	4.0	1.0	1.0	1.0	7.0	1.0	-	-	-	-	1.0
石川県	n=%	100	4	13	19	36	26	23	10	59	2	1	0	1	4	1	0	0	0	0	1
	%	100.0	4.0	13.0	19.0	36.0	26.0	23.0	10.0	59.0	2.0	1.0	-	1.0	4.0	1.0	-	-	-	-	1.0
福井県	n=%	100	5	12	14	31	26	24	13	63	4	0	0	0	4	0	1	0	1	0	2
	%	100.0	5.0	12.0	14.0	31.0	26.0	24.0	13.0	63.0	4.0	-	-	-	4.0	-	1.0	-	-	-	2.0
岐阜県	n=%	100	1	8	17	26	32	19	14	65	3	0	0	0	3	3	2	0	1	6	6
	%	100.0	1.0	8.0	17.0	26.0	32.0	19.0	14.0	65.0	3.0	-	-	-	3.0	3.0	2.0	-	1.0	6.0	6.0
愛知県	n=%	100	5	14	19	38	20	22	15	57	4	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	5.0	14.0	19.0	38.0	20.0	22.0	15.0	57.0	4.0	-	1.0	-	5.0	-	-	-	-	-	-
三重県	n=%	100	6	18	15	39	20	19	16	55	5	0	0	0	5	0	0	0	0	1	1
	%	100.0	6.0	18.0	15.0	39.0	20.0	19.0	16.0	55.0	5.0	-	-	-	5.0	-	-	-	-	-	1.0
滋賀県	n=%	100	2	20	13	35	25	16	13	54	8	0	1	0	9	1	1	0	0	0	2
	%	100.0	2.0	20.0	13.0	35.0	25.0	16.0	13.0	54.0	8.0	-	1.0	-	9.0	1.0	1.0	-	-	-	2.0
京都府	n=%	100	8	18	12	38	20	15	16	51	10	0	0	0	10	0	1	0	0	0	1
	%	100.0	8.0	18.0	12.0	38.0	20.0	15.0	16.0	51.0	10.0	-	-	-	10.0	-	1.0	-	-	-	1.0
大阪府	n=%	100	3	16	13	32	24	16	18	58	8	2	0	0	10	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	3.0	16.0	13.0	32.0	24.0	16.0	18.0	58.0	8.0	2.0	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-
兵庫県	n=%	100	5	17	11	33	24	17	15	56	10	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	5.0	17.0	11.0	33.0	24.0	17.0	15.0	56.0	10.0	1.0	-	-	11.0	-	-	-	-	-	-
奈良県	n=%	100	3	17	20	40	17	24	11	52	4	2	1	1	8	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	3.0	17.0	20.0	40.0	17.0	24.0	11.0	52.0	4.0	2.0	1.0	1.0	8.0	-	-	-	-	-	-
和歌山県	n=%	100	4	16	18	38	22	12	20	54	4	1	0	0	5	2	0	0	0	1	3
	%	100.0	4.0	16.0	18.0	38.0	22.0	12.0	20.0	54.0	4.0	1.0	-	-	5.0	2.0	-	-	-	-	3.0
鳥取県	n=%	100	1	14	18	33	25	22	17	64	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1
	%	100.0	1.0	14.0	18.0	33.0	25.0	22.0	17.0	64.0	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-	1.0
島根県	n=%	100	2	15	13	30	22	26	19	67	2	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	2.0	15.0	13.0	30.0	22.0	26.0	19.0	67.0	2.0	-	1.0	-	3.0	-	-	-	-	-	-
岡山県	n=%	100	6	10	16	32	28	17	15	60	6	0	1	1	8	0	0	0	0	0	0
	%	100.0	6.0	10.0	16.0																